3-067-425-**02** (1)

デジタル ビデオカメラ レコーダー

Mini DV Digital Video Cassette

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Digital Handycam

DCR-TRV17K

必ずお読みください

お使いになる前に

カセットメモリー付きのミニDVカセットをおすすめします

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。ミニDVカセットでのみご使用になれます。本機ではカセットメモリー付きのミニDVカセットを推奨しています。

カセットメモリーの有無により操作方法の違う機能

エンドサーチ（22ページ）
「撮影日で頭出しする－日付サーチ」（53ページ）
フォトサーチ（55ページ）

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能

「タイトル場面を頭出しする－タイトルサーチ」（51ページ）
「タイトルを入れる」（81ページ）
「オリジナルタイトルを作る」（84ページ）
「カセットに名前を付ける－カセットラベル」（86ページ）

詳しくは153ページをご覧ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶画面、ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて

- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんのでご安心してお使いください。
- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

本書内の写真について

液晶画面やファインダーの映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能には、説明の前に左のマークが付いています。

カセットメモリー付きミニDVカセットにはCMマークが付いています。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

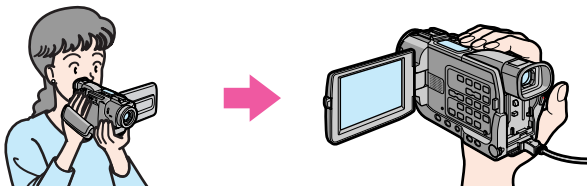
カール ツァイスレンズ搭載

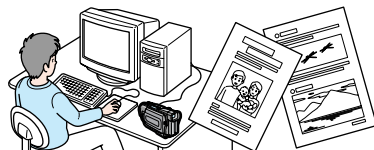
本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ　カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

* Modulation（モジュレーション） Transfer（トランスファー） Function（ファンクション）の略。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

こんなことができます

動画や静止画を撮影して、再生できます。

動画を撮影する	15ページ
テープに静止画を撮影する	28ページ
再生する	23ページ
“ メモリースティック ”に静止画を記録する	105ページ
“ メモリースティック ”に動画を記録する	111ページ
“ メモリースティック ”に記録した静止画を見る	119ページ
“ メモリースティック ”に記録した動画を見る	122ページ

画像をパソコンに取り込めます。

アナログ機器とパソコンをつなげて使う	71ページ
“メモリースティック”の画像をUSBケーブルを使ってパソコンで見る	124ページ

さらにこんなことができます

明るさが気になるときの撮影
- 逆光補正（19ページ）
- Nightshot/Super Nightshot（19ページ）
- PROGRAM AE（38ページ）
- 明るさ調節（40ページ）

インパクトのある画像を作るための機能
- デジタルズーム（18ページ）
  お買い上げ時の設定は「切」になっています。10倍を超えるズームを使うには、メニューで「デジタルズーム」の倍率を選択してください。
- フェーダー（33ページ）
- ピクチャーエフェクト（35ページ）
- デジタルエフェクト（36ページ）
- デジタルプログラムエディット（60ページ）
- タイトル（81ページ）
- メモリーミックス（114ページ）

さりげなく自然な画像にするための機能
- 風景（38ページ）
- スポーツレッスン（38ページ）
- 手動ピント合わせ（41ページ）

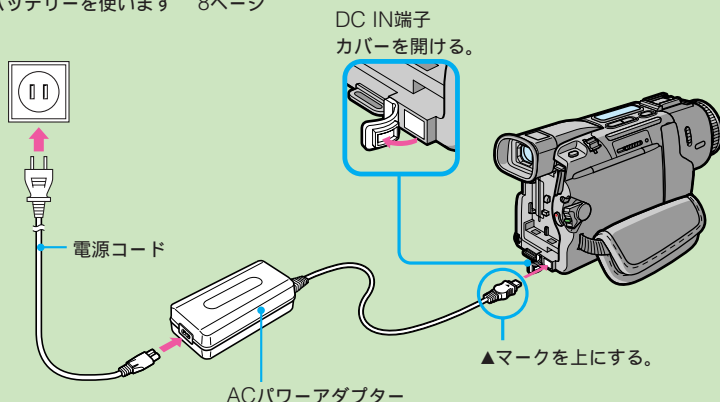
撮影し終わったテープで行う機能
- エンドサーチ、エディットサーチ（22ページ）
- データコード（24ページ）
- SUPER LASER AVLINK（27ページ）
- 再生ズーム（49ページ）
- ゼロセットメモリー（50ページ）
- タイトルサーチ（51ページ）
- バイリンガル（154ページ）

目次

とにかく撮って見る

ここでは本機の使い方を簡単に説明します。
詳しくは（　）内のページをご覧ください。

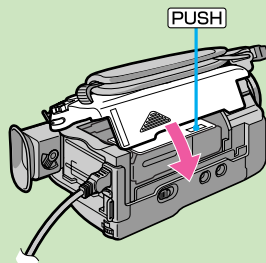
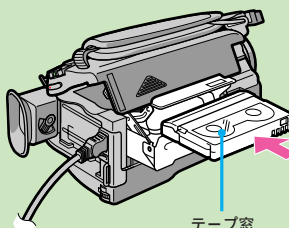
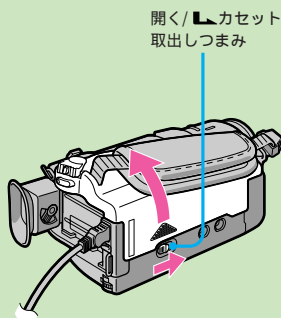
1 電源をつなぐ（11ページ）

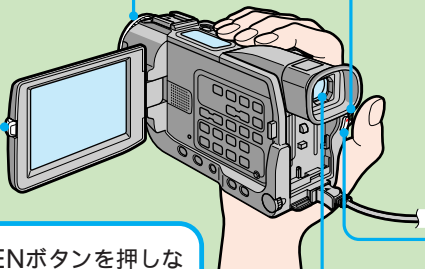
屋外ではバッテリーを使います →8ページ

2 カセットを入れる（14ページ）

❶ 開く/⏏カセット取出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットぶたを開ける。

❷ カセットの背の中央部を押して、カセットを入れる。

❸ PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。
カセット入れが完全に引き込まれたら、カセットぶたを閉める。

3 撮影する（15ページ）

❶ レンズキャップをはずす。

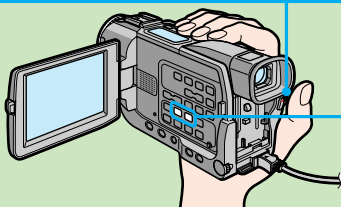
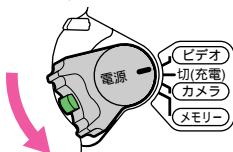
❷ 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。

❸ OPENボタンを押しながら、液晶画面を開ける。
液晶画面に画像が映る。

ファインダー
液晶画面を閉じているときは、この部分に目を当てて画像を見ます。

❹ スタート/ストップボタンを押す。
撮影が始まる。
もう1度押すと止まる。

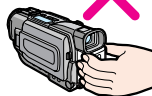
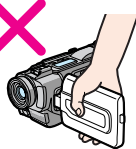
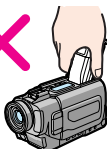
お買い上げ時には日付・時刻の設定はされていません。
撮影する前に日付・時刻を合わせてください。（12ページ）

4 液晶画面で見る（23ページ）

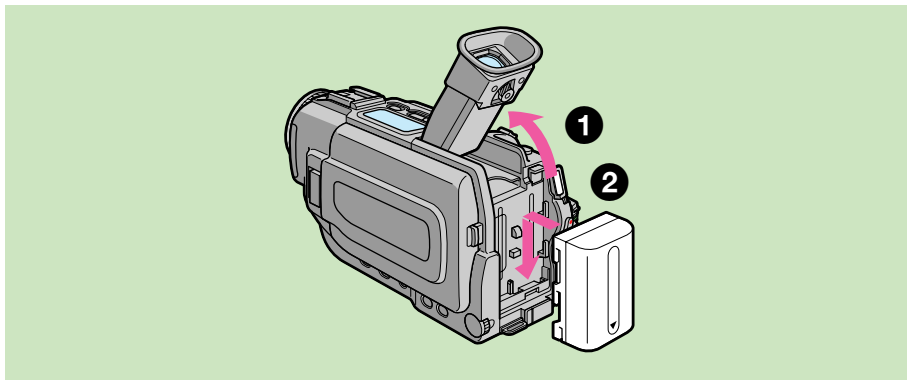
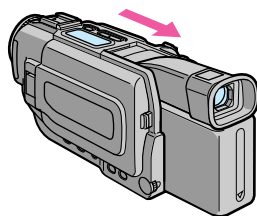
❶ 緑のボタンを押しながら「ビデオ」にする。

❷ ◀◀巻戻しを押してテープを巻き戻す。

❸ ►再生を押すとテープが再生される。

ご注意

ファインダーや液晶画面またはバッテリーをつかんで、本機を持ち上げないでください。

準備1　電源を準備する

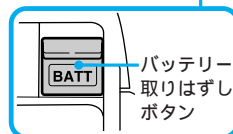
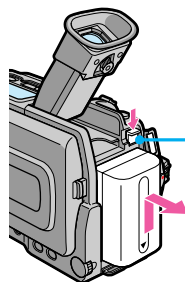
バッテリーを取り付ける

屋外ではバッテリーのご使用をおすすめします。

容量の大きいバッテリーを使用するときは
容量の大きいバッテリー（NP-FM70/FM90/FM91/QM70/QM91）をご使用のときはファインダーを伸ばしてご使用ください。

❶ **ファインダーを上げる。**

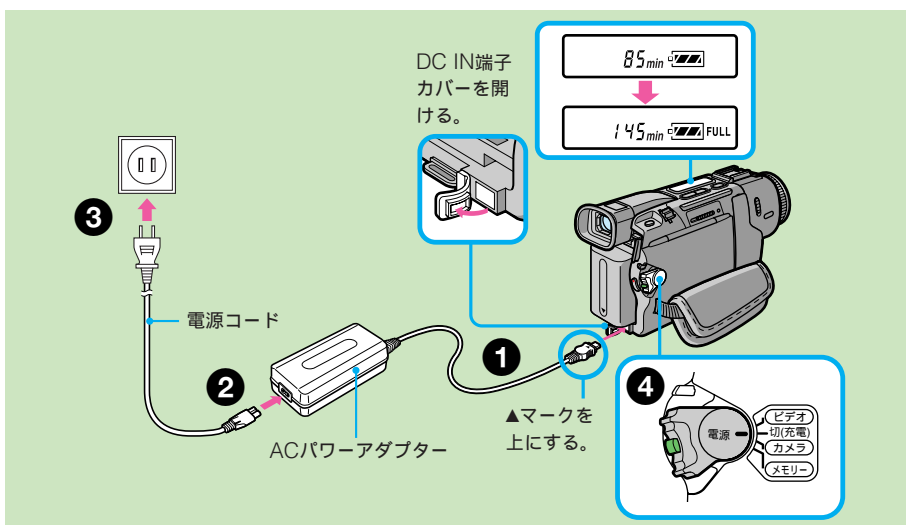
❷ **バッテリーを押しながら、カチッとロックするまで下へずらす。**

本体から取りはずす

1　**ファインダーを上げる。**

2　**バッテリー取りはずしボタンを押しながらバッテリーを上へずらし、取りはずす。**

バッテリーを充電する

バッテリーは充電してからお使いください。
本機の電源には、“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。

“インフォリチウム”バッテリーについて、詳しくは155ページをご覧ください。

満充電になると
表示窓に「FULL」が表示されます。

表示窓に表示されるバッテリー残量時間は
ファインダーを使用したときの連続撮影時間の目安です。

バッテリー残量を計算するまでは
表示窓には「- - - - min」が表示されます。

❶ ACパワーアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。

DC IN端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを上にしてつなぐ。

❷ 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。

❸ 電源コードをコンセントにつなぐ。

❹ 電源スイッチを「切（充電）」にする。

充電が始まると、表示窓にバッテリー残量時間が表示される。

充電が終わると、バッテリー残量表示が「▰▰▰」になる**（実用充電）**。「FULL」が表示されるまで充電すると若干長く使える**（満充電）**。

バッテリーの充電が終わったら
ACパワーアダプターをDC IN端子から抜く。

準備

ご注意

ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

海外でも充電できます

詳しくは157ページをご覧ください。

バッテリー残量の表示時間が充分なのに電源がすぐに切れるときは

満充電すると正しく表示されます。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは

“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持ったリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）対応です。それ以外のバッテリーはお使いになれません。“インフォリチウム”バッテリーMシリーズには InfoLITHIUM M マークがついています。InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

室温10℃～30℃で充電することをおすすめします。

充電時間

バッテリー	満充電時間（実用充電時間）
NP-FM30（付属）	145（85）
NP-FM50	150（90）
NP-FM70	240（180）
NP-FM90	330（270）
NP-FM91	360（300）
NP-QM70	240（180）
NP-QM91	360（300）

使い切ったバッテリーを25℃で充電したときの時間（約　分）。

撮影時間

バッテリー	ファインダーで撮影		液晶画面で撮影	
	連続撮影時*	実撮影時**	連続撮影時*	実撮影時**
NP-FM30（付属）	120	60	80	40
NP-FM50	195	105	135	65
NP-FM70	400	220	275	145
NP-FM90	600	330	425	225
NP-FM91	695	380	490	255
NP-QM70	400	220	275	145
NP-QM91	695	380	490	255

満充電してからの時間（約　分）。

* 25℃で連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。

** 録画、スタンバイ、電源入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがあります。

再生時間

バッテリー	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-FM30（付属）	85	130
NP-FM50	140	210
NP-FM70	295	430
NP-FM90	450	655
NP-FM91	520	755
NP-QM70	295	430
NP-QM91	520	755

満充電してからの時間（約　分）。

25℃で再生したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。

実用充電での撮影時間と再生時間は満充電のおよそ90%です。

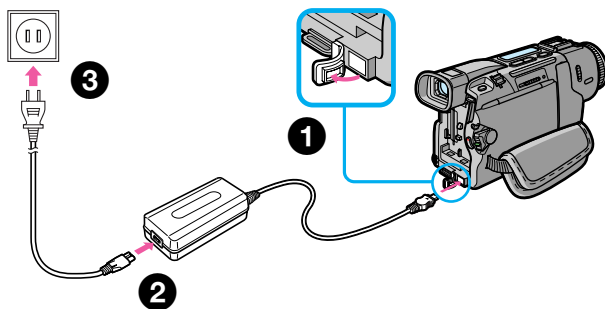
コンセントにつないで使う

ご注意

- ACパワーアダプターはコンセントの近くでお使いください。
  本機を使用中、不具合が生じた時はすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- バッテリーをつけたままでもお使いいただけます。
- 電源供給はDC IN端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC IN端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。

自動車の電源では

別売りのDCパワーアダプター/チャージャーでお使いになれます。
詳しくは、DCパワーアダプター/チャージャーの取扱説明書をご覧ください。

テープを再生するときなど長時間使用するときは、家庭用のコンセントを使うとバッテリー切れの心配なく使えます。

❶ **ACパワーアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。**

DC IN端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを上にしてつなぐ。

❷ **電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。**

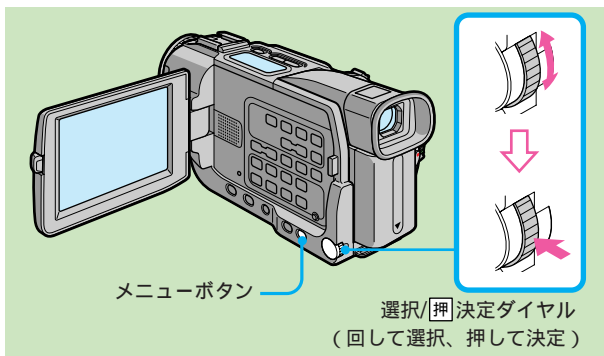
❸ **電源コードをコンセントにつなぐ。**

準備

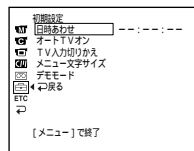
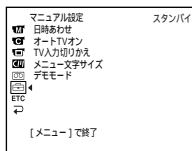
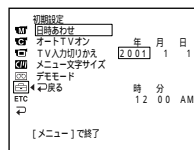
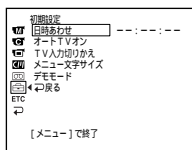
準備2 日付・時刻を合わせる

本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定してください。設定しないと電源を入れ、撮影状態にするたびにお知らせメッセージが出ます。

4か月近く使わなかったときなどに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください。(159ページ)

日時を設定しないと
テープと"メモリースティック"のデータコードには「– –:– –:– –」が記録されます。

年→月→日→時→分の順で合わせます。

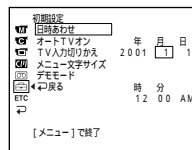
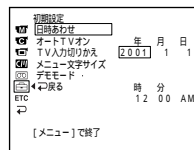
❶ 電源スイッチを[カメラ]または[メモリー]にして、**メニューボタンを押す。**

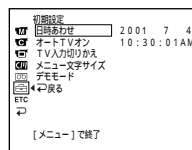
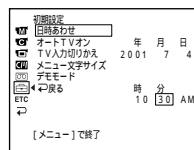
❷ **選択/押決定ダイヤルを回して、を選び、押して決定する。**

❸ **選択/押決定ダイヤルを回して、「日時あわせ」を選び、押して決定する。**

真夜中、正午は

真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

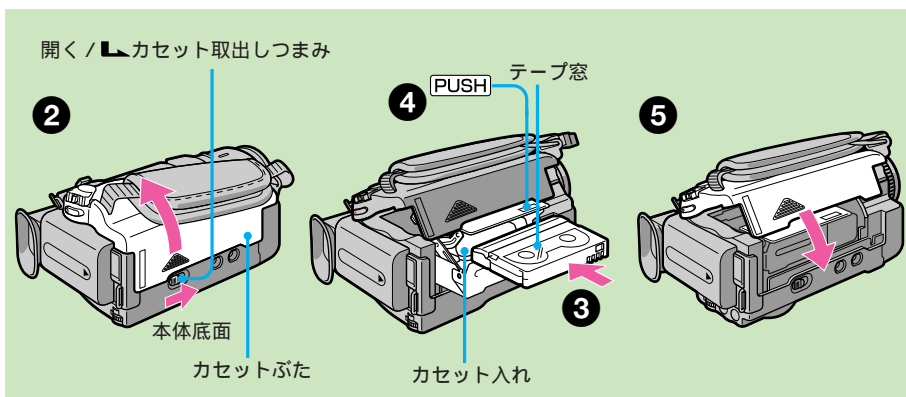
❹ 「年」を合わせる。

選択/押 決定ダイヤルを回して「年」を合わせ、押して決定する。

年表示は次のように変わる。

❺ 手順4と同様に「月」、「日」、「時」、「分」を合わせる。

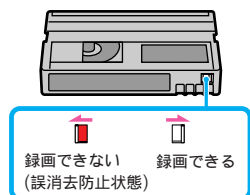
選択/押 決定ダイヤルを回して「分」を合わせて時報と同時に押して決定する。時計が動き始める。

❻ メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

準備3 カセットを入れる

ご注意

カセット入れを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。PUSH マーク以外を押しているとカセット入れが閉まらないことがあります。

カセットメモリー付きミニDVカセットをご使用のとき
カセットメモリー機能を正しくお使いいただくために153ページをご覧ください。

間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらし「赤」にします。

カセットを取り出すときは
エディットサーチボタンを押さないでください。

1 電源を準備する。
(8ページ)

2 開く/⏏カセット取出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットぶたを開ける。
カセット入れが自動的に出て開く。

3 カセットの背の中央部を押して、カセットを入れる。
テープ窓を上にして、まっすぐ奥まで押し込む。

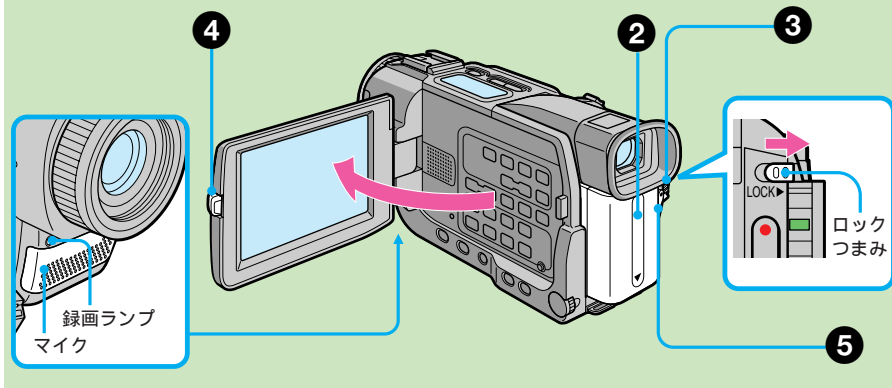
4 PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。
カセット入れが自動的に引き込まれる。

5 カセット入れが完全に引き込まれたら、カセットぶたを閉める。

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順3で取り出す。

撮影する

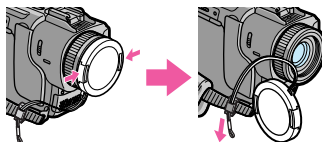
ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。

ご注意

- グリップベルトをしっかりしめてください。
- マイクに手が触れないようにしてください。

長時間録画したいときは
メニューの「録画モード」を「LP」にします(93ページ)。録画時間がSP(標準)モードの1.5倍になります。本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。

きれいなつなぎ撮りのために
カセットを取り出さない限り、電源を切っても撮影した映像はきれいにつながります。また、以下の点にご注意ください。

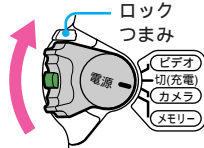
- 同じテープにSPモードで撮影した映像とLPモードで撮影した映像を混在させない。
- バッテリーの交換は電源スイッチを「切（充電）」にしてから行う。
- カセットメモリー付きのカセットでは、カセットを取り出した後でもエンドサーチ（22ページ）を使うと、きれいにつながります。

1 レンズキャップの両側をつまんで取りはずす。

このひもを引っ張ってレンズキャップを固定します。

2 バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1〜3」（8〜14ページ）をご覧ください。

3 緑のボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

撮影スタンバイになる。

ロックつまみについて
ロックつまみを右側（ロック）にすると、気付かないうちに電源スイッチが「メモリー」になるのを防ぎます。（お買い上げ時は左側（解除）になっています。）

次のページへつづく

撮影スタンバイが5分以上続くと
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるには電源スイッチを１度「切（充電）」にしてから、「カメラ」に戻します。

次のようなときは
つなぎ撮りの部分で再生画像や音声が乱れたりタイムコードが正しくつながらないことがあります。
- テープの途中で録画モード（SP/LP）を変える。
- LPモードでつなぎ撮りをする。

撮影日時/カメラデータは
画面には出ません。自動でテープ上に記録され、再生時にリモコンのデータコードボタンを押せば見ることができます。

ご注意

液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。ただし、対面撮影中はファインダーにも画像が映ります。

液晶画面は
屋外では日差しの加減で見えにくい場合があります。ファインダーでの撮影をおすすめします。

対面撮影では
液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

対面撮影中は
リモコンのゼロセットメモリーボタンは働きません。

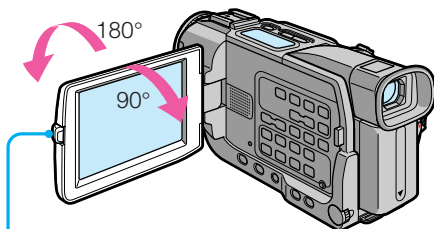
対面撮影中の表示
撮影スタンバイ中は❚❚●、撮影中は●が表示されます。その他の表示は左右が反転します。表示が出ないものもあります。

❹ OPEN**ボタンを押しながら液晶画面を開ける。**

ファインダーの画像は消える。

❺ スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まり、「●録画」の表示が出る。録画ランプが点灯する。
もう一度押すと止まる。

液晶画面を調整する

押しながら液晶画面を開く

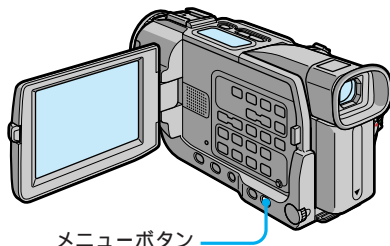
液晶画面は90°まで開きます。また、レンズの方向に180°まで、ファインダーの方向に90°まで回転し、角度を調節できます。
撮影スタンバイ中に液晶画面を180°回転させると、ファインダー内と液晶画面に☺が出ます。（**対面撮影モード**）

液晶画面を閉じるときは、液晶画面をカチッというまで垂直にしてから本体に戻します。

液晶画面の明るさを調節する

液晶画面の明るさは、メニューのの項目の「パネル明るさ」で調節します（91ページ）。

液晶バックライトの明るさは
メニューの「パネルバックライト」で変えることができます（91ページ）。

パネル明るさ/パネルバックライトは
調節しても記録される画像に変化はありません。

撮影が終わったら

1 **電源スイッチを「切（充電）」にする。**

2 **液晶画面を閉じる。**

3 **カセットを取り出す。**

ファインダーの視度を調節する

液晶画面を閉じて撮影するときは、ファインダーで画像を見ます。自分の視力に合わせてファインダー内の文字がはっきり見えるように、調節します。

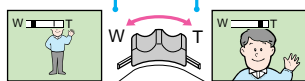
ファインダーを上げて、視度調節つまみを動かす。

ファインダーバックライトの明るさは
メニューの「VFバックライト」で変えることができます（91ページ）。

ズームする

ズームレバーを動かす。

軽く動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。使いすぎると見づらい作品になります。

被写体が小さくなる（広角：Wide）　被写体が大きくなる（望遠：Telephoto）

10倍を超えるズームはデジタルズームになります。
デジタルズームを使うには、メニューで「デジタルズーム」の倍率を選択してください。（90ページ）

このラインよりT側がデジタルズームになります。メニューで「デジタルズーム」の倍率を選ぶと表示されます。

撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。

近くのものにピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

デジタルズームについて
- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は20倍または120倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。
- 電源スイッチを「メモリー」にすると、デジタルズームは使えません。

バッテリー残量表示について
連続撮影時間の目安を表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

タイムコードについて
テープ走行時間が「0:00:00」（時:分:秒）と出ます。再生中は「0:00:00:00」（時:分:秒:フレーム）と出ます。あとからこのタイムコードだけを書き直すことはできません。

テープの残量表示について
テープの種類によっては正しく表示されないことがあります。

撮影日時/カメラデータは
画面には出ません。自動でテープ上に記録され、再生時にリモコンのデータコードボタンを押せば見ることができます。

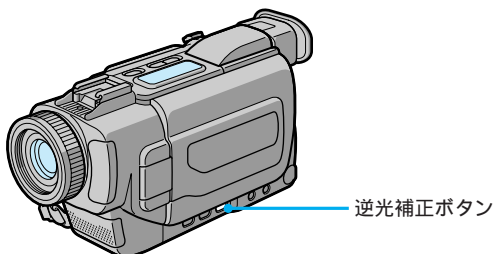
逆光補正をする

逆光補正中に明るさボタンを押すと
逆光補正は解除されます。

被写体のうしろに光源があり、被写体が暗く映る時などに明るさの補正をします。

[撮影中]、[撮影スタンバイ中]または電源スイッチを「メモリー」にしたときに

逆光補正ボタンを押す。

逆光補正表示が出ます。逆光補正ボタンをもう一度押すと解除されます。

暗闇で撮る－NIGHTSHOT（ナイトショット）/SUPER NIGHTSHOT（スーパーナイトショット）

ご注意

- 昼間の屋外の明るいところではお使いにならないでください。故障の原因になります。
- NIGHTSHOTで撮影中の画像は、正しい色が表現されません。
- NIGHTSHOT時、オートフォーカスが合いにくいときは、マニュアルフォーカスをご使用ください。

NIGHTSHOT中は以下の操作ができません

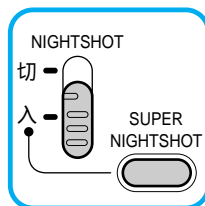
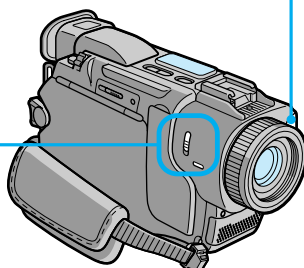
- カメラ明るさ調整
- プログラムAE
- ホワイトバランス

夜間に動植物を観察するときやキャンプなど、暗い場所で撮影できます。

[撮影中]、[撮影スタンバイ中]または電源スイッチを「メモリー」にしたとき

NIGHTSHOTスイッチを「入」にする。

NIGHTSHOT表示と“ NIGHTSHOT ”が点滅します。
NIGHTSHOTスイッチを「切」にすると解除されます。

撮る

SUPER NIGHTSHOT時のシャッタースピードは
明るさによって自動的に変わります。このとき画像の動きは遅くなります。

SUPER NIGHTSHOT中は以下の操作ができません
- フェーダー
- デジタルエフェクト
- プログラムAE
- カメラ明るさ調節
- ホワイトバランス

電源スイッチを「メモリー」にしたときは
SUPER NIGHTSHOTは使えません。

SUPER NIGHTSHOT（スーパーナイトショット）を使う

SUPER NIGHTSHOTボタンを使うと、NIGHTSHOTの最大16倍の感度で被写体を明るく撮影できます。

1 [撮影中] または [撮影スタンバイ中] に **NIGHTSHOTスイッチを「入」にする。**

◉と“ NIGHTSHOT ”が点滅します。

2 **SUPER NIGHTSHOTボタンを押す。**

S◉と“ SUPER NIGHTSHOT ”が点滅します。

SUPER NIGHTSHOTボタンをもう一度押すと解除されます。

NIGHTSHOTライトは
赤外線のため、目には見えません。ライトの届く範囲は約3mです。

NIGHTSHOTライトを使う

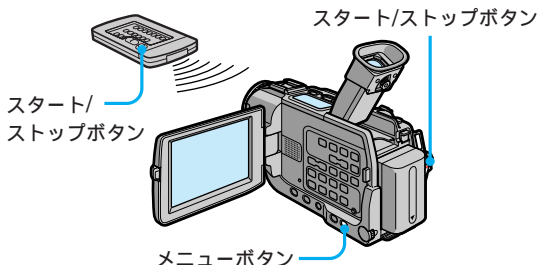
NIGHTSHOTライトを使うと画像がよりはっきりします。メニューで「N.S.ライト」を「入」にします。（90ページ）

セルフタイマー撮影

ご注意

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」か「ビデオ」にしたとき。

電源スイッチを「メモリー」にしたときでも
セルフタイマー撮影ができます。（108ページ）

セルフタイマーを使用すると、10秒後に自動的に撮影が始まります。リモコンも使えます。

1 ［撮影スタンバイ中］に
メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

2 **選択/押決定ダイヤルを回して、メニューで を選び押して決定する。**

3 **選択/押決定ダイヤルを回して、「セルフタイマー」を選び押して決定する。**

4 **選択/押決定ダイヤルを回して、「入」を選び押して決定する。**

5 **メニューボタンを押してメニュー画面を消す。**

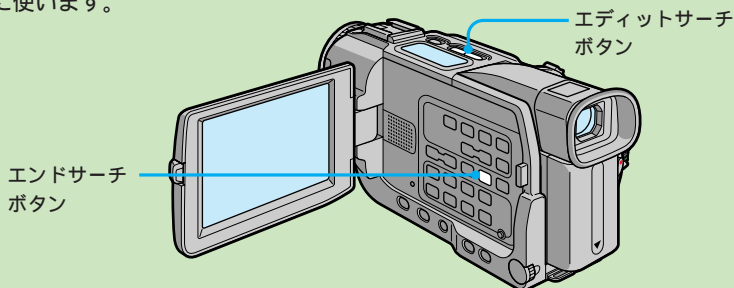
6 **スタート/ストップボタンを押す。**
セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影が始まる。撮影を停止するには、スタート/ストップボタンをもう1度押す。

秒読みを停止するとき
スタート/ストップボタンを押す。再開するにはもう1度押す。

セルフタイマーで静止画を撮るとき
手順6でフォトボタンを押す。（29ページ）

セルフタイマーを止めるとき
撮影スタンバイ中にメニューの「セルフタイマー」で「切」を選ぶ。

次の撮影開始点を探す
ーエンドサーチ/エディットサーチ/レックレビュー

撮った画面が気になるときや、最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。

エンドサーチは
カセットメモリーの付いていないカセットは、一度取り出すと働きません。カセットメモリー付きのカセットを使えば、カセットを一度取り出してもエンドサーチは働きます。

テープの途中に無記録部分があると
エンドサーチが正しく働かない場合があります。

エンドサーチ

最後に撮影した終わりの部分に戻ります。

［撮影スタンバイ中］に
エンドサーチボタンを押す。

エンドサーチ

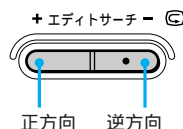
最後に撮影した終わりの約5秒間が再生され、撮影スタンバイに戻る。
スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

エディットサーチ

次の撮影開始点を探します。

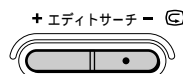
［撮影スタンバイ中］に
エディットサーチ＋/ー⊖ボタンを押し続ける。 画像が再生される。

＋：場面を進める

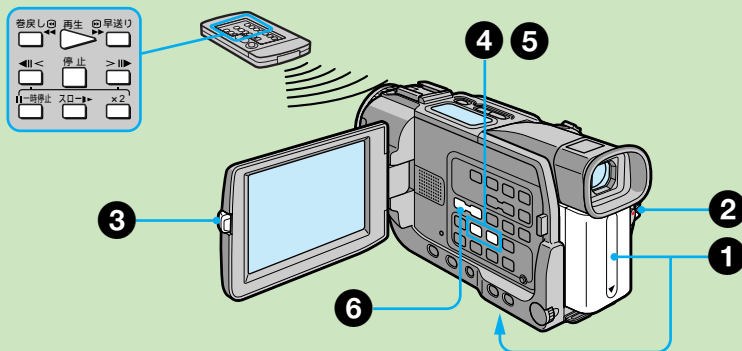
ー⊖：場面を戻す

指を離したところが、次の撮影開始点になる。音は出ない。

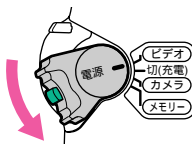
レックレビュー

最後の場面を確認します。

［撮影スタンバイ中］に
エディットサーチボタンのー⊖側をポンと1回押す。

テープを停止させた部分が数秒間再生され、撮影スタンバイに戻る。スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

再生する

撮影したテープなどを液晶画面で見ます。液晶画面を閉じるとファインダーでも見られます。
リモコンでも操作できます。

❶ **バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。**

❷ **緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❸ **液晶画面を開ける。**

❹ **◀◀巻戻しボタンを押す。**
巻き戻しが始まる。

❺ **▶再生ボタンを押す。**
画像が映る。

❻ **音量ボタンを押して、音量を調節する。**
液晶画面を閉じているときは、音が出ません。

次のページへつづく

見る

液晶画面を開けたり閉じたりするときは
液晶画面を必ず垂直にしてからおこなってください。

カメラデータとは
撮影したときのビデオカメラの設定の情報です。撮影中は表示されません。

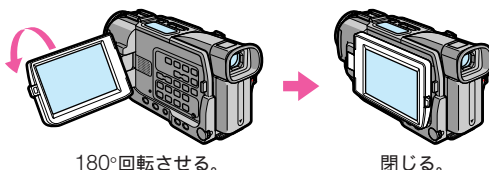
次のときは、「-- -- --」を表示します。
- 無記録部分
- テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
- 日付・時刻を設定しないで撮影したテープ

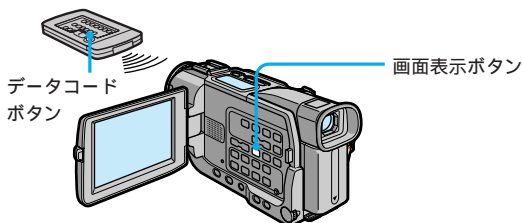
データコードは
本機をテレビにつなぐと、テレビ画面にも出ます。

再生中のバッテリー残量表示について
連続再生時間の目安を表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

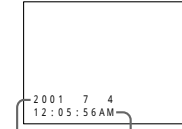
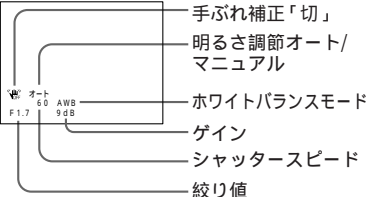
再生を止める

■停止ボタンを押す。

液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。

テープカウンターなどの表示を出すー画面表示機能

本機またはリモコンの画面表示ボタンを押す。
液晶画面に表示が出る。
消すときはもう1度押す。

データコードについて

本機は撮影時の日付•時刻およびカメラデータを自動的に画像とは別にテープに記録しています（データコード機能）。
リモコンでのみ操作できます。

[再生中]にリモコンのデータコードボタンを押す。
押すたびに次のように表示が変わります。
「日付表示」→「カメラデータの表示」→表示なし

カメラデータを表示させないようにする

メニューの「データコード」で「日付データ」を選ぶ。（95ページ）
リモコンのデータコードボタンを押すたびに次のように表示が変わります。
「日付表示」←→表示なし

変速再生中は
- 音声は出ません。
- 前の映像がモザイク状に残ることがあります。

一時停止（静止画）について
5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度►再生ボタンを押します。

スロー再生について
本機にはスロー画像もなめらかに再生する機能があります。ただしi DV入力/出力端子から出力される画像にはこの機能は働きません。

逆方向再生について
画面の上下や、中央に横縞が入ることがありますが、故障ではありません。

いろいろな再生

電源スイッチが「ビデオ」のときに操作します。

静止画を見る
［再生中］に❚❚一時停止ボタンを押す。
もう1度押すか、►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする
［停止中］に►►早送りボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す
［停止中］に◄◄巻戻しボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

逆方向に再生する
［再生中］にリモコンの＜ボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り/巻き戻しする（ピクチャーサーチ）
［再生中］に►►早送り/◄◄巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り/巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）
［早送り中］または［巻き戻し中］に►►早送り/◄◄巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

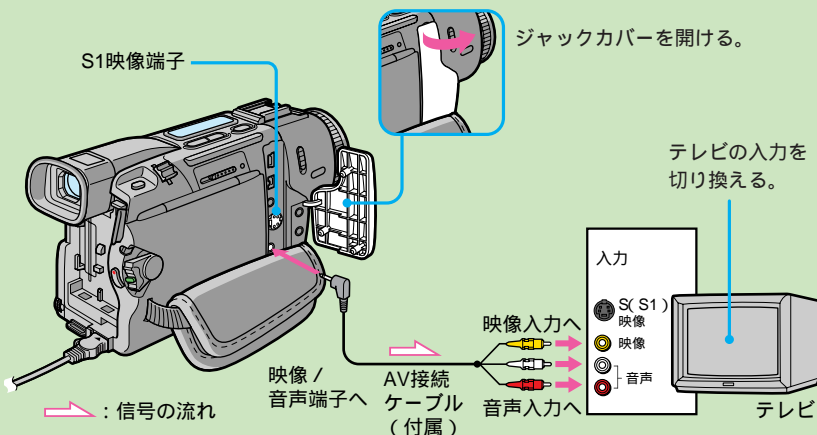
スロー画を見る
［再生中］にリモコンのスロー❚►ボタンを押す。
逆方向にスロー再生するときは、リモコンの＜ボタンを押してからスロー❚►ボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

2倍速で見る（倍速再生）
［再生中］にリモコンのX2ボタンを押す。
逆方向に倍速再生するときは、リモコンの＜ボタンを押してからX2ボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

コマ送りで見る
［再生一時停止中］にリモコンの❚❚►ボタンを押す。
逆方向にコマ送りするときは、◄❚❚ボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）
［停止中］にエンドサーチボタンを押す。
最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。
電源は付属のACパワーアダプターを使って、コンセントからとることをおすすめします（11ページ）。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

別売りのS映像ケーブルを使うと
再生画像がより鮮明になります。テレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色い端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像端子とテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。
ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。
音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。

SUPER LASER AVLINK
別売りのAVコードレスIRレシーバーIFT-R20との組み合わせで最大距離が従来比*60%アップ、またノイズレベル約40%減を実現しています。
* LASER AVLINK搭載ビデオカメラとIFT-R10組み合わせた時

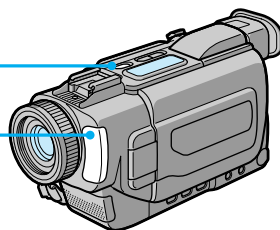
電源スイッチを「切（充電）」にすると
自動的に解除されます。

ソニー製のテレビの場合は
- 電源について
  本機のSUPER LASER AVLINKボタンを押すと、自動的にテレビの電源が入ります。あらかじめ下記の操作をしておいてください。
  – テレビの主電源を入れる。
  – 本機のメニューで「オートTVオン」を「入」にする。
  – 本機の赤外線発光部をテレビのリモコン受光部に向けておく。
- 入力について
  本機のメニューで「オートTVオン」を「入」に設定し、「TV入力切りかえ」をIRレシーバーをつないだテレビの入力端子（ビデオ1/2/3）と同じに設定すると、テレビの入力も自動的に切り換わります。（テレビによっては、切り換わるときに一瞬画像や音声がとぎれることがあります。）
- 機種によっては操作できないことがあります。

SUPER LASER AVLINK **を使うと**
バッテリーの使用時間が短くなりますので、使わないときはSUPER LASER AVLINKを解除しておいてください。

SUPER LASER AVLINK はソニー（株）の商標です。

ケーブルを使わずに見る－SUPER LASER AVLINK（スーパーレーザーエーブイリンク）

別売りのAVコードレスIRレシーバーをテレビにつないでおくと、ケーブルを接続しなくても本機で再生した画像をテレビで見ることができます。
詳しくはAVコードレスIRレシーバーの取扱説明書をご覧ください。

ACパワーアダプターなどの電源を付け、再生したいカセットを入れておく。

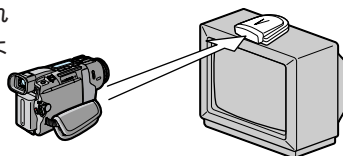
1 テレビにIRレシーバーをつなぎ、IRレシーバーの電源を入れる。

2 テレビの電源を入れ、テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。

3 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

4 SUPER LASER AVLINKボタンを押す。
ボタンのランプが点灯する。

5 本機の►再生ボタンを押す。
再生が始まる。

6 本機とIRレシーバーの向きを合わせる。
再生中の画像がきれいにテレビに映るようにする。

SUPER LASER AVLINKを解除する
SUPER LASER AVLINKボタンを押して、ボタンのランプを消す。

見る

テープに静止画を撮る – テープフォト撮影

テープに静止画を記録できます。60分テープならSPモードで約510枚、LPモードで約765枚撮れます。
本機では" メモリースティック "にも静止画を記録できます。（105ページ）

- ビデオプリンターでプリントしたいとき
- 後からテレビやモニターで見たいとき

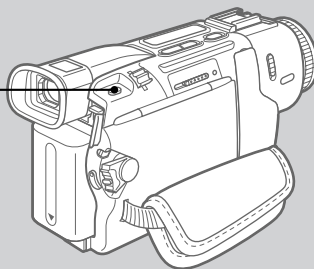
ご注意

- テープフォト撮影中はモードや設定を変更することはできません。
- 静止画を撮影するときは、本機を振らないでください。画像が乱れることがあります。
- 以下の設定中や操作中は、テープフォト撮影できません。
  – フェーダー
  – デジタルエフェクト

動きのある画像をテープフォト撮影すると
他の機器で再生したときに画像がぶれることがありますが、故障ではありません。

リモコンのフォトボタンで撮影すると
押したときに映っている画像が記録されます。

カメラ録画中にテープフォト撮影するときは
フォトボタンを軽く押して画像を確認することができません。フォトボタンを深く押してください。約7秒間静止画を記録したあと、撮影スタンバイに戻ります。

ブレの少ない、美しい静止画を撮影するには
" メモリースティック "を使った「メモリーフォト撮影」をおすすめします。

❶ ［撮影スタンバイ中］に
フォトボタンを軽く押したまま画像を確認する。

画像が静止画になり、キャプチャー表示が出る。
このとき録画はされません。

画像を選びなおすときはフォトボタンを離してからもう1度軽く押す。

❷ **フォトボタンを深く押す。**

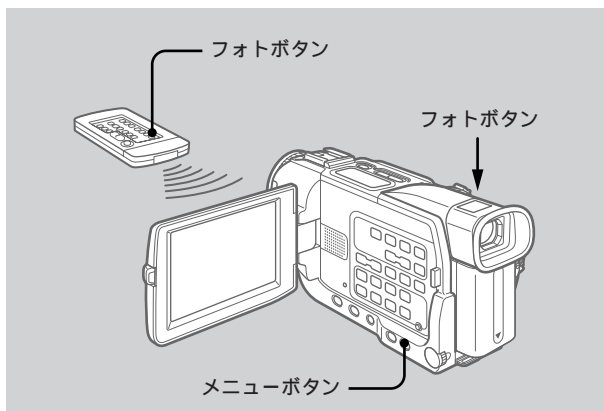
録画中は1秒ごとに赤い丸が消えていく。

ボタンを押し込んだときの画像が約7秒間静止画で記録される。記録中の音声も同時に録音される。
記録中に映る画像は静止画となります。

ご注意

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマーテープフォト撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」または「ビデオ」にしたとき。

セルフタイマーテープフォト撮影

セルフタイマーを使用して、テープに静止画を記録できます。リモコンも使えます。

❶ [撮影スタンバイ中] に
メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

❷ **選択/押決定ダイヤルを回して、を選び押して決定する。**

❸ **選択/押決定ダイヤルを回して、「セルフタイマー」を選び押して決定する。**

❹ **選択/押決定ダイヤルを回して、「入」を選び押して決定する。**

❺ **メニューボタンを押してメニュー画面を消す。**

❻ **フォトボタンを深く押す。**

セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影される。

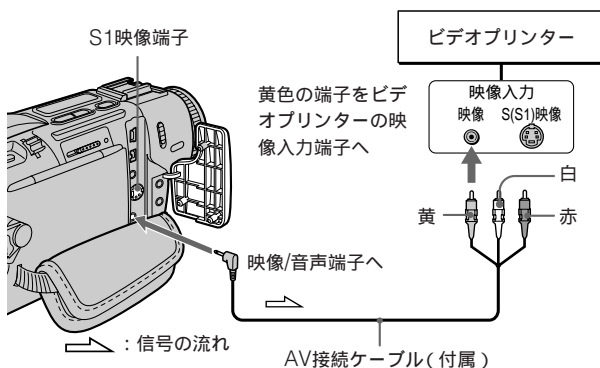
セルフタイマーを止めるとき

撮影スタンバイ中にメニューの「セルフタイマー」で「切」を選ぶ。

リモコンを使って撮影を中断することはできません。

ビデオプリンターにS（S1）映像入力端子がついているときは
別売りのS映像ケーブルでつなぐと、プリント画像がより鮮明になります。

静止画を別売りのビデオプリンターでプリントする

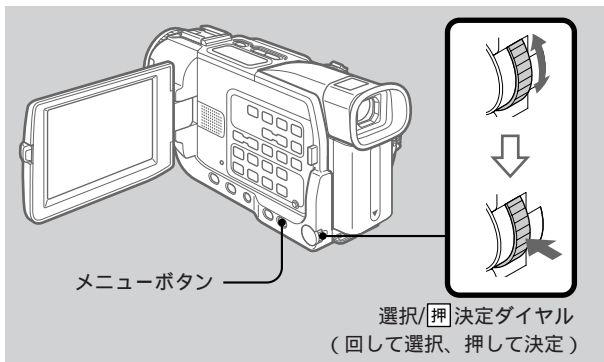
本機と別売りのビデオプリンターを使うとビデオプリンターに画像を取り込みプリントできます。

ビデオプリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

自然な色あいに調節する－ホワイトバランス

明るさや撮影する状況に合わせて、自然な色あいの画像になるように手動で調節できます。通常は、自動的に色あいの調節が行われています。

- パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- 夜景やネオンサインなどを屋外で撮るとき

スタジオ照明やビデオライトで撮影する場合は
（オクナイ）に設定して撮影することをおすすめします。

蛍光灯照明下で撮影する場合は
ホワイトバランスを自動調節にするか、ホールドに設定して撮影することをおすすめします。（オクナイ）に設定して撮影すると、ホワイトバランスが正しくとれない場合があります。

ホワイトバランスを「オート」にしたままで
次のように撮影条件を変えたときは、電源スイッチを「カメラ」にしてから10秒間くらい白っぽい被写体に向けるとよりよい色あいに調節されます。

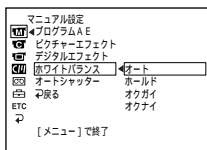
- バッテリーを交換したとき
- 画像の明るさを固定させたまま屋外と屋内を行き来したとき

ホワイトバランスを「ホールド」にしたままで
次のように撮影条件を変えたときは、ホワイトバランスを一度「オート」にしてしばらくしてから「ホールド」に戻してください。

- プログラムAEのモードを変えたとき
- 屋外と屋内を行き来したとき

［撮影中］、［撮影スタンバイ中］または電源スイッチを［メモリー］にしたとき

1 メニューで の項目の「ホワイトバランス」を選ぶ。（90ページ）

2 希望のホワイトバランスモードを選ぶ。

（オクナイ）
- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下で撮るとき
- ナトリウムランプや水銀灯の下で撮るとき

（オクガイ）
- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき
- 昼光色蛍光灯の下で撮るとき

HOLD（ホールド）
単一色の被写体や背景を撮るとき

自動調節に戻す

メニューの「ホワイトバランス」で「オート」を選ぶ。

横長の画面にする – ワイドTVモード

ワイドテレビでご覧になるときに、画面いっぱいに映るように撮影できます。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき

ワイドTVモードで撮影

ファインダー/液晶画面

通常のテレビで再生

ワイドテレビで再生

画像が縦長になります。

テレビをフルモードに切り換える

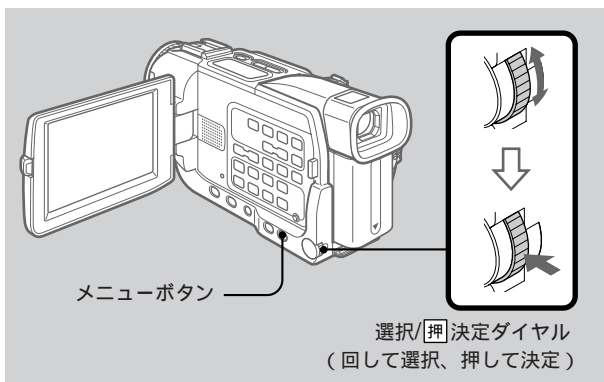
ワイドTVモード中は
以下の操作ができません。
– オールドムービー
– バウンド

録画中は
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。
ワイドTVモードを解除するときは、必ず「撮影スタンバイ」にしてから、メニューの「ワイドTV」を「切」にしてください。

テレビの接続について
下記の接続のとき、ワイドTVモードで記録した画像を再生すると、画像は自動的にフルモードに切り換わります。
- ビデオIDシステム(ID-1/ID-2)方式対応のテレビと接続したとき。
- テレビのS(S1)映像入力端子に接続したとき。

ID-1方式とは
ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を通信するシステムです。この方式に対応しているテレビとつなぐと、自動的にテレビのワイドモードが切り換わります。

ID-2方式とは
ID-1方式に加え著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステムです。

S1映像信号とは
通常のS映像信号にワイド自動選択用の信号が加算されています。

[撮影スタンバイ中]に

メニューでの項目の「ワイドTV」を「入」にする。**(90ページ)**

ワイドTVモードを解除する

メニューの「ワイドTV」で「切」を選ぶ。

効果的な場面転換をする － フェーダー

余韻を残して場面を変えたり徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）して効果的な場面転換を演出できます。

フェードイン

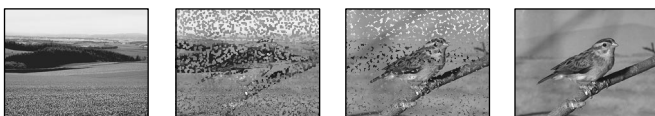
フェーダー

モザイクフェーダー

バウンド

オーバーラップ*

ワイプ*

ドットフェーダー*

フェードアウト

モノトーンフェーダー　フェードインは白黒からカラーに、フェードアウトはカラーから白黒になります。

*フェードインのみ

使いこなす－撮影－

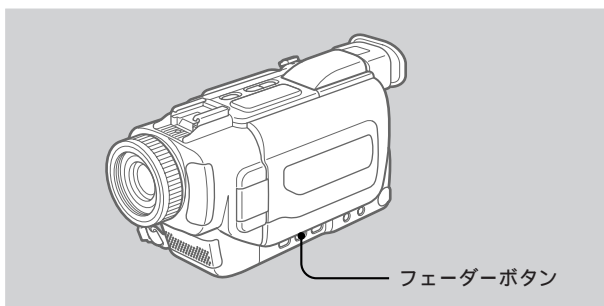
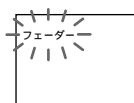
ご注意

フェード中には以下の操作ができません。また以下の操作中にはフェードイン・フェードアウトはできません。
– デジタルエフェクト
– プログラムAEのキャンドル（オーバーラップ、ワイプまたはドットフェーダーのみ）（表示が点滅します）
– SUPER NIGHTSHOT
– テープフォト撮影

「オーバーラップ」、「ワイプ」または「ドットフェーダー」を出すと
本機が自動的に動作し、テープ上の画像を記憶します。記憶中は表示が早い点滅になり、画面が消えます。
このときテープの状態によっては、きれいな画像が撮影できないことがあります。

バウンド動作中には、以下の操作ができません
- カメラ明るさ調節
- フォーカス
- ズーム
- ピクチャーエフェクト

以下の操作中にはバウンドが表示されません
- メニューでデジタルズームの「20×」または「120×」を選択しているとき
- ワイドTVモード
- ピクチャーエフェクト
- プログラムAE

電源スイッチを［メモリー］にしたときは
フェードイン・フェードアウトはできません。

1 • フェードインは［撮影スタンバイ中］に
• フェードアウトは［撮影中］に
フェーダーボタンを押して希望のフェーダーモード表示を出す。

押すたびに変わります。
→フェーダー→モザイクフェーダー→バウンド→モノトーンフェーダー→オーバーラップ→ワイプ→ドットフェーダー→表示なし

表示は前回使ったモードから表示されます。

2 **スタート/ストップボタンを押す。**
フェーダーモード表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

フェードイン・フェードアウトを解除する

スタート/ストップボタンを押す前に、もう1度フェーダーボタンを押し、フェーダー表示を消す。

画像に特殊効果を加える – ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。

ネガアート
→写真のネガフィルムのように

ソラリ
→明暗をはっきりさせたイラストのように

スリム
→縦に引き伸ばしたように

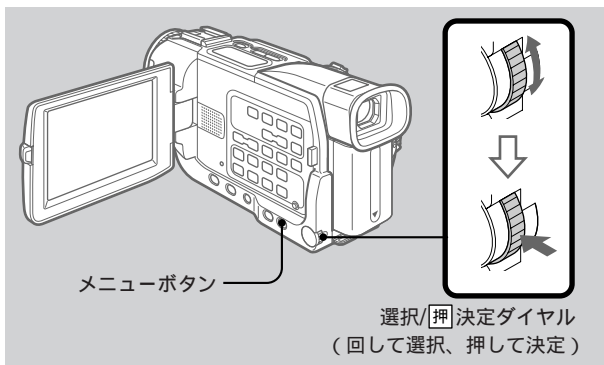
ストレッチ
→横に引き伸ばしたように

パステル
→淡い色のパステル画のように

モザイク
→タイルを組み合わせたように

セピア→古い写真のような色合いに　**モノトーン**→白黒に

ピクチャーエフェクト中は
以下の操作ができません。
– オールドムービー
– バウンド

電源スイッチを「切（充電）」にすると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

❶ ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に
メニューで M の項目の「ピクチャーエフェクト」を選ぶ。（90ページ）

❷ **希望のピクチャーエフェクトを選ぶ。**

ピクチャーエフェクトを解除する

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選ぶ。

特殊な演出を加えて撮る – デジタルエフェクト

デジタル機能を使って撮影画像にさまざまな演出を加えることができます。音声はそのまま録音されます。

スチル
あらかじめ取り込んだ静止画に、動画を重ねて撮影する。

フラッシュ（フラッシュモーション）
コマ送り撮影をする。

ルミキー（ルミナンスキー）
あらかじめ取り込んだ静止画の明るい部分に、動画をはめ込む。

トレイル
被写体の動きが、尾を引くように撮影する。

スローシャッター
シャッタースピードを遅くする。暗いところで撮影しやすい。

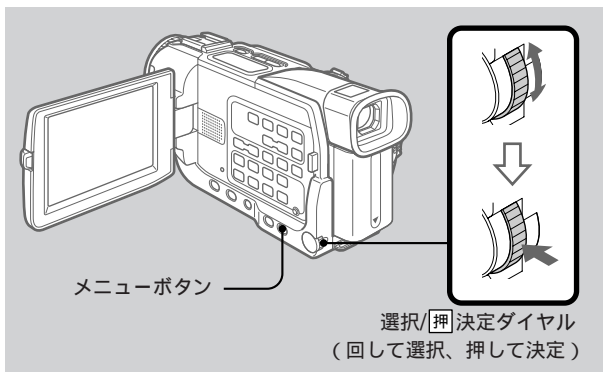
オールドムービー
画面は横長、画像はセピア、シャッタースピードを遅くして、昔の映画のように撮影する。

（スチル）

（ルミキー）

ご注意

- デジタルエフェクト操作中は以下の操作ができません。
  – フェーダー
  – プログラムAEのキャンドル（表示が点滅します）
  – テープフォト撮影
  – SUPER NIGHTSHOT
- スローシャッターを選ぶとプログラムAEの操作はできません。
- オールドムービーを選ぶと以下の操作ができません。
  – ワイドTVモード
  – ピクチャーエフェクト
  – プログラムAE

電源スイッチを「切（充電）」にすると
デジタルエフェクトは自動的に解除されます。

❶ ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に**メニューでの項目の「デジタルエフェクト」を選ぶ。**（90ページ）

スローシャッターでは
自動でピントが合いにくくなることがあります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせてください。

スローシャッターのシャッタースピードは

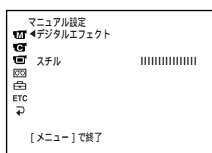
表示	シャッタースピード
スローシャッター1	1/30
スローシャッター2	1/15
スローシャッター3	1/8
スローシャッター4	1/4

❷ 選択/押 決定ダイヤルを回して、希望のデジタルエフェクトモードを選び、押して決定する。

バーが表示される。
スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

❸ 選択/押 決定ダイヤルを回して、効果を調節する。

調節する内容は以下の通り。

スチル	撮影中の動画の背景にある静止画の写り具合。
フラッシュ	フラッシュの間隔。
ルミキー	静止画の、動画を取り込む部分の明るさの度合い。
トレイル	残像が残る時間。
スローシャッター	シャッタースピード。 数字を大きくするほど遅くなる。
オールドムービー	調節は必要ない。

バー表示。大きくするほど効果が大きくなる。
次のデジタルエフェクトで表示される。
スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイル。

デジタルエフェクトを解除する

メニューの「デジタルエフェクト」で「切」を選ぶ。

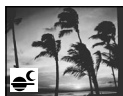
撮影状況に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

スポットライト
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

ソフトポートレート
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。

スポーツレッスン
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。

ビーチ&スキー
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

サンセット&ムーン
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影することができます。

風景
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

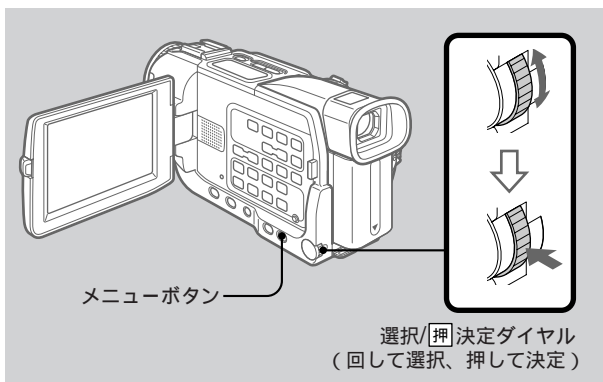
キャンドル
暗い場所でも、被写体を明るく撮影することができます。

ご注意

- 次のモードでは近くのものにピントが合わないようにフォーカスを制御します。
  – スポットライト
  – スポーツレッスン
  – ビーチ＆スキー
- 次のモードでは遠景のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
  – サンセット＆ムーン
  – 風景
- プログラムAE中は以下の操作ができません。
  – スローシャッター
  – オールドムービー
  – バウンド
- キャンドルモード中は以下の操作ができません。
  – デジタルエフェクト
  – オーバーラップ
  – ワイプ
  – ドットフェーダー
- 電源スイッチを「メモリー」にしたとき、以下の操作はできません。（表示が点滅します）
  – キャンドル
  – スポーツレッスン
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしているとき、プログラムAEモードは使えません。（表示が点滅します）

ホワイトバランスを「オート」にしているときは
プログラムAEを使うときも自動的にホワイトバランスが調節されます。

プログラムAEモードで撮影中でも
明るさを調節できます。

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると
次のモードでは画面が明るくなったりする現象（フリッカー）が起こったり、色が変化することがあります。このような場合にはプログラムAEを解除してください。
– ソフトポートレート
– スポーツレッスン

1 ［撮影スタンバイ中］、［撮影中］または電源スイッチを「メモリー」にしたとき
メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

2 **選択/押 決定ダイヤルを回して、M を選び押して決定する。**

3 **選択/押 決定ダイヤルを回して、「プログラムAE」を選び押して決定する。**

4 **選択/押 決定ダイヤルを回して、希望のプログラムAEモードを選ぶ。**

プログラムAEを解除する

メニューの「プログラムAE」で「オート」を選ぶ。

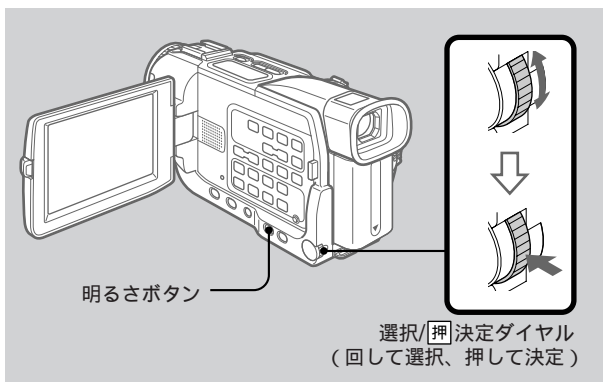
手動で画像の明るさを調節する

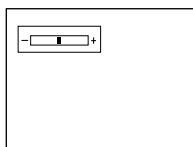
画像をお好みの明るさに手動調節し、固定することができます。

- 逆光補正を細かく行いたいとき
- 背景に比べて、被写体が明るすぎるとき
- 夜景を撮りたいとき

ご注意

明るさ調節しているときは逆光補正ボタンは働きません。

以下のとき、明るさ調節は自動に戻ります。
- プログラムAEのモードを変える。
- NIGHTSHOTを「入」にする。

❶ ［撮影スタンバイ中］、［撮影中］または電源スイッチを［メモリー」にしたとき
明るさボタンを押す。

明るさ表示が出る。

❷ **選択/押 決定ダイヤルを回して、明るさを調節する。**

自動調節に戻す

もう1度明るさボタンを押す。

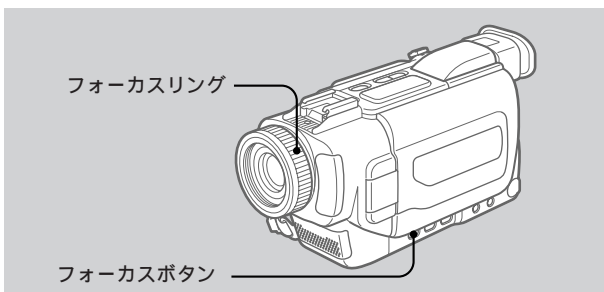
手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

- 自動ではピントが合いにくいとき
  - 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
  - 被写体が横縞だけのもののとき
  - 被写体と背景とのコントラストが弱いとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき
- 三脚を使い、静止した被写体をピントを固定して撮るとき

正確にピントを合わせるには
ズームをT側（望遠）でピントを合わせたあと、なるべくW側（広角）で撮るようにズームを調節するとピントが合いやすくなります。

近づいて大きく撮るとき
ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

手動でピント合わせをするとき、が次のようなマークに変わります。
- 無限遠にあるとき。
- それ以上近くにピント合わせをすることができないとき。

1 ［撮影スタンバイ中］、［撮影中］または電源スイッチを［メモリー］にしたとき
フォーカスボタンを軽く１回押す。
手動ピント合わせ表示が出る。

2 **フォーカスリングを回し、ピントの合う位置を調節する。**

自動調節に戻す

フォーカスボタンを軽く押して、または、表示を消す。

ピントを無限遠にして撮影する

フォーカスボタンを深く押し込むとピントは無限遠になり、の表示が出る。
指を離すとピント合わせが手動に戻る。
遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントが合ってしまうときに使います。

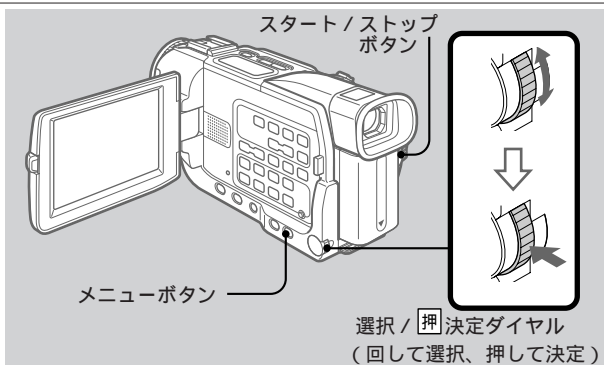
一定時間おきに撮る – インターバル録画

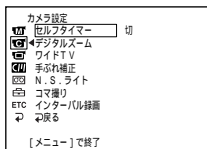
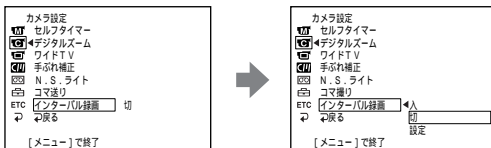
あらかじめ設定した時間ごとに、録画と録画停止を交互に行います。

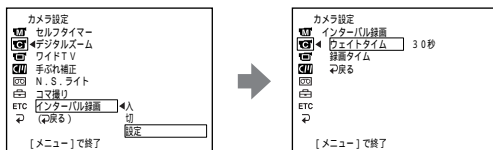
花の開花や、昆虫の羽化などの場面を時間をおいて撮影するとき。

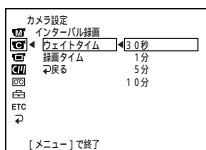
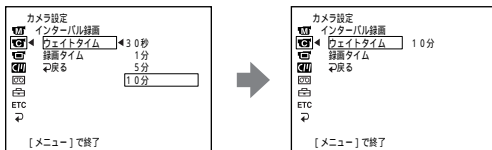
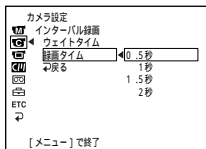
例
「ウェイトタイム」10分、「録画タイム」1秒を選んだ場合（約10分ごとに、約1秒録画されます。）

ご注意

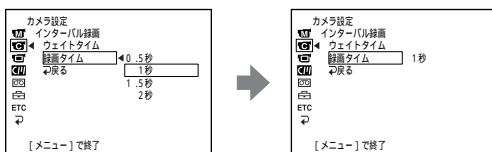
メモリーモードのときは、インターバル録画はできません。

1 ［撮影スタンバイ中］に
メニューボタンを押して、メニュー画面を出す。

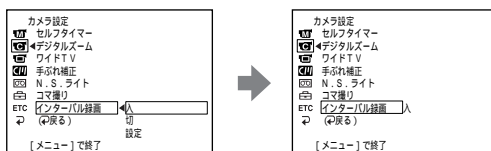
2 **選択／押決定ダイヤルを回して を選び、押して決定する。**

3 **選択／押決定ダイヤルを回して「インターバル録画」を選び、押して決定する。**

録画タイムは
最大±6フレーム程度の誤差が出ることがあります。

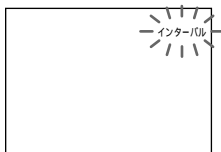
❹ 選択／押 決定ダイヤルを回して「設定」を選び、押して決定する。

❺ 「ウェイトタイム」と「録画タイム」を設定する。

1 **選択／押 決定ダイヤルを回して「ウェイトタイム」を選び、押して決定する。**

2 **選択／押 決定ダイヤルを回して「ウェイトタイム」を設定し、押して決定する。**

3 **選択／押 決定ダイヤルを回して「録画タイム」を選び、押して決定する。**

4 **選択／押 決定ダイヤルを回して「録画タイム」を設定し、押して決定する。**

使いこなす―撮影―

次のページへつづく

5　選択／押 決定ダイヤルを回して「↩戻る」を選び、押して決定する。

❻ 選択／押 決定ダイヤルを回して「インターバル録画」を「入」にし、押して決定する。

❼ メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

インターバル表示が点滅する。

❽ スタート／ストップボタンを押す。

インターバル録画が始まる。

インターバル録画中は、インターバル表示が点灯する。

インターバル録画を解除する

次のいずれかの操作を行います。

- メニュー画面で「インターバル録画」を「切」にする。
- 電源スイッチを「カメラ」以外にする。

インターバル録画実行中に通常の録画をする

スタート／ストップボタンを押す。

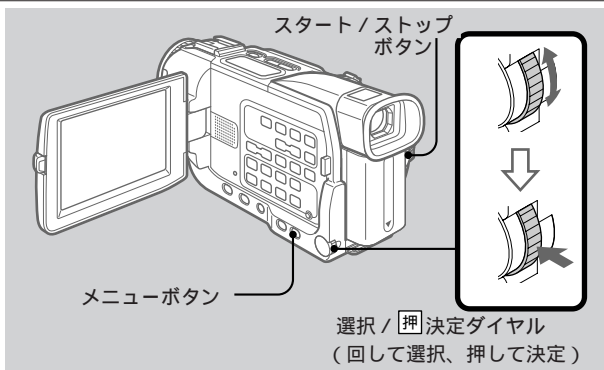
1回だけ通常の録画ができます。終了するには、もう1度スタート／ストップボタンを押します。

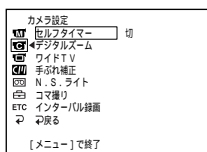
アニメーションのように撮る − コマ撮り

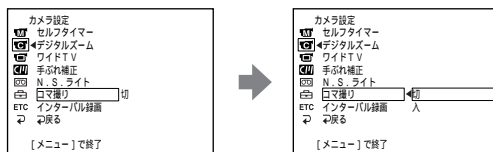
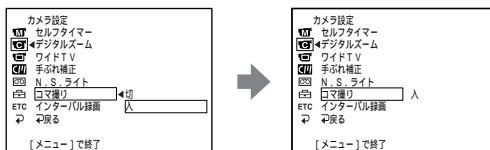
人形やおもちゃなどを少しずつ動かしながらコマ撮りをすると、アニメーションのような効果を出せます。本機を固定し、手順6以降をリモコンで操作することをおすすめします。

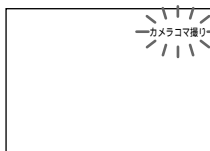
コマ撮りをすると
最終カットは通常の1コマよりも長くなります。

ご注意

コマ撮りを連続して行うと、テープ残量表示は正しく表示されません。

1 ［撮影スタンバイ中］に
メニューボタンを押して、メニュー画面を出す。

2 **選択／押決定ダイヤルを回して、 を選び、押して決定する。**

3 **選択／押決定ダイヤルを回して「コマ撮り」を選び、押して決定する。**

次のページへつづく

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して「入」を選び、押して決定する。

❺ メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

カメラコマ撮り表示が点灯する。

❻ スタート／ストップボタンを押す。

1コマ（約6フレーム）分の撮影が行われ、撮影スタンバイに戻る。

❼ 被写体を動かし、手順6を繰り返す。

コマ撮りを解除するには

次のいずれかの操作を行います。

- メニュー画面で「コマ撮り」を「切」にする。
- 電源スイッチを「カメラ」以外にする。

画像にピクチャーエフェクトを加えて見る

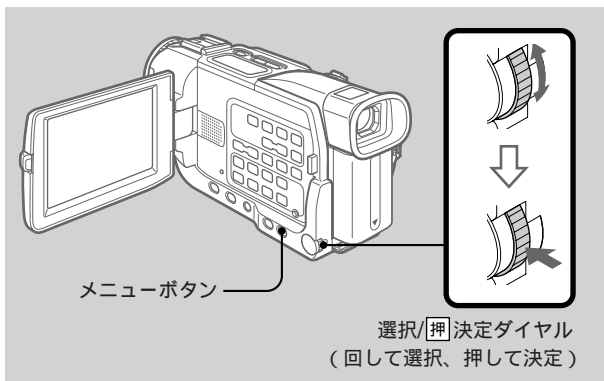
再生しているテープの画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることができます。

再生中は、ピクチャーエフェクトのうち、ネガアート、セピア、モノトーン、ソラリが使えます。

ご注意

- 外部入力している画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることはできません。
- ピクチャーエフェクトを加えた画像を本機で録画することはできません。
  本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

ピクチャーエフェクトを加えた画像は
i DV入力/出力端子からは出力されません。

電源スイッチを「切（充電）」にするか、再生を停止すると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

❶ ［再生中］または［再生一時停止中］に
メニューでMの項目の「ピクチャーエフェクト」を選ぶ。（90ページ）

❷ **選択/押決定ダイヤルを回して、希望のピクチャーエフェクトを選ぶ。**
各ピクチャーエフェクトについて詳しくは35ページをご覧ください。

ピクチャーエフェクトを解除する

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選ぶ。

画像にデジタルエフェクトを加えて見る

再生しているテープの画像にデジタルエフェクトを加えて見ることができます。

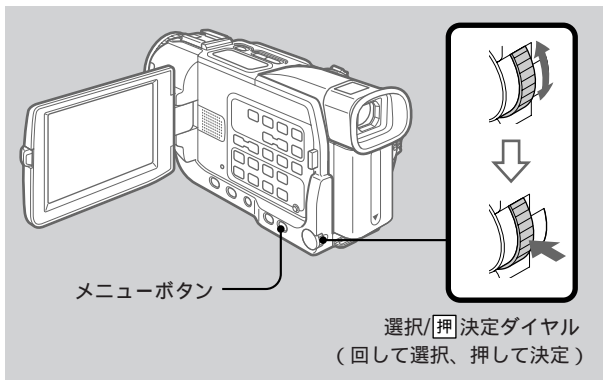
再生中は、デジタルエフェクトのうち、スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイルが使えます。

ご注意

- 外部入力している画像にデジタルエフェクトを加えて見ることはできません。
- デジタルエフェクトを加えた画像を本機で録画することはできません。
  本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

デジタルエフェクトを加えた画像は

- i DV入力/出力端子からは出力されません。
- 再生ズームはできません。

電源スイッチを「切（充電）」にするか、再生を停止するとデジタルエフェクトは自動的に解除されます。

❶ ［再生中］に

メニューで M の項目の「デジタルエフェクト」を選ぶ。（90ページ）

❷ **選択/押決定ダイヤルを回して、希望のデジタルエフェクトモードを選び、押して決定する。**

スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

❸ **選択/押決定ダイヤルを回して、効果を調節する。**

各デジタルエフェクトについて詳しくは36ページをご覧ください。

デジタルエフェクトを解除する

メニューの「デジタルエフェクト」で「切」を選ぶ。

撮影した画像を拡大する – テープ再生ズーム

本機で再生中の動画や静止画を拡大できます。拡大した画像は他のテープへダビングしたり“ メモリースティック ”に記録できます。（109、112ページ）

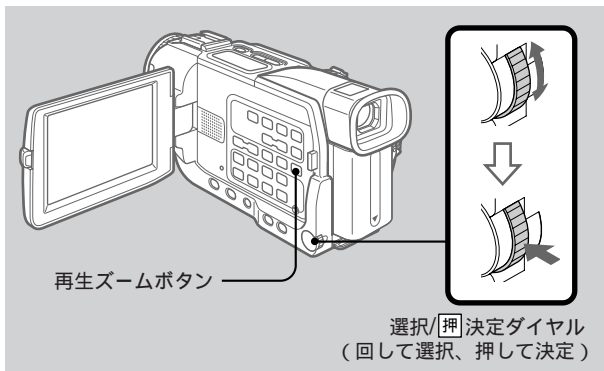
本機では“ メモリースティック ”に記録された静止画も拡大できます。（132ページ）

ご注意

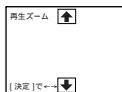
外部入力している画像に再生ズームを加えて見ることはできません。

再生ズーム中に以下の操作をすると再生ズームは自動的に解除されます。

– 電源スイッチを「切（充電）」にする。
– 再生を停止する。
– メニューボタンを押す。

再生ズームを加えた画像は
i DV入力/出力端子から出力されません。

❶ ［再生中］または［再生一時停止中］に
再生ズームボタンを押す。

画像の中心部が拡大され、画像を移動させる方向の
↑↓← → が表示される。

❷ **選択/押 決定ダイヤルを回して、画像を上下に動かし、押して決定する。**

↑：画像が下に移動する

↓：画像が上に移動する

❸ **選択/押 決定ダイヤルを回して、画像を左右に動かし、押して決定する。**

→：画像が左に移動する（ダイヤルを上へ回す）

←：画像が右に移動する（ダイヤルを下へ回す）

再生ズームを解除する

もう1度再生ズームボタンを押す。

見たい場面にすばやく戻す – ゼロセットメモリー

テープカウンター値が「0:00:00」の地点まで巻き戻しや早送りをして、自動的に停止するようにできます。
リモコンも使います。

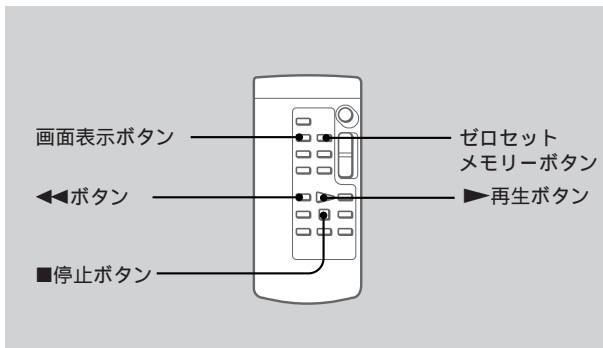
再生中に、後からもう一度見たいと思う場面があったとき

ご注意

- 巻き戻す前にゼロセットメモリーボタンをもう1度押すと、ゼロセットメモリーが解除されます。
- タイムコードとテープカウンターに多少誤差が出ることがあります。

テープの途中に無記録部分があると
ゼロセットメモリー機能が正しく働かない場合があります。

撮影スタンバイ中にも操作できます
ある部分だけ撮り直したいときに、撮り直したい部分の終了点でゼロセットメモリーボタンを押しておきます。撮り直したい部分の開始点まで巻戻して撮影を始めると終了点でテープが停止し、再び撮影スタンバイになります。

❶ ［再生中］に
画面表示ボタンを押す。

❷ **後から見たい場面でゼロセットメモリーボタンを押す。**
テープカウンター値が「0:00:00」になる。
ゼロセットメモリー表示が点滅する。

❸ **再生し終わったら■停止ボタンを押す。**

❹ **◀◀巻戻しボタンを押す。**
テープカウンター値が「0:00:00」の付近で自動的に停止する。テープカウンターがタイムコード表示に戻り、ゼロセットメモリー表示が消える。

❺ **►再生ボタンを押す。**
再生が始まる。

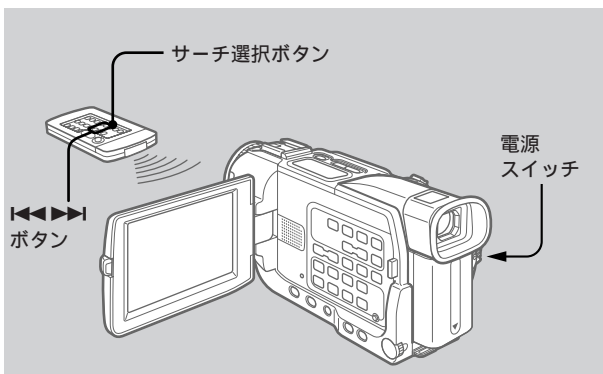
タイトル場面を頭出しする – タイトルサーチ

カセットメモリー付きカセットを使えば、タイトルを入れた場面を探せます。
リモコンも使います。

タイトルを入れた場面を探したいとき

カセットメモリーの付いていないカセットでは
タイトルを入れたり、タイトル場面を頭出ししたりできません。

テープの途中に無記録部分があると
タイトルサーチが正しく働かないことがあります。

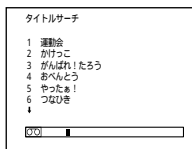
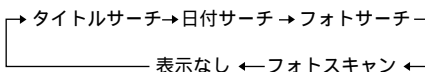
タイトルを入れるには
74ページをご覧ください。

メニューの「Cメモリーサーチ」を「入」にしてください。
（お買い上げ時は「入」に設定されています。）

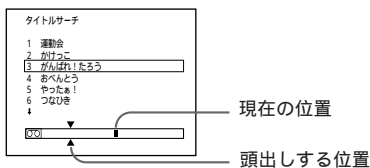
❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「タイトルサーチ」を選ぶ。

タイトルサーチ画面が出る。

次の順で変わります。

→ タイトルサーチ → 日付サーチ → フォトサーチ → フォトスキャン → 表示なし →（タイトルサーチへ戻る）

❹ リモコンの⏮または⏭ボタンを押して、頭出ししたいタイトルを選ぶ。

選んだタイトルの場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

撮影日で頭出しする – 日付サーチ

撮影した日付の変わり目を頭出しできます。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。リモコンも使います。

撮影日の変わり目を確認したり、撮影日ごとに編集するとき

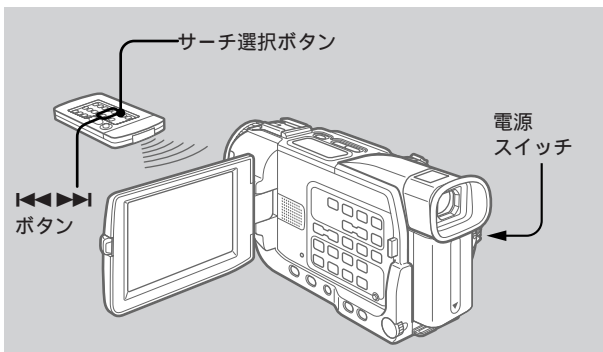
■カセットメモリーを使った日付サーチ ➡ 画面で撮影日を選んで頭出し

■カセットメモリーを使わない日付サーチ ➡ 撮影した日付の変わり目を頭出し

ご注意

日付の変更点の間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく検出されない場合があります。

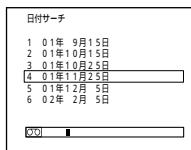
テープの途中に無記録部分があると
日付サーチが正しく働かないことがあります。

1つのカセットのカセットメモリーに入る日付データは
6つまでです。日付データが7つ以上あるときは、「カセットメモリーを使わずに頭出しする」（54ページ）の手順で検索してください。

カセットメモリーを使って頭出しする

- カセットメモリー付きカセットでのみできます。
- メニューの「Cメモリーサーチ」を「入」にしてください。（お買い上げ時は「入」に設定されています。）

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「日付サーチ」を選ぶ。

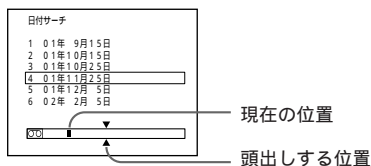
日付サーチ画面が出る。

次の順で変わります。

→タイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ─
└─ 表示なし←フォトスキャン←┘

使いこなす—再生—

次のページへつづく

❸ リモコンの|◀◀または▶▶|ボタンを押して、頭出ししたい日付を選ぶ。

選んだ日付の場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

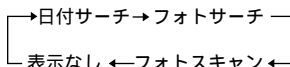
カセットメモリーを使わずに頭出しする

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ メニューで CM の項目の「Cメモリーサーチ」を「切」にする。（93ページ）

❸ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「日付サーチ」を選ぶ。

次の順で変わります。

→日付サーチ→フォトサーチ
表示なし←フォトスキャン←

❹ リモコンの|◀◀または▶▶|ボタンを押す。

日付をさかのぼるときは、|◀◀ボタンを、日付を進めるときは、▶▶|ボタンを押す。日付の変わり目で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（|◀◀）または後ろ（▶▶|）の場面が頭出しされる。

サーチを止める

■停止ボタンを押す。

見たい静止画を探す – フォトサーチ/フォトスキャン

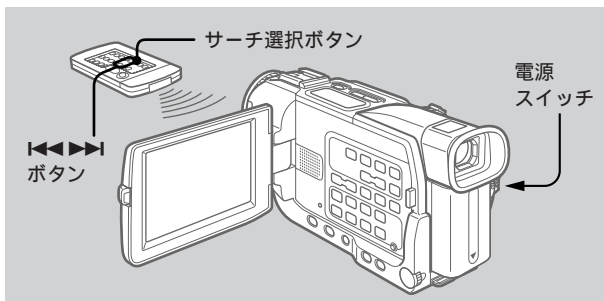
「テープフォト撮影」でテープに撮影した静止画を頭出しできます（フォトサーチ）。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。
また、カセットメモリーとは関係なく静止画を次々に探し、自動的に5秒ずつ再生することもできます（フォトスキャン）。リモコンも使います。

静止画の場面を確認したり、静止画をまとめて編集するとき

■カセットメモリーを使ったフォトサーチ ➡ 画面で静止画の撮影日時を選んで頭出し

■カセットメモリーを使わないフォトサーチ ➡ 撮影日時とは関係なく静止画を探して頭出し

テープの途中に無記録部分があると
フォトサーチ/フォトスキャンが正しく働かないことがあります。

1つのカセットのカセットメモリーに入るフォトデータは
12枚までです。13枚以上ある場合は、フォトスキャンで検索してください。

カセットメモリーを使って静止画を探す
ーフォトサーチ

- カセットメモリー付きカセットでのみできます。
- メニューの「Cメモリーサーチ」を「入」にしてください。（お買い上げ時は「入」に設定されています。）

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

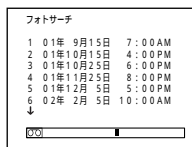
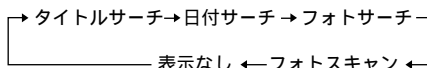
❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトサーチ」を選ぶ。

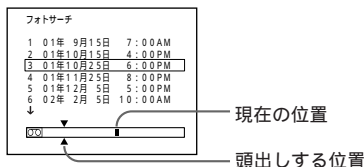
フォトサーチ画面が出る。

次の順で変わります

→タイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→表示なし→（タイトルサーチへ戻る）

使いこなすー再生ー

次のページへつづく

❸ リモコンの⏮または⏭ボタンを押して、頭出ししたい静止画の撮影日時を選ぶ。

選んだ撮影日時の静止画が出る。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

カセットメモリーを使わずに静止画を探す −フォトサーチ

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ メニューで[CM]の項目の「Cメモリーサーチ」を「切」にする。（93ページ）

❸ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトサーチ」を選ぶ。

次の順で変わります。

→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→表示なし→（日付サーチに戻る）

❹ リモコンの⏮または⏭ボタンを押す。

静止画の場面で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（⏮）または後ろ（⏭）の場面が頭出しされる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

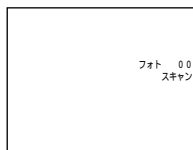
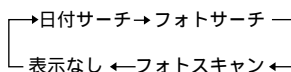
静止画を次々に出して探す－フォトスキャン

❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ **リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトスキャン」を選ぶ。**

フォトスキャン画面が出る。

次の順で変わります。

→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→表示なし→（日付サーチに戻る）

❸ **リモコンの⏮または⏭ボタンを押す。**

静止画が順に5秒ずつ表示される。

フォトスキャンを止める

■ 停止ボタンを押す。

他のビデオへダビングする

AV接続ケーブルでつなぐ

本機を再生機として使い、接続したビデオで録画・編集できます。

相手側のビデオは以下のどの方式のビデオでも使えます。
8,Hi8,VHS,VHSC,SVHS,SVHSC,β,EDBeta,MiniDV,DV,8

録画側ビデオの音声入力がひとつ(モノラル)の場合
AV接続ケーブル（付属）の黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと
録画画像がより鮮明になります。ビデオにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで本機のS1映像端子とビデオのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

- メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）
- 画面表示ボタン、リモコンのデータコードボタン、サーチ選択ボタンを押して画面表示を消してください。

❶ カセットを準備する。

本機　：撮影ずみのカセットを入れる。
録画機：録画用カセットを入れる。

❷ 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にする。
詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

❸ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❹ 本機で再生する。

❺ 録画機で録画をはじめる。

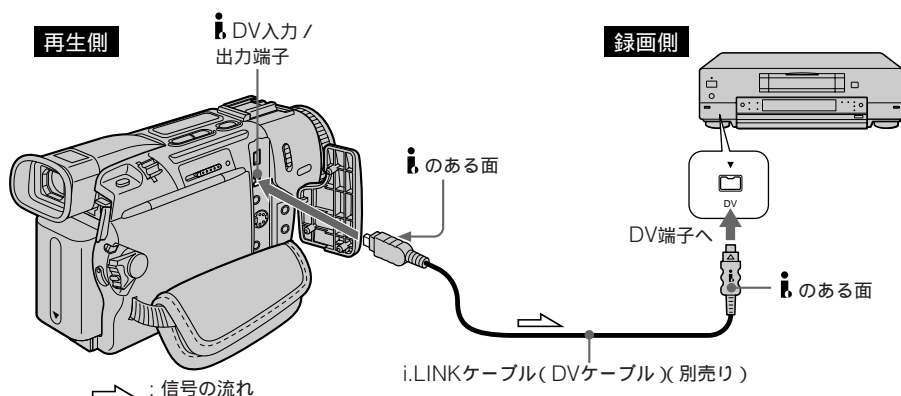
詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら

録画機で録画を停止し、本機で再生を停止する。

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（DVケーブル）（別売り）でつなぎダビング編集ができます。デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

タイトル、画面表示、カセットメモリーの内容、“ メモリースティック ”のインデックス画面の文字はダビングできません。

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できるのは1台だけです
i.LINKについて詳しくは、156ページをご覧ください。

デジタルダビング編集中は以下の操作はできません。
ーデジタルエフェクト
ー再生ズーム
ーピクチャーエフェクト

再生一時停止にしている画像は
DV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。
また、他機で再生したとき画像がぶれることがあります。

❶ カセットを準備する。

本機　：撮影ずみのカセットを入れる。
録画機：録画用カセットを入れる。

❷ 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「DV入力」にする。詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

❸ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❹ 本機で再生する。

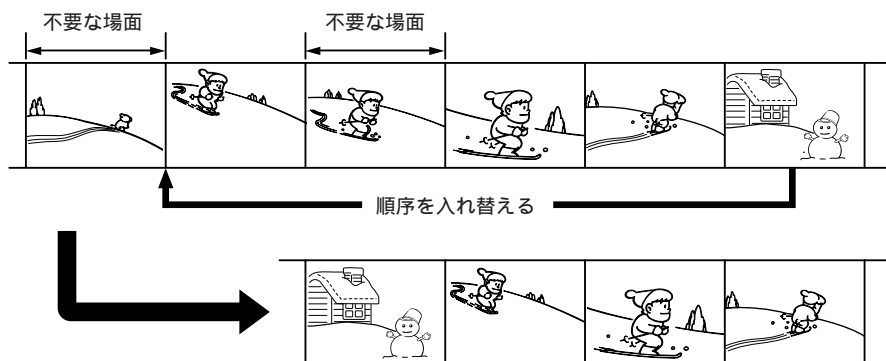
❺ 録画機で録画をはじめる。

ダビングが終わったら

録画機で録画を停止し、本機で再生を停止する。

必要な場面を選びダビングする
– デジタルプログラムエディット

録画済みのテープから必要な場面（プログラム）を選び、お好みの順番でつなぎ合わせ、録画機を操作せずに別のテープに簡単にダビングできます。

場面はフレーム単位で選べます。
最大20プログラムまで設定できます。

ご注意

- タイトル、画面表示、カセットメモリーの内容はダビングできません。
- i.LINKケーブル（DVケーブル）で接続したとき、録画機の機種により正しく操作できない場合があります。本機の「コントロール選択」を「リモコン」に設定してください。
- デジタルプログラムエディットの操作信号は、LANC ◐ 端子では送信できません。

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐと
デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

デジタルプログラムエディットには、次の準備が必要です

準備1： 録画機をつなぐ。（60ページ）
準備2： 録画機を操作するための設定をする。（61、64ページ）
準備3： 録画機のタイミングを補正する。（65ページ）
上記の準備を1度行った録画機を使用する場合は準備2、3は不要です。

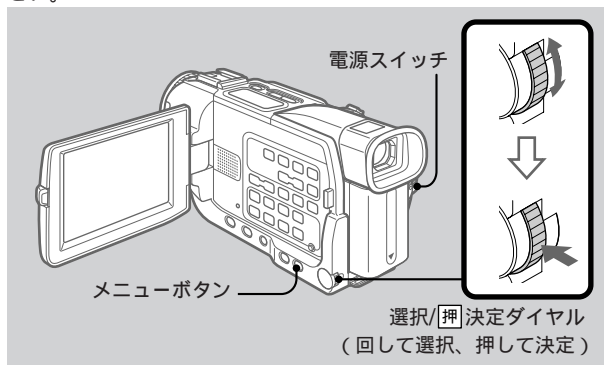
操作は以下の順で行います

操作1： プログラムを作る。（67ページ）
操作2： デジタルプログラムエディットを実行する（ダビングする）。（70ページ）

準備1 録画機をつなぐ

AV接続ケーブル、i.LINKケーブル（DVケーブル）どちらでも接続できます。AV接続ケーブルの場合は58ページ、i.LINKケーブル（DVケーブル）の場合は59ページの図のように接続します。

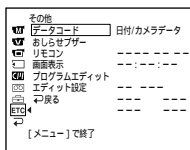
準備2 録画機を操作するための設定をする
ー AV接続ケーブルでつなぐ

AV接続ケーブルで接続したときは、本機の赤外線発光部から録画機のリモコン受光部に録画機を操作するための信号を送ります。
正しく信号を送るために、以下の設定（❶～❹）を行ってください。

❶ リモコンコードを設定する。

1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 録画機の電源を入れ、入力切換を選ぶ。
録画機がビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

3 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

4 選択/押 決定ダイヤルを回して、ETC を選び、押して決定する。

5 選択/押 決定ダイヤルを回して、「エディット設定」を選び、押して決定する。

編集する

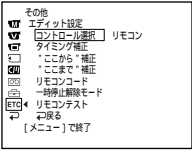
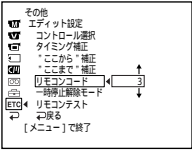
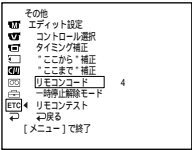
次のページへつづく

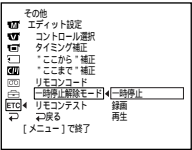
リモコンコードについて
本機には、下記のリモコンコードが記憶されています。お使いの機器のリモコンコードを設定してください。お買い上げ時、本機は「3」に設定されています。

メーカー	リモコンコード
ソニー	1、2、3、4、5、6
アイワ	47、54、55、57、60、64
キヤノン	97
コルディナ	34
富士通	34
フナイ	61、80
ゴールドスター	47
日立	43、47、75
ビクター	12、13、14、21
マルマン	26
三菱	22、27、28、29
ＮＥＣ	35、65、66、67
オリオン	69、72
松下	16、18、19、78、79、96
フィリップス	83
パイオニア	31
三洋	36、38、46
シャープ	88、89、90、98
東芝	39、40、68
ユピテル	47

リモコンコードが対応していない機種は、デジタルプログラムエディットはできません。

6 選択/押決定ダイヤルを回して、「コントロール選択」を選び、押して決定する。

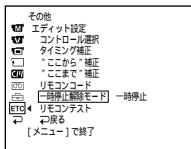
7 選択/押決定ダイヤルを回して、「リモコン」を選び、押して決定する。

8 選択/押決定ダイヤルを回して、「リモコンコード」を選び、押して決定する。

9 選択/押決定ダイヤルを回して、録画機のリモコンコード（番号）を選び、押して決定する。
「リモコンコードについて」を参照する。

❷ 録画機の録画一時停止解除モードを設定する

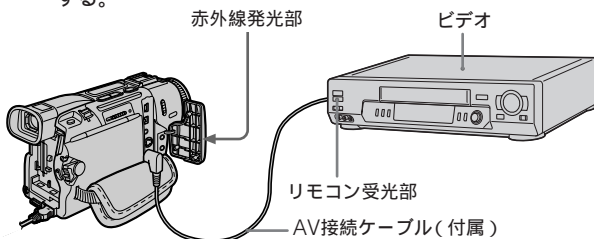
1 選択/押決定ダイヤルを回して、「一時停止解除モード」選び、押して決定する。

録画一時停止解除モードについて

お使いの録画機で録画一時停止を解除し、録画を始めるときに押すボタンを下記よりお選びください。（ボタンの種類は録画機により異なります。）

それぞれのボタンに合った録画一時停止解除モードを設定してください。

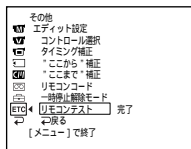
録画機のボタン	録画一時停止解除モード
■■（一時停止）	「一時停止」
●（録画）	「録画」
►（再生）	「再生」

2 選択/押決定ダイヤルを回して、録画機の録画一時停止解除モードを選び、押して決定する。

❸ 本機の赤外線発光部と録画機のリモコン受光部を向かい合わせる。

機器の距離は約30cm離し、間に障害物等がない状態にする。

❹ 録画機が正しく動作するか確認する。

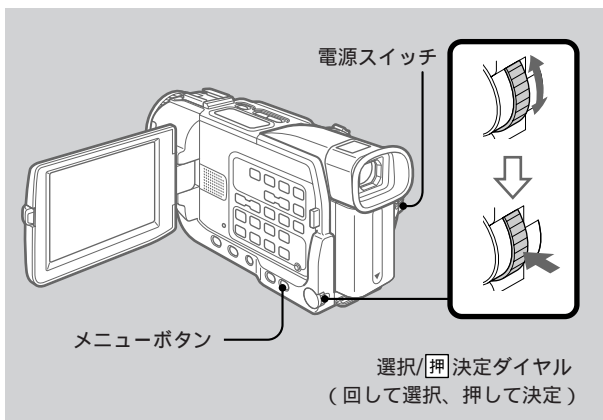
1 録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。

2 選択/押決定ダイヤルを回して、「リモコンテスト」を選び、押して決定する。

3 選択/押決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。
録画機が録画を開始すれば、正しく設定されている。
終了すると本機の表示は「完了」に変わる。

録画機が正しく動作しないときは

- 「リモコンコードについて」のコードをご覧の上、「リモコンコード」または「録画一時停止解除モード」を設定し直す。
- 本機と録画機を約30cmまで離す。
- 録画機の取扱説明書をご確認ください。

準備2 録画機を操作するための設定をする ーi.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

i.LINKケーブル（DVケーブル）で接続したときはこの設定を行います。

1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 録画機の電源を入れ、入力切換を「DV入力」にする。

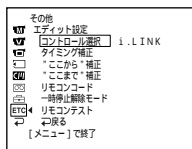
録画機がデジタルビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

3 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

4 選択/押決定ダイヤルを回して、ETC を選び、押して決定する。

❺ 選択/[押]決定ダイヤルを回して、「エディット設定」を選び、押して決定する。

❻ 選択/[押]決定ダイヤルを回して、「コントロール選択」を選び、押して決定する。

❼ 選択/[押]決定ダイヤルを回して、「i.LINK」を選び、押して決定する。

ご注意

- タイミング補正用の画像が約50秒間録画されます。
- テープの頭から記録すると、始めの部分が切れることがあります。10秒ほどテープを送ってから記録してください。

準備3 録画機のタイミングを補正する

筆記具をご用意ください。
本機の動作と録画機の動作のタイミングの誤差を補正します。
本機のテープを取り出しておいてください。

❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

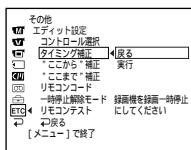
❷ 録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。

「コントロール選択」で「i.LINK」を選んだときは、録画一時停止にする必要はありません。

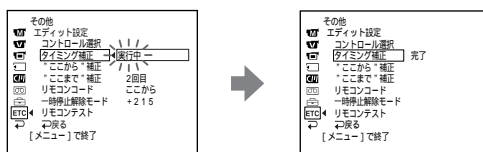
次のページへつづく

ご注意

i.LINKケーブル(DVケーブル)接続で録画機の操作がうまく行えないときは、接続はそのままで、操作を「リモコン」にしてください。映像/音声はデジタル信号で送られます。

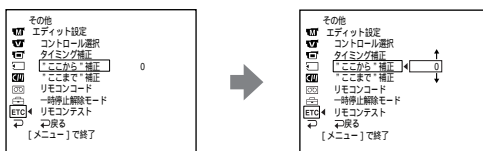
3 選択/押 決定ダイヤルを回して、「タイミング補正」を選び、押して決定する。

4 選択/押 決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

録画機にタイミング補正用のカウンターが5回分入った画像が録画される。

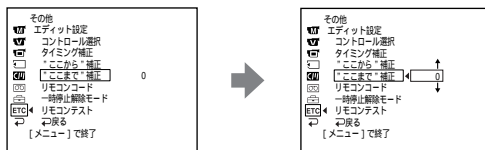
終了すると本機の表示は「実行中」の点滅から「完了」の点灯に変わる。

5 録画機のカセットを巻き戻し、スロー再生する。

5回分の「ここから」のカウンター数値と「ここまで」のカウンター数値が表示される。これらのカウンター数値の中から、各回ごとに「ここから」の最初に表示される数値と「ここまで」の最後に表示される数値をメモする。

6 「ここから」の5回分の数値と「ここまで」の5回分の数値それぞれの平均値を計算する。

7 選択/押 決定ダイヤルを回して、「"ここから"補正」を選び、押して決定する。

8 選択/押 決定ダイヤルを回して、「ここから」の平均値の数値を選び、押して決定する。

録画開始のタイミングが補正される。

9 **選択/[押]決定ダイヤルを回して、「”ここまで”補正」を選び、押して決定する。**

10 **選択/[押]決定ダイヤルを回して、「ここまで」の平均値の数値を選び、押して決定する。**

録画停止のタイミングが補正される。

11 **選択/[押]決定ダイヤルを回して、「↩戻る」を選び、押して決定する。**

ご注意

デジタルプログラムエディット操作中は録画することはできません。

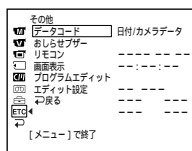
テープの無記録部分には
「ここから」「ここまで」の設定はできません。

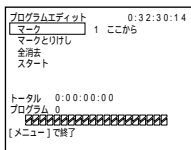
「ここから」と「ここまで」の間に無記録部分があると
タイムコードが正しく表示されません。

操作1 プログラムをつくる

1 **本機に再生するカセットを入れ、録画機に録画するカセットを入れる。**

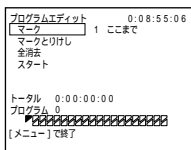
2 **メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

3 **選択/[押]決定ダイヤルを回して、[ETC]を選び、押して決定する。**

❹ 選択/押 決定ダイヤルを回して、「プログラムエディット」を選び、押して決定する。

プログラムエディット　0:32:30:14
マーク　1 ここから
マークとりけし
全消去
スタート
トータル　0:00:00:00
プログラム　0
[メニュー] で終了

❺ ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分の始めを探し、再生一時停止にする。

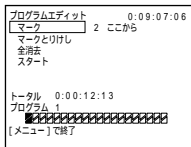
❻ 選択/押 決定ダイヤルを押す。

最初のプログラム「ここから」が設定され、最初のプログラムマークの上側が水色に変わる。

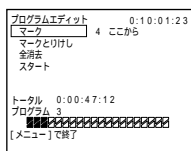
プログラムエディット　0:08:55:06
マーク　1 ここまで
マークとりけし
全消去
スタート
トータル　0:00:00:00
プログラム　0
[メニュー] で終了

❼ ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分の終わりを探し、再生一時停止にする。

❽ 選択/押 決定ダイヤルを押す。

最初のプログラム「ここまで」が設定され、最初のプログラムマークの下側が水色に変わる。

プログラムエディット　0:09:07:06
マーク　2 ここから
マークとりけし
全消去
スタート
トータル　0:00:12:13
プログラム　1
[メニュー] で終了

9 手順5〜8を繰り返し、プログラムを設定する。

プログラムが設定されると、プログラムマークが水色に変わる。

最大20プログラムまで設定できます。

一度設定したプログラムを消す

最後に設定したプログラムの「ここまで」、「ここから」の順で消去していきます。

1 選択/押 決定ダイヤルを回して、「マークとりけし」を選び、押して決定する。

2 選択/押 決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

最後に設定したプログラムマークが点滅し、設定が取り消されます。

消去を中止する

手順2で「戻る」を選ぶ。

プログラムの全消去

1 「プログラムエディット」を選択したのち、選択/押 決定ダイヤルを回して、「全消去」を選び、押して決定する。

2 選択/押 決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

設定したプログラムマークすべてが点滅し、設定が取り消されます。

編集する

次のページへつづく

全消去を中止する
手順2で「戻る」を選ぶ。

プログラムを中止する
メニューボタンを押す。
設定したプログラムはテープを取り出さないかぎり記憶されます。

操作2 デジタルプログラムエディットを実行する（ダビングする）

機器の接続と録画機が録画一時停止状態であることを確認する。（i.LINKケーブルでの接続のときは不要です。）
録画機がデジタルビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

1 「プログラムエディット」を選択し、選択/押 決定ダイヤルを回して、「スタート」を選び、押して決定する。

2 選択/押 決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

最初のプログラムの始まりをサーチし、ダビングを開始する。このとき、実行中のプログラムマークが点滅する。
本機には、サーチ中は「サーチ中」、録画中は「エディット中」が表示される。
ダビングの終了したプログラムはプログラムマークが水色に変わる。
ダビングが終わると本機も録画機も自動的に停止する。

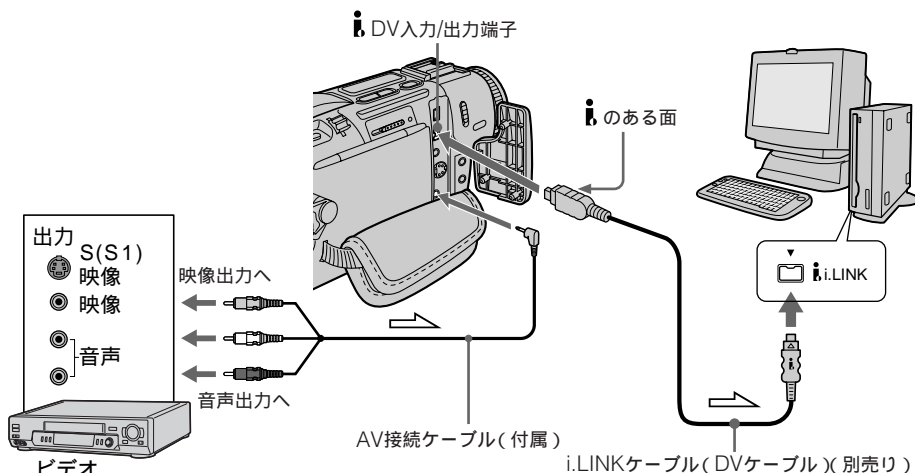
エディット中にダビングを中止する
ビデオ操作ボタンの■停止ボタンを押す。

デジタルプログラムエディットを終了する
ダビングが終了すると本機は停止し、画面は「プログラムエディット」の設定画面に戻る。
メニューボタンを押し、表示を消す。

以下の場合には、録画機で録画できません
- テープが終わりになっている。
- カセットが誤消去防止状態になっている。
- リモコンコードが合っていない。（「リモコン」に設定したとき）
- 録画一時停止解除モードがまちがっている。（「リモコン」に設定したとき）

以下の場合には、「実行できません」と表示され、ダビングできません
- プログラムが未設定
- i.LINKケーブル（DVケーブル）を接続していない。（「i.LINK」に設定したとき）
- 接続している録画機の電源が入っていない。（「i.LINK」に設定したとき）

アナログ機器とパソコンをつなげて使う
– デジタル変換機能

アナログビデオ機器に録画した映像音声を本機を通じて、i.LINK端子を持つパソコンに接続して取り込めます。

：信号の流れ

ご注意

- ビデオ信号の取り込みや送り出しができるソフトウェアがパソコン側にインストールされている必要があります。
- 本機に入力される映像信号の状態によっては、本機からのDV出力をパソコンに入力した場合、正しいアナログ映像を出力することができないことがあります。受信機によっては色消えやノイズがでることがあります。
- 著作権保護の為の信号（ID-2方式など）が記録されているソフトを再生して本機に入力し、本機から出力された信号を録画したり、パソコンで取り込むことはできません。

メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。
（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）

1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 メニューで VTR の項目の「A/V入力→DV出力」を「入」にする。（91ページ）

3 アナログビデオ機器で再生を始める。

4 パソコンで取り込みを始める。

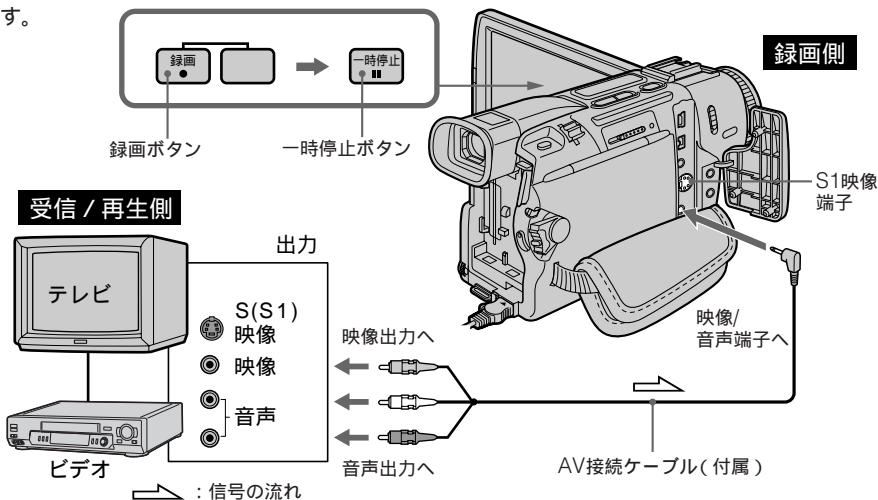
取り込む操作は、お使いになるパソコンのソフトウェアによって異なります。詳しくは、お使いになるソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

取り込みが終わったら

パソコンで取り込み動作を停止し、アナログビデオ機器で再生を停止する。

ビデオやテレビから録画する

AV接続ケーブルでつなぐ

本機を録画機として使い、再生側のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。

ビデオやテレビの音声出力端子がひとつ(モノラル)の場合
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声出力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと
録画画像がより鮮明になります。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで本機のS1映像端子とビデオ、またはテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。
（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）

❶ カセットを準備する。

本機　：録画用カセットを入れる。
再生機：ビデオから録画するときは、録画ずみのカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ 本機を録画一時停止にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐにⅡ一時停止ボタンを押す。

4 再生側のビデオを再生する。または、録画したいテレビ番組を受信する。

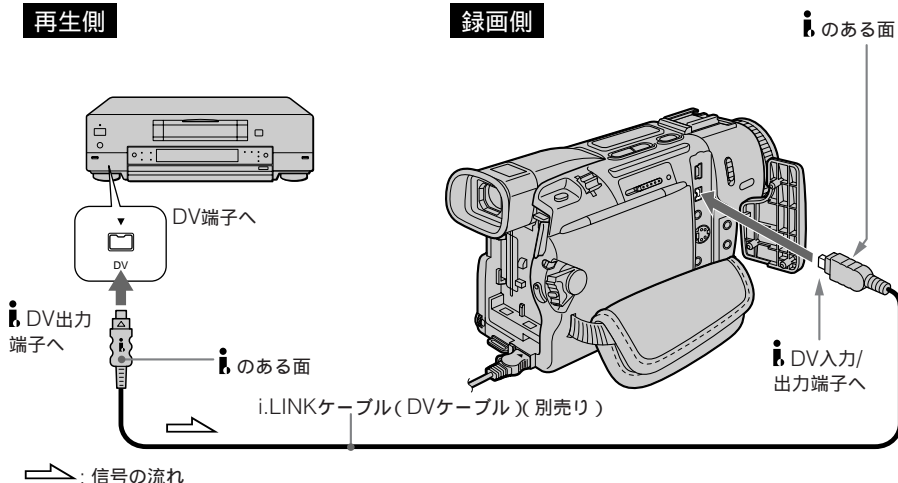
ビデオやテレビの画像が液晶画面またはファインダーに出る。

5 録画したい場面でII一時停止ボタンを押して録画を始める。

ダビングが終わったら

本機で録画を停止し、再生機で再生を停止する。

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（DVケーブル）（別売り）でつなぎ、本機で録画・編集ができます。デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できるのは1台だけです

デジタルダビング編集中は
モニター映像に色ムラが出ることがありますが、ダビングされた画像には影響ありません。

再生一時停止にしている画像は
DV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。
また、本機で再生したとき画像がぶれることがあります。

録画を始める前に
画面表示ボタンを押して画面表示を出してから、液晶画面やファインダーに「DV入力」の表示が出ることを確認してください。表示は両方の機器に出ることもあります。

メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。
（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）

❶ カセットを準備する。

本機：録画用カセットを入れる。

ビデオから録画するときは：再生側のビデオに録画ずみのカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ 本機を録画一時停止にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚一時停止ボタンを押す。

❹ 再生側のビデオを再生する。

DV機器の画像が液晶画面またはファインダーに出る。

❺ 録画したい場面で❚❚一時停止ボタンを押して録画を始める。

ダビングが終わったら

本機で録画を停止し、再生機で再生を停止する。

撮影したテープに新しく画像を挿入する

撮影、録画済みテープの指定した部分に、他のビデオからの映像・音声を挿入（インサート編集）できます。
リモコンも使います。

72ページまたは74ページの接続と準備をし、挿入したい部分の入ったテープを他機に入れておきます。

(a)
テープの走行方向
挿入したい部分

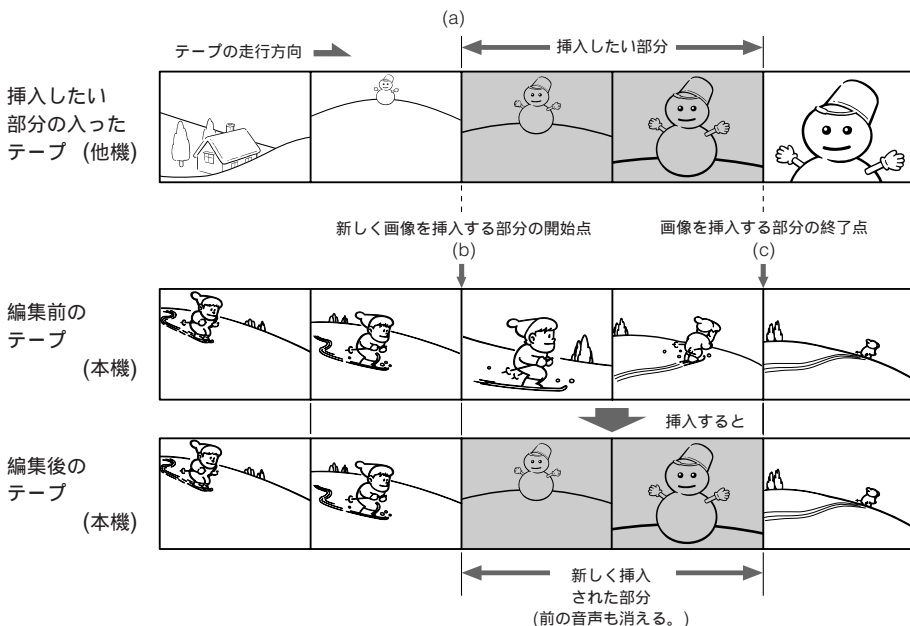
挿入したい部分の入ったテープ（他機）

新しく画像を挿入する部分の開始点
(b)
画像を挿入する部分の終了点
(c)

編集前のテープ（本機）

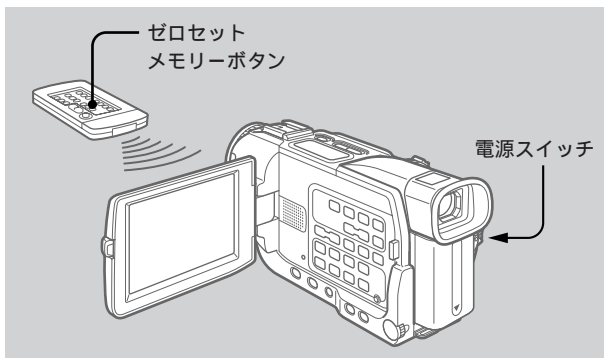
挿入すると

編集後のテープ（本機）

新しく挿入された部分
(前の音声も消える。)

ご注意

新しく挿入された部分の編集前の映像と音声は消えます。

他のビデオで録画したテープに挿入すると
画質や音質が劣化することがあります（本機以外のDCR-TRV17Kを含む）。本機で録画されたテープに挿入することをおすすめします。

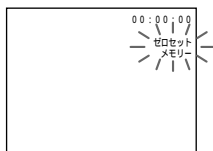
新しく挿入された部分を再生すると
終了点の画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。
LPモード時は、開始点と終了点の画像と音声が乱れることがあります。

❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

終了点を設定せずに録画するときは
手順3、4をとばします。
終了したいところで■停止ボタンを押します。

❷ **他機（再生側）で、挿入したい部分（a）の少し前で、再生一時停止状態にする。**

❸ **本機で、挿入部分の終了点（c）を探し、再生一時停止状態にする。**

❹ **リモコンのゼロセットメモリーボタンを押す。**

「ゼロセットメモリー」が点滅し、挿入部分の終了点が記憶され、テープカウンター値が「0:00:00」になる。

❺ **本機で、挿入部分の開始点（b）を探し、録画一時停止状態にする。**

●録画ボタンを2つ同時に押す。

❻ **他機（再生側）のII一時停止ボタンを先に押し、数秒後に本機のII一時停止ボタンを押す。**

本機の挿入部分に、新たにビデオ（再生側）の映像と音声が記録され始める。

テープカウンター値が「0:00:00」の付近で、本機は自動的に停止になり、ゼロセットメモリーが解除される。

終了点の位置を変える

手順5の後でリモコンのゼロセットメモリーボタンをもう1度押し、「ゼロセットメモリー」表示を消して、手順3からやり直す。

記録済みテープに音声を追加する – アフレコ

録画済みテープの指定した部分に音声を追加できます。撮影時の音声は消えません。

次のいずれかで、音声を録音してください。

ご注意

- 16BITモードで記録されたテープには、アフレコできません。（93ページ）
- LPモードで記録されたテープには、アフレコできません。（93ページ）
- i.DV入力/出力端子からはアフレコできません。
- テープの無記録部分にはアフレコできません。

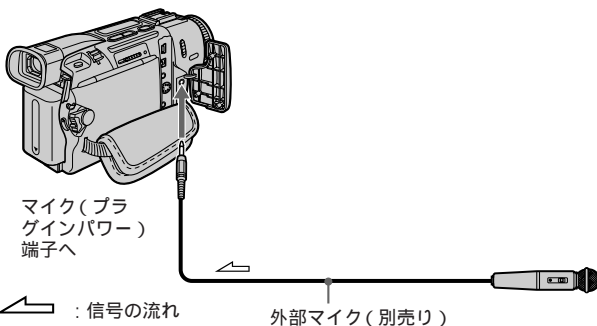
すべての接続をすると
追加する音声は、以下の順番で優先されて録音されます。

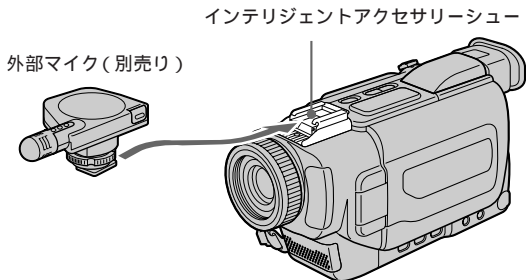
- マイク（プラグインパワー）端子
- インテリジェントアクセサリーシュー
- 映像/音声端子
- 内蔵マイク

i.LINKケーブル（DVケーブル）が接続されていると
アフレコできません。

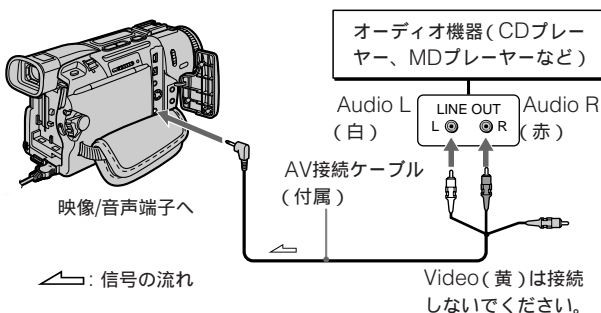
本機で録画されたテープに
アフレコすることをおすすめします。
他のビデオ（本機以外のDCR-TRV17Kを含む）で録画したテープでアフレコすると音質が劣化することがあります。

誤消去防止状態のカセットでは
アフレコできません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

別売りの外部マイクをマイク端子につなぐ

AV接続ケーブルでテレビなどとつないで画像と音声を確認することができます。アフレコする音声はスピーカーから出力されません。テレビかヘッドホンで確認してください。

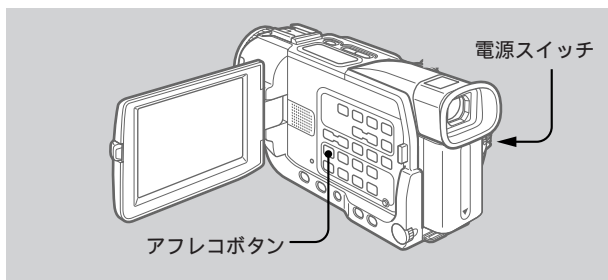
別売りの外部マイクをインテリジェントアクセサリーシューにつなぐ

ご注意

映像/音声端子または内蔵マイクでアフレコするときは、S1映像端子、映像/音声端子から映像は出力されません。画像は液晶画面またはファインダーで確認してください。アフレコする音声はヘッドホンで確認してください。

映像/音声端子にオーディオ機器などをつなぐ

内蔵マイクでアフレコする場合

接続は不要です。

アフレコする

上記のいずれかの接続をして、次の操作をします。

1 本機に録画済みカセットを入れる。

2 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

より正確にアフレコするには
再生中にアフレコを終了したいところで、あらかじめリモコンのゼロセットメモリーボタンを押しておきます。そのあと手順3からアフレコをはじめると、アフレコの終了点で自動的に録音が止まります。

❸ アフレコの開始点を決める。

►再生ボタンを押して再生し、アフレコを始めたいところで❚❚一時停止ボタンを押す。

❹ アフレコボタンを押す。

緑色の⊖❚❚マークが出る。

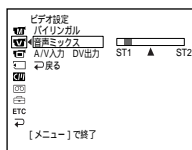
❺ ❚❚一時停止ボタンを押すと同時に、オーディオ機器またはマイクで追加する音声を出す。

画像を再生しながら、ステレオ2に追加する音声を記録する。

❻ アフレコを終了したいところで■停止ボタンを押す。

アフレコした音声を聞く

アフレコしたテープを再生する。

メニューの🅥の項目の音声ミックスで撮影時の音声（ステレオ1）とアフレコした音声（ステレオ2）の音のバランスを調整します。（91ページ）

お買い上げ時はステレオ1のみの音声が出るように設定されています。メニューでバランスを調整しても、電源をはずして5分たつとバランスはステレオ1のみの音が出る設定に戻ります。

タイトルを入れる

CM のみ カセットメモリー付きカセットを使うと、タイトルを入れられます（インデックスタイトラー機能）。再生すると、タイトルを入れた場面から約5秒間タイトルが出ます。
本機にあらかじめ登録してある8種類のタイトルと、自分で作ったオリジナルタイトル2種類（84ページ）の中から好みのものが選べます。また、タイトルの色やサイズ、表示位置も選べます。

誤消去防止状態のカセットでは
タイトルを入れられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

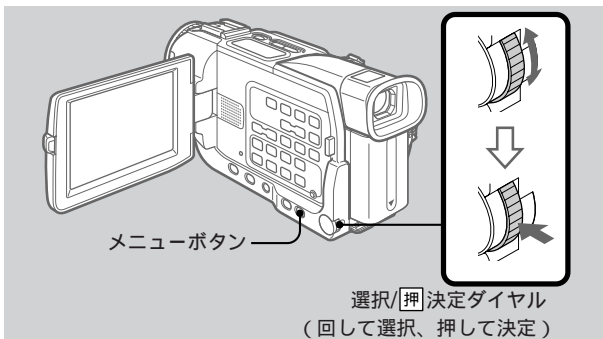
オリジナルタイトルを入れるときは
手順4で「🅃」を選びます。

テープの無記録部分には
タイトルを入れられません。

テープの途中に無記録部分があると
タイトルが正しく表示されないことがあります。

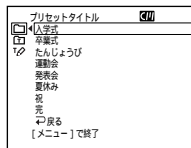
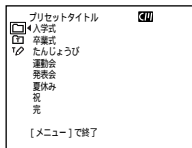
本機で入れたタイトルは
- インデックスタイトラー機能付きのMini DVビデオでのみ見られます。
- 他機で頭出ししたとき、インデックスデータとして誤検出されることがあります。

タイトルがたくさん打込まれている、または他のデータが記録されているテープには
メモリー不足でタイトルを入れられないことがあります。この場合は、不要なデータを消去してください。

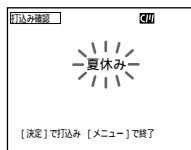
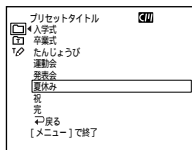
タイトルを出したくないとき
メニューで「タイトル表示」を「切」にします。（93ページ）

1 ［撮影スタンバイ中］、［撮影中］、［再生一時停止中］または［再生中］に
メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

2 **選択/押 決定ダイヤルを回して、CM を選び、押して決定する。**

3 **選択/押 決定ダイヤルを回して、「タイトル」を選び、押して決定する。**

4 **選択/押 決定ダイヤルを回して、🗀 を選び、押して決定する。**

5 **選択/押 決定ダイヤルを回して、入れたいタイトルを選び、押して決定する。**
タイトルが点滅する。

編集する

次のページへつづく

設定表示と表示順

- 「色設定」
  しろ←→きいろ←→むらさき←→あか←→みずいろ←→みどり←→あお
- 「サイズ設定」
  ちいさい←→おおきい
  12文字をこえるタイトルには「おおきい」サイズの設定はできません。
- 「位置設定」
  「ちいさい」サイズは9段階、「おおきい」サイズは8段階から選べます。

1つのカセットに記憶できるタイトルは

平均5文字で20タイトルです。ただし、カセットメモリーに日付データ/フォトデータ/カセットラベルデータが容量いっぱいに入っているときは、平均5文字で11タイトルです。１つのカセットのカセットメモリーに入る各データの容量は次の通りです。

- 日付データ　6つ
- フォトデータ　12枚
- カセットラベル1つ

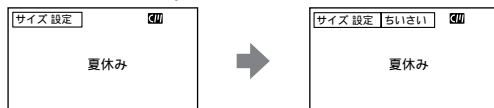
カセットメモリーの容量がいっぱいのときは

「カセットメモリーがいっぱいです」のお知らせメッセージが出ます。不要なタイトルを消してください。

❻ 色、サイズ、位置を選択する。

表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順6にすすむ。

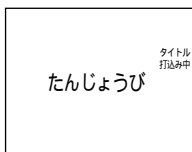
1 選択/押決定ダイヤルを回して、「色設定」または「サイズ設定」、「位置設定」を選び、押して決定する。

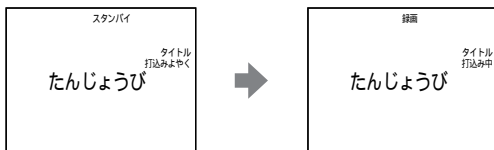
選べる項目が出る。

2 選択／押決定ダイヤルを回して、希望の項目を選び、押して決定する。

3 必要なだけ1、2を繰り返す。

❼ タイトルを確認し、選択/押決定ダイヤルを押す。

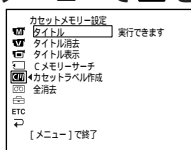
[再生中]、[再生一時停止中]、[撮影中] のとき

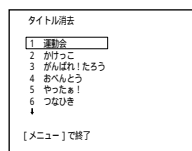
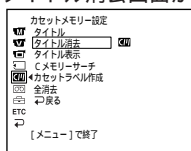
[打込み中] の表示が出る。約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

[撮影スタンバイ中] のとき

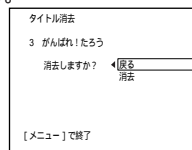
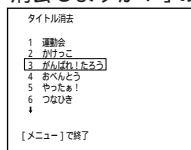
[打込みよやく] の表示が出る。スタート/ストップボタンを押して撮影を始めると同時に [打込み中] の表示になり、約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

タイトルを消す

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」にしてメニューボタンを押す。

メニュー画面が出る。

❷ メニューで を選び、押して決定する。

❸ 選択/押 決定ダイヤルを回して、「タイトル消去」を選び、押して決定する。

タイトル消去画面が出る。

❹ 選択/押 決定ダイヤルを回して、消したいタイトルを選び、押して決定する。

「消去しますか？」の表示が出る。

❺ 消去するタイトルを確認し、選択/押 決定ダイヤルを回して、「消去」を選び、押して決定する。

「消去」が「消去します」の表示にかわる。

❻ 選択/押 決定ダイヤルで「消去します」を選び、押して決定する。

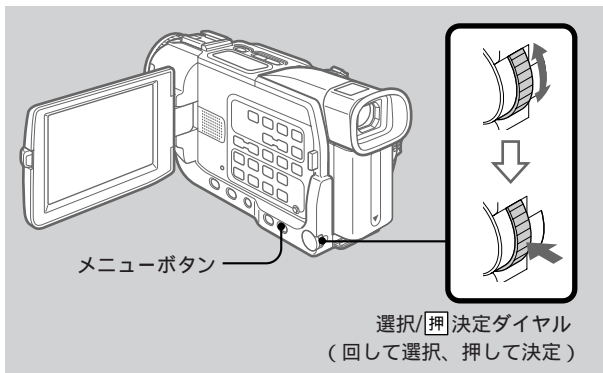
消去されると、「完了」と表示される。

タイトルの消去を中止する

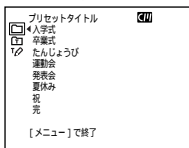
手順6で「戻る」を選ぶ。

オリジナルタイトルを作る

20文字以内のタイトルを自分で作って2種類までカセットメモリーに記憶できます。

撮影スタンバイ状態で、カセットを入れてタイトルを作成中に5分以上たつと自動的に電源が切れます
作成中のタイトルは残っています。一度電源スイッチを「切（充電）」にしてから、もう1度はじめからやり直してください。
5分以上かかりそうなときは「ビデオ」にしておくかカセットを取り出しておけば電源は切れません。

❶ ［撮影スタンバイ中］または［ビデオ］のとき
メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

❷ **選択/押決定ダイヤルを回して、CMを選び、押して決定する。**

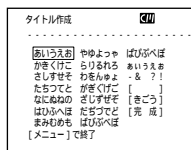
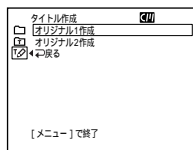
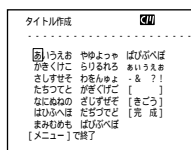
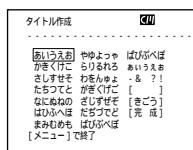
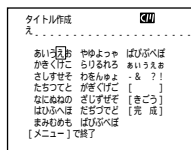
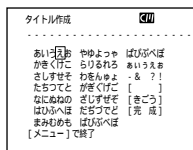
❸ **選択/押決定ダイヤルを回して、「タイトル」を選び、押して決定する。**

❹ **選択/押決定ダイヤルを回して、タイトル作成アイコンを選び、押して決定する。**

[きごう] を選ぶと
アルファベットや数字などが選べる画面が出ます。[かな] を選ぶと、元の画面に戻ります。

漢字変換機能はありません
[きごう] にある漢字以外をタイトルに使うことはできません。

文字を消すとき
[←] を選ぶと一番後ろの文字が消えます。

空白をいれたいときは
[ー＆　？！] の文字列の、空白部分を選んでください。

5 選択/押 決定ダイヤルを回して、「オリジナル1作成」または「オリジナル2作成」を選び、押して決定する。

6 選択/押 決定ダイヤルを回して、希望の文字列を選び、押して決定する。

7 選択/押 決定ダイヤルを回して、希望の文字を選び、押して決定する。

8 手順6、7を繰り返して希望のタイトルを作る。

9 選択/押 決定ダイヤルを回して、[完成] を選び、押して決定する。

タイトルが記憶される。

10 メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

作成したタイトルを変更する

手順5で、変更したいオリジナルタイトルを選び、選択/押決定ダイヤルを押す。[←] を選び、ダイヤルを押して文字を消し、文字を選び直す。

カセットに名前を付ける – カセットラベル

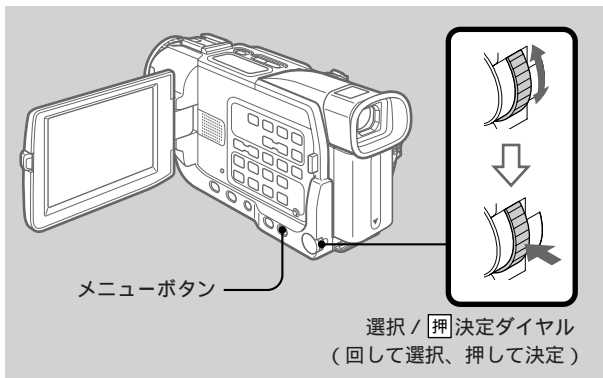
カセットメモリー付きカセットには、10文字までの名前を付けることができます。

名前を付けたカセットを入れ、電源スイッチを入れると、付けた名前が自動的に約5秒間表示されます。

誤消去防止状態のカセットでは
カセットに名前をつけられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

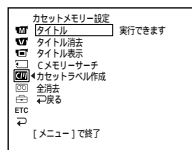
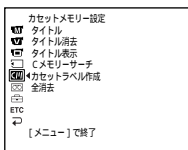
タイトルがたくさん打込まれている、または他のデータが記録されているテープには
メモリー不足でカセットになまえをつけられないことがあります。この場合は、不要なデータを消去してください。

タイトルが入れてあると
カセットの名前が表示されるときに、カセットに記憶されているタイトルが4つまで画面に出ます。

文字を入れるスペースが10文字分よりも少ないとき
カセットメモリー容量がいっぱいになっています。スペースが表示されている分だけ文字を入れることができます。

❶ 名前を付けたいカセットを入れる。

❷ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

❹ 選択/押決定ダイヤルを回して、CM を選び、押して決定する。

[きごう]を選ぶと
アルファベットと記号が選べます。[かな]を選ぶと、元の画面に戻ります。

漢字変換機能はありません
［きごう］にある漢字以外を使うことはできません。

文字を消すとき
[←] を選ぶと、一番後ろの文字が消えます。

空白をいれたいときは
［ー＆　？！］の文字列の、空白部分を選んでください。

❺ 選択/押 決定ダイヤルを回して、「カセットラベル作成」を選び、押して決定する。

カセットラベル作成画面が出る。

❻ 選択/押 決定ダイヤルを回して、希望の文字列を選び、押して決定する。

❼ 選択/押 決定ダイヤルを回して、希望の文字を選び、押して決定する。

❽ 手順6、7を繰り返して希望のカセットラベルを作る。

❾ 選択/押 決定ダイヤルを回して、[完成] を選び、押して決定する。

カセットラベルが記憶される。

作成したカセットラベルを消す

手順6で［←］を選んで消す。

作成したカセットラベルを変更する

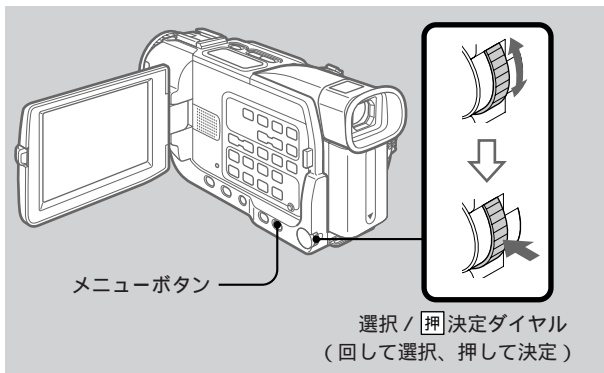
カセットラベルを変更したいカセットを入れ、カセットラベルを作るときと同じ手順で作り直す。

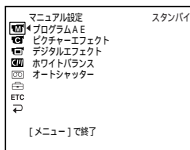
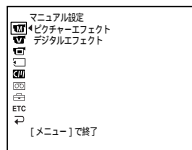
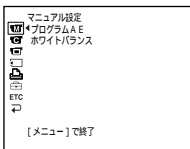
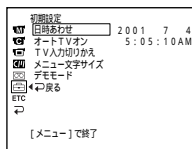
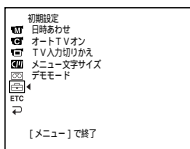
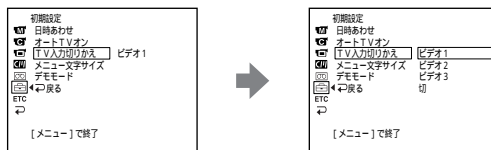
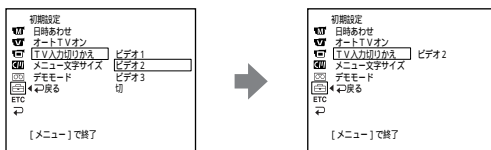
メニューで設定を変える

画面上のメニュー項目を、選択/押決定ダイヤルで選択し、本機のお買いあげ時の設定を一部変更することができます。

次の順で選択します。
メニュー画面→アイコン→項目→設定内容

メニュー項目は
以下のアイコン（絵文字）で区別されています。

- マニュアル設定
- カメラ設定
- ビデオ設定
- パネル/VF設定
- メモリー設定
- プリント設定
- カセットメモリー設定
- テープ設定
- 初期設定
- ETC その他

❶ 電源スイッチを［カメラ］、［ビデオ］または「メモリー」にしたときに
メニューボタンを押す。

「カメラ」のとき

「ビデオ」のとき

「メモリー」のとき

❷ 選択/押決定ダイヤルを回して、希望のアイコンを選び、押して決定する。

❸ **選択/押決定ダイヤルを回して、希望の項目を選び、押して決定する。**

❹ **選択/押決定ダイヤルを回して、設定を変更し、押して決定する。**

❺ **必要なだけ手順2〜4を繰り返す。**

手順2に戻るには、選択/押決定ダイヤルを回して「戻る」を選び、ダイヤルを押す。

詳しくは「各設定項目の説明」（90ページ）をご覧ください。

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

電源スイッチの位置によって、操作できる項目に違いがあります。本機の画面には、その時使える項目のみ表示されます。

アイコン/項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
M **プログラムAE**	—	被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行う。（38ページ）	「カメラ」「メモリー」
ピクチャーエフェクト	—	画像にテレビや映画のような特殊効果を加える。（35, 47ページ）	「ビデオ」「カメラ」
デジタルエフェクト	—	デジタル機能を使って、画像に演出を加える。（36, 48ページ）	「ビデオ」「カメラ」
ホワイトバランス	—	ホワイトバランスを調整する。（31ページ）	「カメラ」「メモリー」
オートシャッター	●入	明るいとき、自動的に電子シャッターが働く。	「カメラ」
	切	明るいときでも、自動的に電子シャッターが働かない。	
C **セルフタイマー**	●切	セルフタイマーを使わない。	「カメラ」
	入	セルフタイマーを使って撮影する。	「メモリー」
デジタルズーム	●切	デジタルズームが働かない。10倍までのズームが働く。	「カメラ」
	20×	ズームが10倍を超えると20倍までデジタルズームが働く。（18ページ）	
	120×	ズームが10倍を超えると120倍までデジタルズームが働く。（18ページ）	
ワイドTV	●切	ワイド録画モードにしない。	「カメラ」
	入	ワイド録画モードにする。（32ページ）	
手ぶれ補正	●入	手ぶれ補正が働く。	「カメラ」
	切	手ぶれ補正が働かない。三脚を使用するときに自然な画像になる。	
N.S.**ライト**	●入	NIGHTSHOTライトを使用する。（20ページ）	「カメラ」
	切	NIGHTSHOTライトを使用しない。	「メモリー」
コマ撮り	●切	コマ撮り機能を働かせない。	「カメラ」
	入	コマ撮り機能を働かせる。	
インターバル録画	入	インターバル録画機能を働かせる。（42ページ）	「カメラ」
	●切	インターバル録画機能を働かせない。	
	設定	インターバル録画機能の「ウェイトタイム」と「録画タイム」を設定する。（42ページ）	

手ぶれ補正は

- 手ぶれ補正が「入」になっていても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- コンバージョンレンズ（別売り）を取り付けると、手ぶれ補正が効きにくくなります。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
バイリンガル	●切	ステレオ音声または主＋副音声で再生する。（154ページ）	「ビデオ」
	メイン	左音声または主音声で再生する。	
	サブ	右音声または副音声で再生する。	
音声ミックス	ー	音声モードST1↔ST2間のバランスを調節する。（80ページ） ST1 ▲ ST2	「ビデオ」
A/V入力→DV出力	●切	本機を通してデジタルの画像音声をアナログ出力します。	「ビデオ」
	入	本機を通してアナログの画像音声をデジタル出力します。（71ページ）	
パネルの明るさ	ー	パネルの明るさを選択/押決定ダイヤルを回し、バーで調整する。 暗くなる ▲ 明るくなる	「ビデオ」 「カメラ」 「メモリー」
パネルバックライト	●明るさノーマル	液晶画面の明るさを標準にする。	「ビデオ」 「カメラ」 「メモリー」
	明るい	液晶画面を明るくする。	
パネル色のこさ	ー	液晶画面の色のこさを選択/押決定ダイヤルを回し、バーで調節する。 うすくなる ▲ こくなる	「ビデオ」 「カメラ」 「メモリー」
VFバックライト	●明るさノーマル	ファインダーの明るさを標準にする。	「ビデオ」 「カメラ」 「メモリー」
	明るい	ファインダーを明るくする。	
静止画設定			
連写	●切	連写しない。	「メモリー」
	マルチ画面連写	9枚の静止画を連写する。（106ページ）	
画質	●ファイン	高画質で静止画を記録する。（98ページ）	「ビデオ」 「メモリー」
	スタンダード	標準の画質で静止画を記録する。（98ページ）	
ムービー設定			
画像サイズ	●320×240	動画を320×240サイズで記録する。（100ページ）	「ビデオ」 「メモリー」
	160×112	動画を160×112サイズで記録する。（100ページ）	
メモリー残量表示	●オート	以下の時にメモリー残量を表示する。 ●電源スイッチを「メモリー」にしてから5秒間。 ●[メモリーモード中]または[ビデオモード中]に“メモリースティック”を入れてから5秒間。 ●[メモリーモード中]にメモリー残量が1分未満になったとき。 ●動画記録が終了してから5秒間。	「ビデオ」 「メモリー」
	入	メモリー残量を常に表示する。	

「パネルバックライト」の「明るい」を選ぶと
- 撮影時のバッテリー使用時間が約１割短くなります。
- バッテリー以外の電源で使うときは自動的に「明るい」になります。

「VFバックライト」の「明るい」を選ぶと
- 撮影時のバッテリー使用時間が約１割短くなります。
- バッテリー以外の電源で使うときは自動的にVFバックライトは明るいになります。

お買い上げ時の設定を変える

次のページへつづく

メニューで設定を変える（つづき）

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
プリントマーク	入	プリントしたい静止画にプリントマークをつける。(140ページ)	「ビデオ」
	●切	静止画のプリントマークを解除する。	「メモリー」
プロテクト	入	静止画を誤消去しないようにする。（135ページ）	「ビデオ」
	●切	静止画の誤消去防止指定を解除する。	「メモリー」
スライドショー	—	スライドショーをする。（133ページ）	「メモリー」
全消去	—	プロテクトのかかっていない全ての静止画を消去する。（138ページ）	「メモリー」
フォーマット	●戻る	フォーマットを中止する。	「メモリー」
	フォーマット	本機に入れた“ メモリースティック ”をフォーマット（初期化）する。1「フォーマット」の項目を選び、選択/押決定ダイヤルを押す。2 選択/押決定ダイヤルを回し、「フォーマット」を選び、選択/押決定ダイヤルを押す。3 画面に「フォーマットします」と表示されたら、選択/押決定ダイヤルを押す。「フォーマット中」の表示が点滅する。「完了」と表示されると終了。	
オートフォトコピー	—	テープの静止画を“ メモリースティック ”にコピーする。（117ページ）	「ビデオ」
9分割プリント	●戻る	分割プリントを中止する。	「メモリー」
	同画面	同画面分割プリントを実行する。（142ページ）	
	異画面	異画面分割プリントを実行する。（142ページ）	
	プリントマーク付き	プリントマークを付けた画像を記録順に並べてプリントする。	
日付/時刻	●切	日付/時刻を入れずにプリントする。	「メモリー」
	年月日	年月日を入れてプリントする。（142ページ）	
	日時分	日時分を入れてプリントする。（142ページ）	

フォーマットについて

- 付属または別売りの“ メモリースティック ”はお買い上げ時にフォーマット（初期化）済みです。あらためてフォーマット（初期化）する必要はありません。
- 「フォーマット中」と表示されている間は電源スイッチを切り換えたりボタン操作をしないでください。
- “ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると、フォーマット（初期化）できません。
- 「メモリースティックフォーマットエラー」と表示されたときは、フォーマット（初期化）してください。

フォーマット（初期化）すると“ メモリースティック ”の記録内容は消去されます

画像にプロテクトをかけていても消去されます。

プリント設定は

外部プリンタ（別売り）を取り付けたときのみ使えます。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
タイトル	—	タイトルを入れたり、オリジナルタイトルを作ることができる。（81、84ページ）	「ビデオ」「カメラ」
タイトル消去	—	タイトルを消去する。（83ページ）	「ビデオ」「カメラ」
タイトル表示	●入	タイトルを入れてあるところでタイトルを出す。	「ビデオ」
	切	タイトルを出さない。	
Cメモリーサーチ	●入	サーチ時にカセットメモリーを使用する。（51ページ）	「ビデオ」
	切	サーチ時にカセットメモリーを使用しない。	
カセットラベル作成	—	カセットに名前を付ける。（86ページ）	「ビデオ」「カメラ」
全消去	—	カセットメモリーのデータをすべて消去する。	「ビデオ」「カメラ」
録画モード	●SP	SP（標準）モードで録画する。	「ビデオ」「カメラ」
	LP	SPモードの1.5倍の録画時間で録画する。長時間録画できる。	
音声モード	●12BIT	12ビット（2つのステレオ音声）の記録ができる。	「ビデオ」「カメラ」
	16BIT	16ビット（高音質で1つのステレオ音声）の記録ができる。	
テープ残量表示	●オート	以下のときにテープ残量を表示する。• 電源/テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。• ►再生ボタンまたは画面表示ボタンを押してから8秒間。• 早送り、巻き戻し、ピクチャーサーチ中。	「ビデオ」「カメラ」
	入	テープ残量を常に表示する。	

LPモードについて
- LPモードでは本機で記録したテープを本機で再生することをおすすめします。他機で記録したテープを本機で再生すると、モザイク状のノイズが現れることがあります。
- LPモードで記録するときは、本機の性能を最大限に生かすためにソニー製のMaster（マスター）DVテープをおすすめします。
- アフレコしたいときはSPモードで録画してください。LPモードで録画したテープにはアフレコできません。
- テープの途中で、SP/LPモードを切り換えると、再生画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

音声モードを「16BIT」にすると
アフレコできません。

音声モードが16ビットで記録されたテープでは
音声ミックスのバランス調節をすることができません。

メニューで設定を変える（つづき）

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
日時あわせ	—	日付・時刻を合わせる。（12ページ）	「カメラ」「メモリー」
オートTVオン	●切	ー	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
	入	SUPER LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製テレビの電源を入れる。（27ページ）	
TV入力切りかえ	●ビデオ1 ビデオ2 ビデオ3	SUPER LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製テレビの入力を切り換える。（27ページ）	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
	切	ー	
メニュー文字サイズ	●ノーマル	通常の大きさでメニュー表示をする。	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
	2×	選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。	
デモモード	●入	本機の機能を一覧できる。	「カメラ」
	切	デモンストレーションを表示しない。	

デモモードについて

- カセットが入った状態では操作できません。
- お買い上げ時は「スタンバイ」という設定になっています。これは10分後にデモンストレーションが始まる設定です。
  カセットを入れるか、電源スイッチを「カメラ」以外にするか、メニューで「切」にすれば解除されます。再び「スタンバイ」にするにはメニューで「入」にしたまま電源スイッチをいったん「切（充電）」にし、「カメラ」に戻します。
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしていると、“ NIGHTSHOT ”が表示され、デモンストレーションは始まりません。また、メニューでも「デモモード」が選べません。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
ETC データコード	●日付/カメラデータ	データコードボタンを押したとき、日付・時刻またはカメラデータを表示する。（24、119ページ）	「ビデオ」「メモリー」
	日付データ	日付・時刻を表示する。（24、119、122ページ）	
時差補正	ー	時差の設定をする。選択/押決定ダイヤルを回して時差を設定すると、時刻も時差に合わせて変わる。時差を0に設定すると、補正前の時間に戻る。	「カメラ」「メモリー」
おしらせブザー	●メロディー	撮影スタート/ストップ時や、誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
	ノーマル	メロディーのかわりにブザーが鳴る。	
	切	メロディー、ブザー音が鳴らない。	
リモコン	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く。	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
	切	リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。	
画面表示	●パネル	タイムコードなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
	ビデオ出力/パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。	
録画ランプ	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。	「カメラ」「メモリー」
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。被写体に撮影していることを意識させずに撮影できる。	
プログラムエディット	—	プログラムの作成、実行をする。（67ページ）	「ビデオ」
エディット設定	—	デジタルプログラムエディットでダビングするときに、録画機を操作するための設定とタイミング補正をする。（61ページ）	「ビデオ」

ご注意

「画面表示」が「ビデオ出力/パネル」のとき画面表示ボタンを押すと、外部入力ができなくなります。

電源をはずして5分以上たつと
「音声ミックス」、「リモコン」、「バイリンガル」、「ホワイトバランス」はお買い上げ時の設定に戻ります。
その他のメニュー項目は電源をはずしても設定を保持します。

被写体に接近して撮るとき
「録画ランプ」が「入」になっていると録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。その場合は、「録画ランプ」を「切」にすることをおすすめします。

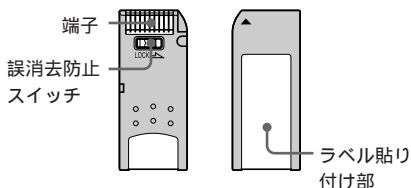
“ メモリースティック ”を使う – はじめに

付属の“ メモリースティック ”は、画像を記録し、見たい画像を簡単に再生するほか、以下のようなことができます。
– 画像をテープから“ メモリースティック ”、“ メモリースティック ”からテープへ取りこむ。
– 別売りのパソコン接続キット等を使用し、パソコンに画像データを取りこむ。
– 画像の消去、プロテクト、プリントマーク操作。

静止画の圧縮形式(JPEG)
本機は、撮影した静止画データをJPEG(Joint Photographic Experts Group)方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「. jpg」です。

動画の圧縮形式(MPEG)
本機は、撮影した動画データをMPEG(Moving Picture Experts Group)方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「. mpg」です。

画像のデータファイル名
静止画の場合
– 本機の画面表示:100-0001
– パソコンの画面表示:Dsc00001.jpg
動画の場合
– 本機の画面表示:MOV00001
– パソコンの画面表示:Mov00001.mpg

“ メモリースティック ”について

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録、消去ができなくなります。
  モデルによっては、スイッチの位置や形状が異なる場合があります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に“ メモリースティック ”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部に触れたり、金属を接触させないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、“ メモリースティック ”に付属の収納ケースに入れてください。

パソコンでフォーマット(初期化)した“ メモリースティック ”は

パソコン(Windows OS/Macintosh OS)でフォーマットした“ メモリースティック ”は、本機での動作を保証致しません。

画像の互換性について

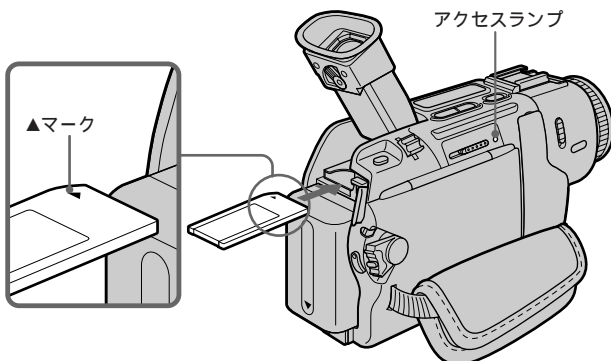
- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“ Design rules for Camera File systems ”に対応しています。
  統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900, DSC-D700/D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“ メモリースティック ”が本機で使えないときは、92ページの手順にしたがい本機でフォーマット(初期化)をしてください。
  フォーマットすると“ メモリースティック ”に記録してあるデータは全て消去されますので、ご注意ください。

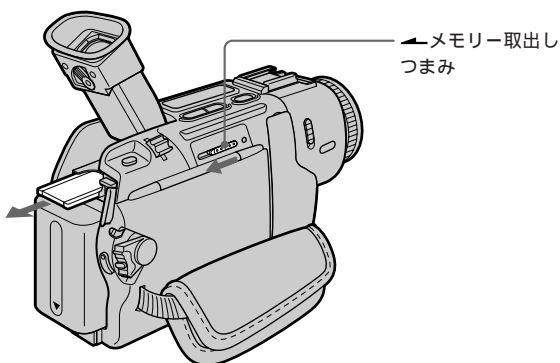
ファインダーを一番長く伸ばした状態では
“ メモリースティック ”は出し入れできません。

アクセスランプ点灯中および点滅中は
データの読み込み、または書き込みを行っています。
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

「メモリースティックエラー」と表示されたときは
“ メモリースティック ”が壊れている場合があります。“ メモリースティック ”を交換してください。

“ メモリースティック ”を入れる

ファインダーを上げ、“ メモリースティック ”の▲マークを下の図のようにして奥まで押しこむ。

“ メモリースティック ”を取り出す

ファインダーをあげ◢メモリー取出しつまみを矢印の方向にずらす。

ご注意

画像によっては、画質モードを変えても、画質に差がないことがあります。

画質モードの違いは

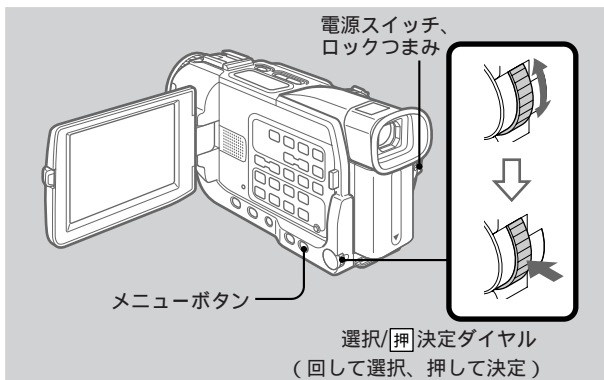
画像はJPEG方式で圧縮処理をしてから記録されます。記録されるときに割り当てられるメモリー容量は、画質により、次のようになります。

画質	メモリー容量
ファインモード	約100Kバイト
スタンダードモード	約60Kバイト

画質表示は

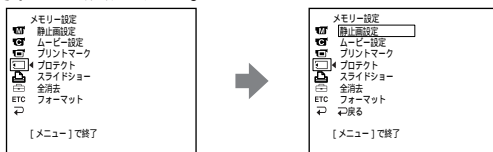
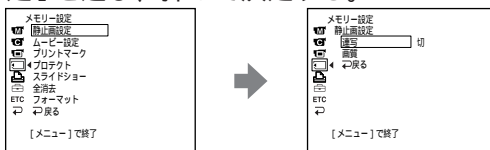
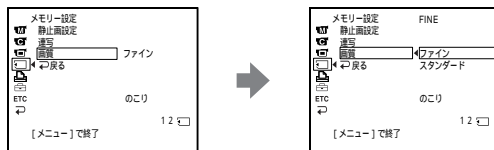
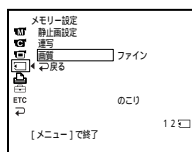
再生時は表示されません。

静止画の画質を選ぶ

あらかじめ静止画記録時の画質を選んで記録できます。お買い上げ時は「ファイン」に設定されています。

1 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

3 選択/押 決定ダイヤルを回して、 を選び、押して決定する。

4 選択/押 決定ダイヤルを回して、「静止画設定」を選び、押して決定する。

❺ 選択/[押]決定ダイヤルを回して、「画質」を選び、押して決定する。

❻ 選択/[押]決定ダイヤルを回して、希望の画質を選び、押して決定する。

画質について

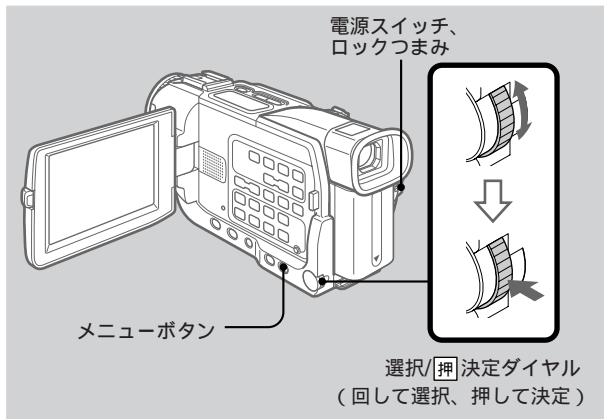
設定	意味
ファイン 表示：FINE	画質を優先するときに使います。約1/6に圧縮されます。
スタンダード 表示：STD	標準の画質です。約1/10に圧縮されます。

ご注意

静止画の画像サイズは「640×480」のみになります。

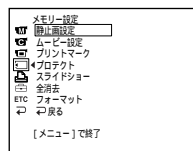
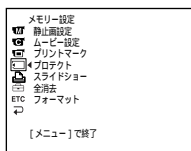
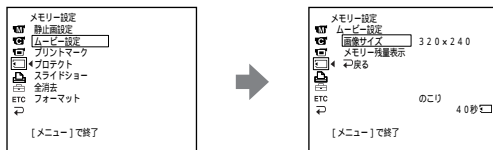
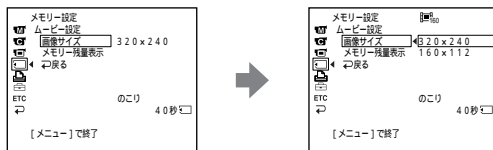
画像サイズを選ぶ

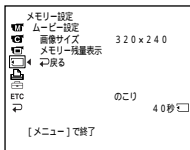
動画サイズは「320×240」または「160×112」の2種類あります。

お買い上げ時は「320×240」に設定されています。

1 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

3 選択/押決定ダイヤルを回して、 を選び、押して決定する。

❹ 選択/押 決定ダイヤルを回して「ムービー設定」を選び、押して決定する。

❺ 選択/押 決定ダイヤルを回して、「画像サイズ」を選び、押して決定する。

“メモリースティック”を使う

❻ 選択/押 決定ダイヤルを回して、希望の画像サイズを選び、押して決定する。

表示は次のように変わります。

動画の画像サイズについて

設定	意味	表示	
		記録時	再生時
320×240	動画を320×240サイズで記録する。	320	320
160×112	動画を160×112サイズで記録する。	160	160

動画の最大記録時間について

画像サイズ	最大記録時間
320×240	15秒
160×112	60秒

1枚の“ メモリースティック ”に記録できる静止画枚数の目安

画質モードと画像サイズの設定および被写体の状況で撮影枚数が異なります。下の表の数字は、本機でフォーマットした“ メモリースティック ”に記録できる枚数です。

4Mバイトタイプ（付属）

ファイン	約40枚
スタンダード	約60枚

8Mバイトタイプ（別売り）

ファイン	約81枚
スタンダード	約122枚

16Mバイトタイプ（別売り）

ファイン	約164枚
スタンダード	約246枚

32Mバイトタイプ（別売り）

ファイン	約329枚
スタンダード	約494枚

64Mバイトタイプ（別売り）

ファイン	約659枚
スタンダード	約988枚

128Mバイトタイプ（別売り）

ファイン	約1319枚
スタンダード	約1978枚

次のページへつづく

1枚の“ メモリースティック ”に記録できる動画の記録時間の目安

画像サイズの設定および被写体の状況で撮影時間が異なります。下の表の数字は、本機でフォーマットした“ メモリースティック ”に記録できる時間です。

4Mバイトタイプ（付属）

画像サイズ	160×112	320×240
記録時間	約2分40秒	約40秒

8Mバイトタイプ（別売り）

画像サイズ	160×112	320×240
記録時間	約5分20秒	約1分20秒

16Mバイトタイプ（別売り）

画像サイズ	160×112	320×240
記録時間	約10分40秒	約2分40秒

32Mバイトタイプ（別売り）

画像サイズ	160×112	320×240
記録時間	約21分20秒	約5分20秒

64Mバイトタイプ（別売り）

画像サイズ	160×112	320×240
記録時間	約42分40秒	約10分40秒

128Mバイトタイプ（別売り）

画像サイズ	160×112	320×240
記録時間	約85分20秒	約21分20秒

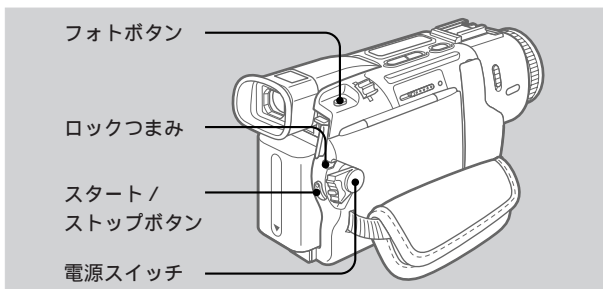
“ メモリースティック ”に静止画を撮る – メモリーフォト撮影

“ メモリースティック ”に静止画を記録できます。

電源スイッチを「メモリー」にすると
以下の機能が使えません。
- ワイドTV
- デジタルズーム
- 手ぶれ補正
- SUPER NIGHTSHOT
- フェーダー
- ピクチャーエフェクト
- デジタルエフェクト
- タイトル
- キャンドルモード（表示が点滅します）
- スポーツレッスンモード（表示が点滅します）

静止画を記録中は
電源を切ったりフォトボタンを押したりすることはできません。

リモコンのフォトボタンを押すと
押したときに映っている画像が記録されます。

手順2でフォトボタンを軽く押すと
画像が瞬間的にまたたきますが、異常ではありません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ フォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。

画像の明るさとフォーカスが固定され、撮影が可能になる。撮影するとき、明るさとフォーカスは画面の中央部分の被写体に合わせて調整されます。

記録可能な枚数

撮影済み枚数

緑の●が点滅から点灯に変わり、撮影可能となる。

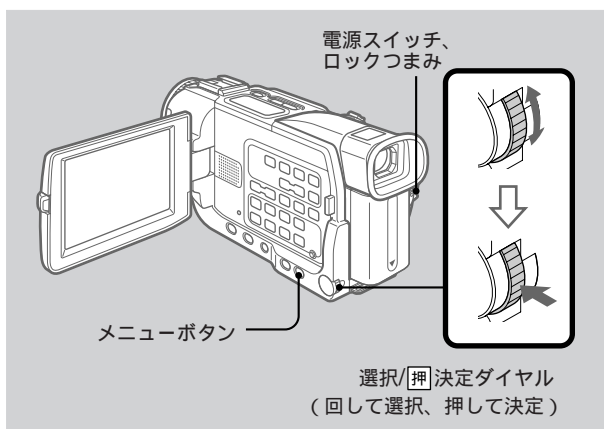
❸ フォトボタンを深く押す。

「カシャ」とシャッター音がして、画像が静止画になる。
バーのスクロール表示が終わると、記録が完了する。

ボタンを深く押したときの画像が“ メモリースティック ”に記録される。

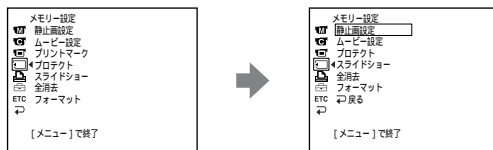
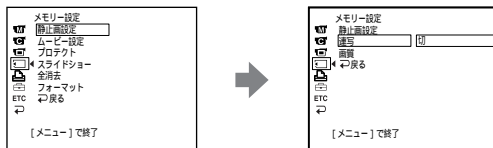
連続して撮る（連写）

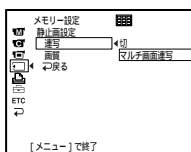
あらかじめ下記の設定をしてメモリーフォト撮影をすると、以下の連写ができます。

マルチ画面連写
9枚の静止画を連続撮影して9分割の画面に表示する。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

❸ 選択/[押]決定ダイヤルを回して、[icon]を選び、押して決定する。

❹ 選択/[押]決定ダイヤルを回して、「静止画設定」を選び、押して決定する。

❺ 選択/[押]決定ダイヤルを回して、「連写」を選び、押して決定する。

❻ 選択/[押]決定ダイヤルを回して、「マルチ画面連写」を選び、押して決定する。

“ メモリースティック ”の容量がいっぱいになると

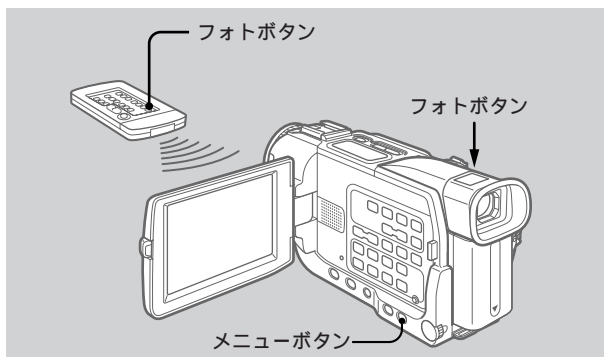
「メモリースティックのメモリーがいっぱいです」と表示され、メモリーフォト撮影は終了します。

連写の設定について

設定	意味（画面に出る表示）
切	連続して撮影しません。
マルチ画面連写	約0.5秒間隔で9枚の静止画を連続して撮影し、9分割された1つの画面に表示します。（[icon]）

“メモリースティック”を使う

セルフタイマーメモリーフォト撮影

セルフタイマーを使って“メモリースティック”に静止画を記録できます。リモコンも使えます。

❶ **電源スイッチを「メモリー」にする。**

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ **メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

❸ **選択/押決定ダイヤルを回して、を選び、押して決定する。**

❹ **選択/押決定ダイヤルを回して、「セルフタイマー」を選び押して決定する。**

❺ **選択/押決定ダイヤルを回して、「入」を選び押して決定する。**

❻ **メニューボタンを押してメニュー画面を消す。**

❼ **フォトボタンを深く押す。**

セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影される。

セルフタイマーを止めるとき

メニューの「セルフタイマー」で「切」を選ぶ。リモコンを使って撮影を中断することはできません。

ご注意

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。

- セルフタイマーメモリーフォト撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」または「ビデオ」にしたとき。

画像の確認

本体のフォトボタンを軽く押して、画像を確認できます。深く押すと、セルフタイマー撮影が始まります。

テープの画像を静止画として取りこむ

テープに記録された画像を、“ メモリースティック ”に静止画として記録できます。

また、他機の画像を取りこんで、“ メモリースティック ”に静止画として記録できます。

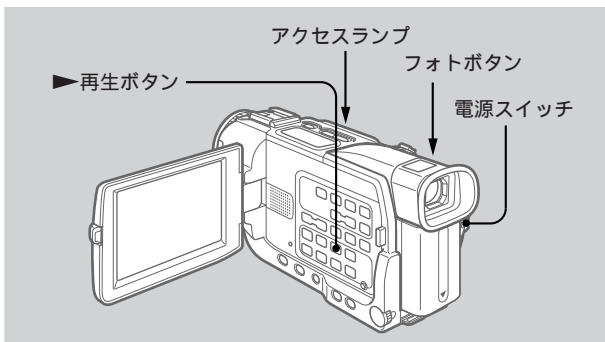
アクセスランプ点灯中および点滅中は
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取り出したりしないでください。画像データが壊れることがあります。

画面に「メモリースティックを確認してください」と表示されたら
フォーマットの形式が違うなど本機で認識できない“ メモリースティック ”を使用しています。フォーマット形式をご確認ください。

再生中にフォトボタンを軽く押すと
テープは一時停止します。

テープに記録された音声は
記録できません。

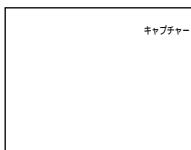
タイトルは
記録できません。フォトボタンを押し込んで画像を記録しているときは、タイトルは表示されません。

リモコンのフォトボタンを押すと
押したときに映っている画像が記録されます。

- 録画済みのテープを入れておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ ►再生ボタンを押す。

テープの画像が映る。

❸ 画像を取り込みたい部分でフォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。

テープの画像が一時停止し、キャプチャー表示が出る。このとき記録はされません。

❹ フォトボタンを深く押す。

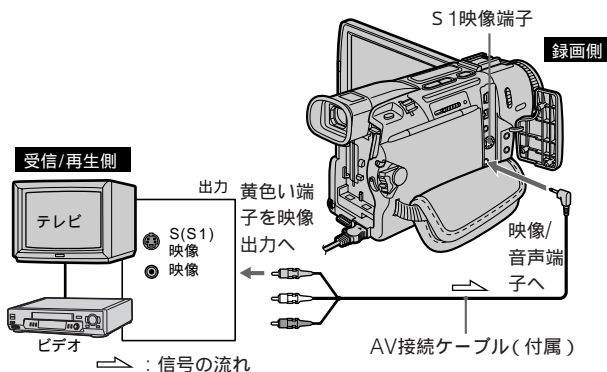
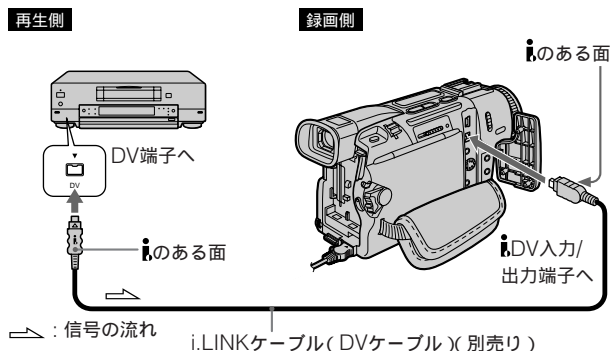
バーのスクロール表示が終わると、記録が完了する。

ボタンを深く押したときの画像が“ メモリースティック ”に記録される。テープの画像は再生に戻る。

“ メモリースティック ”を使う

別売りのS映像ケーブルを使うと
録画画像がより鮮明になります。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像端子とビデオやテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

他機をつないで静止画を取りこむ

AV接続ケーブルを使う

i.LINKケーブル（DVケーブル）を使う

メニューで「画面表示」を「パネル」にしてください。
（お買い上げ時は、「パネル」に設定されています。）

❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ 他機のビデオなどで再生を始める。または録画したいテレビを受信する。

他機の画像が映る。

❸ 109ページの手順3〜4を行う。

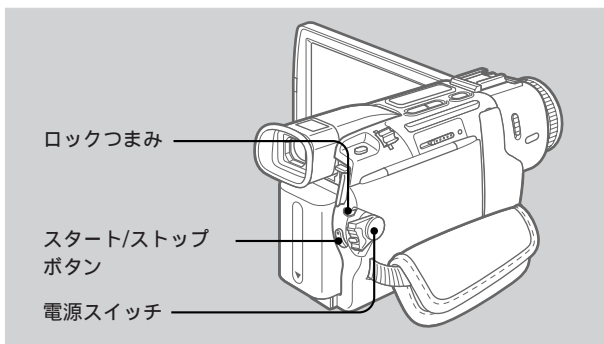
“ メモリースティック ”に動画を撮る – MPEGムービー撮影

“ メモリースティック ”に音声つきで動画を
記録することができます。

ご注意

音声はモノラルで記録されます。

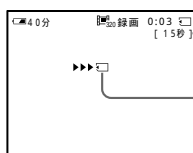
電源スイッチを「メモリー」にすると
以下の機能が使えません。
- ワイドTV
- デジタルズーム
- 手ぶれ補正
- SUPER NIGHTSHOT
- フェーダー
- ピクチャーエフェクト
- デジタルエフェクト
- タイトル
- キャンドルモード（表示が点滅します）
- スポーツレッスンモード（表示が点滅します）

撮影中は
カセットを取り出さないでください。カセット取り出し中は音声を記録しません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まり、録画ランプが点灯する。
メニューの「画像サイズ」を「160×112」に設定したときは、最大60秒まで録画します。
ただし、メニューの「画像サイズ」を「320×240」に設定したときは、録画時間は最大15秒までになります。

撮影を中止する/終了する

スタート/ストップボタンを押す。

テープの画像を動画として取りこむ

テープに記録された画像を、“ メモリースティック ”に動画として記録できます。

また、他機の画像を取りこんで、“ メモリースティック ”に動画として記録できます。

ご注意

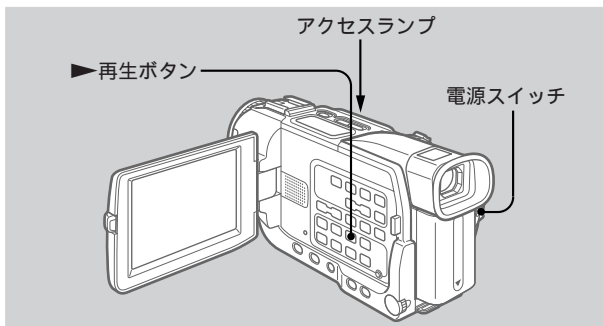
- ミニDVテープの音声が48KHzでも、32KHzに変換されて記録されます。
- ステレオで記録された音声はモノラルに変換されて記録されます。

アクセスランプ点灯中および点滅中は
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

タイトルは
記録できません。スタート/ストップボタンを押し込んで画像を記録しているときは、タイトルは表示されません。

テープに記録されたデータコードは
取りこめません。

「メモリースティックに録画できません [音声エラー]」と表示されたときは
本機では取りこめない音声で記録されています。他機を再生機としてAV接続ケーブルを使って外部入力してください。（113ページ）

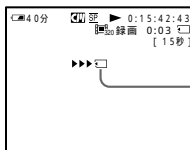
記録中は
カセットを取り出さないでください。カセット取り出し中は音声を記録しません。

- 録画済みのテープを入れておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ ►再生ボタンを押す。

テープの画像が映る。

❸ 画像を取り込みたい部分の開始点でスタート/ストップボタンを押す。

録画ランプが点灯する。
メニューの「画像サイズ」を「160×112」に設定したときは、最大60秒まで録画します。
ただし、メニューの「画像サイズ」を「320×240」に設定したときは、録画時間は最大15秒までになります。

撮影を中止する/終了する。

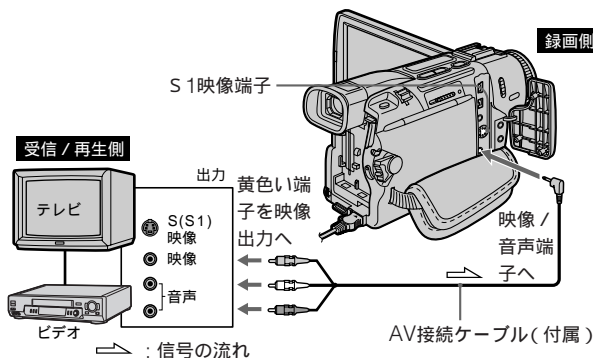
スタート/ストップボタンを押す。

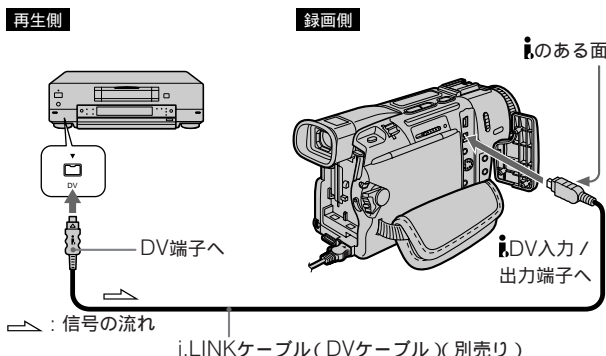
ご注意

次の場合、表示が点滅します。"メモリースティック"を入れ直し、乱れのない画像を記録してください。
- ダビングを繰り返した等で記録状態の悪いテープ
- テレビチューナーユニット使用時の電波状態が悪く、乱れた画像を取りこもうとしたとき

別売りのS映像ケーブルを使うと
録画画像がより鮮明になります。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで本機のS1映像端子とビデオ、またはテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

他機をつないで動画を取りこむ

AV接続ケーブルを使う

音声はモノラルで記録されます。

i.LINKケーブル（DVケーブル）を使う

メニューで「画面表示」を「パネル」にしてください。
（お買い上げ時は、「パネル」に設定されています。）

❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ 他機のビデオなどで再生を始める。または録画したいテレビを受信する。

他機の画像が映る。

❸ 112ページの手順3を行う。

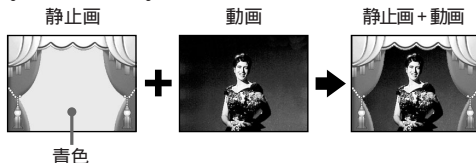
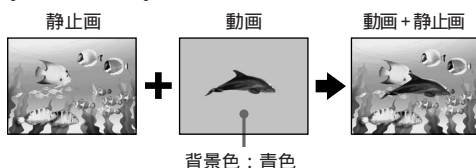
静止画を重ねて撮る – メモリーミックス

“ メモリースティック ”に記録してある静止画を、カメラで撮影している動画に重ねることができます。

M. クロマキー（メモリークロマキー）
イラストや枠などの静止画を使い、静止画の青色の部分を抜いて動画と重ねる。

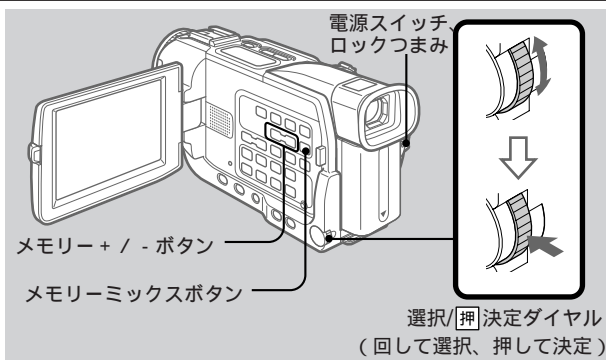
M. ルミキー（メモリールミキー）
手書きイラストやタイトルなどの静止画を使い、静止画の明るい部分を抜いて動画に重ねる。旅行やイベントの前にあらかじめタイトルを“ メモリースティック ”に入れておくと便利です。

C. クロマキー（カメラクロマキー）
背景などの静止画に動きのある被写体を重ねる。(青色を背景に被写体を撮影し、青色の部分を抜く。)

M.オーバーラップ（メモリーオーバーラップ）
オーバーラップフェーダーと同様に、“ メモリースティック ”に記録してある静止画から、カメラで撮影している動画にフェードインをする。

ご注意

MPEGムービー撮影した動画にメモリーミックスすることはできません。

付属の“ メモリースティック ”には
サンプルとして20枚の画像が記録されています。
- M. クロマキー用　18枚
（枠など）
100-0001～100-0018
- C. クロマキー用　2枚
（背景になる絵など）
100-0019～100-0020

サンプル画像は
プロテクトされています。
（135ページ）

- 記録用のテープを入れておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

1 電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

ご注意

重ねる静止画に白い部分が多いと、小画面で表示したときにはっきりと見えないことがあります。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは
本機で再生できないことがあります。

記録中は
カセットを取り出さないでください。カセット取り出し中は音声は記録しません。

電源スイッチが「メモリー」のときは
M.オーバーラップは選択できません。

❷ [撮影スタンバイ中] に **メモリーミックスボタンを押す。**

最後に撮影した静止画、または最後に合成した静止画が画面の右下に出る。

静止画
ファイルナンバー

❸ メモリー +/−ボタンを押して、重ねたい静止画を選ぶ。

前の画像を出すときは、メモリー −ボタンを押す。
次の画像を出すときは、メモリー +ボタンを押す。

❹ 選択/押 決定ダイヤルを回してモードを選ぶ。

静止画

次の順で変わります
M. クロマキー←→M. ルミキー←→C. クロマキー←→M.オーバーラップ

❺ 選択/押 決定ダイヤルを押す。

静止画が動画と重なる。
M.オーバーラップを選んだときは、静止画と動画がオーバーラップし、スタンバイ状態になる。

次のページへつづく

撮影中は
モードを選び直すことはできません。

❻ 選択/[押]決定ダイヤルを回して、効果を調節する。

調節する内容は以下の通り。

M. クロマキー	静止画の、青色の部分の抜き具合。
M. ルミキー	静止画の、明るい部分の抜き具合。
C. クロマキー	動画の、青色の部分の抜き具合。
M. オーバーラップ	調節の必要はありません。

バー表示を小さくするほど効果が大きくなる。

❼ スタート/ストップボタンを押して撮影を始める。電源スイッチが「メモリー」のときは、フォトボタンを押す。

静止画を選び直す

手順6の後でメモリー +/−ボタンを押す。または、手順6の後で選択/[押]決定ダイヤルを押すと、手順4に戻る。(M.オーバーラップを除く)

モードを選び直す

手順6の後で選択/[押]決定ダイヤルを押す。手順4に戻る。(M.オーバーラップを除く)

メモリーミックスを解除する

もう1度メモリーミックスボタンを押す。

テープの静止画を自動記録する – オートフォトコピー

サーチ機能を使って、テープに記録されている静止画のみを“ メモリースティック ”に順次取りこんで、記録できます。

アクセスランプ点灯中および点滅中は
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
「実行できません」と表示されます。

- 録画済みのテープを入れて、巻き戻しておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

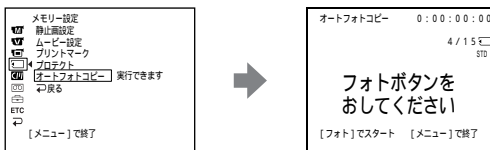
❸ 選択/押 決定ダイヤルを回して、▭を選び、押して決定する。

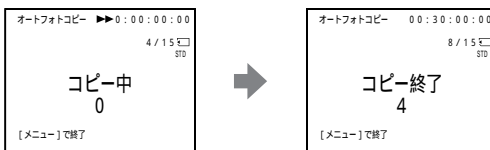
“ メモリースティック ”を使う

次のページへつづく

途中で“ メモリースティック ”を入れかえると
前の“ メモリースティック ” に記録した画像データの続きの画像から記録し始めます。

❹ 選択/押決定ダイヤルを回して、「オートフォトコピー」を選び、押して決定する。

「フォトボタンをおしてください」と表示される。

❺ フォトボタンを強く押し込む。

テープの静止画が“ メモリースティック ”に記録される。コピーされた静止画の数が表示され、コピーが終了すると、「コピー終了」と表示される。

コピーを中止する/終了する

メニューボタンを押す。

“ メモリースティック ”の容量がいっぱいになると

「メモリーフル」と表示され、コピーは終了します。
“ メモリースティック ”を入れ換え、もう1度手順2から操作してください。

静止画を見る – メモリーフォト再生

“ メモリースティック ”に記録してある静止画を見ることができます。
また、インデックス表示をすると、画像を6枚ずつ表示できます。

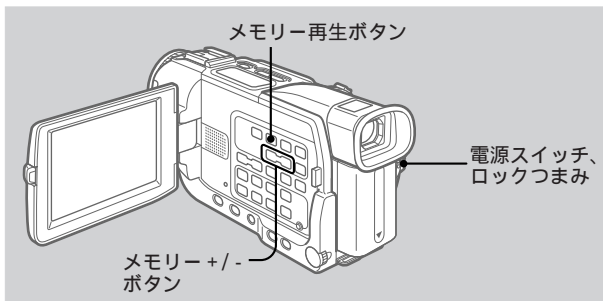
ご注意

次の場合、正しく再生できないことがあります。
- パソコンで加工した画像データを本機で再生する場合
- 撮影に使った機器以外で画像データを再生する場合

データファイル名について
- ディレクトリ構造がDCF98規格に準拠していないと、ディレクトリは表示されません。
- ディレクトリ構造がDCF98規格に準拠していないと「メモリースティックディレクトリエラー」と表示されることがあります。このとき、再生は可能ですが、記録することはできません。
- データファイル名が点滅したときは、ファイルが壊れているか、本機で扱えないファイル形式です。

テレビで見るときは
- あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでおいてください。
- テレビや液晶画面でメモリーフォト再生をすると、画質が劣化しているように見えることがありますが、故障ではありません。データ上は問題ありません。
- テレビの音量を下げておいてください。テレビのスピーカーから「ピー」という音（ハウリング）が出ることがあります。

撮影日時/カメラデータは
リモコンのデータコードボタンを押すと、見ることができます。

“ メモリースティック ”内部に表示できる画像が1枚もないときは
「ファイルがありません」のメッセージが表示されます。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ メモリー再生ボタンを押す。

最後に撮影した画像が出る。

❸ メモリー＋/－ボタンを押して、静止画を選ぶ。

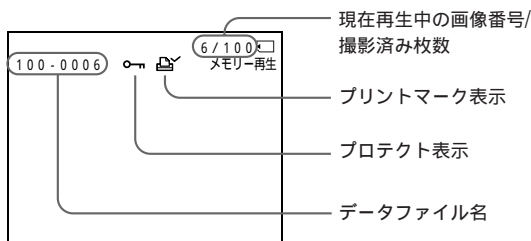
前の画像を見るときは、メモリー－ボタンを押す。
次の画像を見るときは、メモリー＋ボタンを押す。

メモリーフォト再生を止める

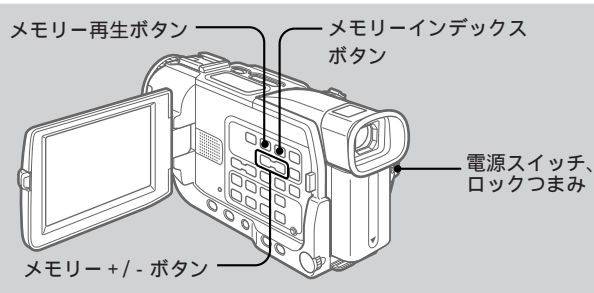
もう1度メモリー再生ボタンを押す。

静止画再生中の画面表示

画像を6枚ずつ表示する（インデックス表示）

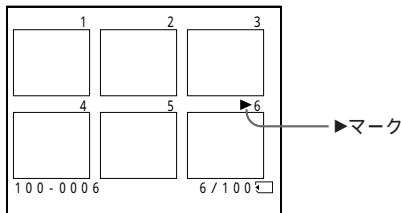
撮影した画像を6枚ずつ一度に再生できます。画像を検索するときなどに便利です。

ご注意

インデックス表示をしているときの画像右上の番号は、“メモリースティック”の記録順を示す番号です。データファイル名（96ページ）とは違いますのでご注意ください。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは
インデックス表示ができない場合があります。

1 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

2 メモリーインデックスボタンを押す。

インデックス表示をする前に映っていた画像に赤色の▶マークが表示される。

- 次の6枚を見るときは、メモリー＋ボタンを押し続ける。
- 前の6枚を見るときは、メモリー－ボタンを押し続ける。

1枚の表示（シングル表示）に戻す

メモリー＋/－ボタンで▶マークを表示したい画像に移動し、メモリー再生ボタンを押す。

動画を見る – MPEGムービー再生

“ メモリースティック ”に記録した動画を見ることができます。

また、インデックス表示をすると、データファイル順に静止画も含めた画像を6枚ずつ表示することができます。

ご注意

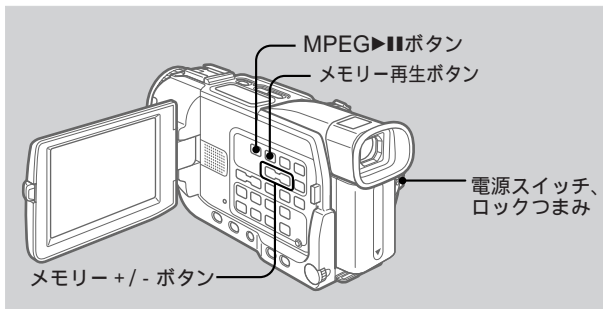
次の場合、正しく再生できないことがあります。
- パソコンで加工した画像データを本機で再生する場合
- 撮影に使った機器以外で画像データを再生する場合

テレビで見るときは
- あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでおいてください。
- テレビの音量を下げておいてください。テレビのスピーカーから「ピー」という音（ハウリング）が出ることがあります。

撮影日時は

リモコンのデータコードボタンを押すと、見ることができます。

“ メモリースティック ”内部に表示できる画像が1枚もないときは

「ファイルがありません」のメッセージが表示されます。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ メモリー再生ボタンを押す。

最後に撮影した画像が出る。

❸ メモリー+/−ボタンを押して、動画を選ぶ。

前の画像を見るときは、メモリー−ボタンを押す。

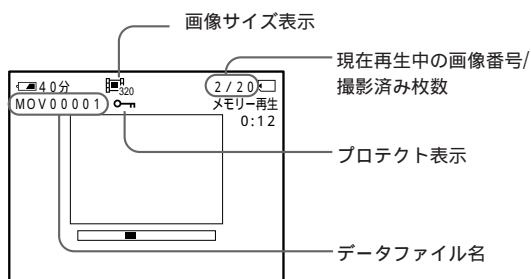
次の画像を見るときは、メモリー+ボタンを押す。

❹ MPEG▶❚❚ボタンを押して、再生を始める。

MPEGムービー再生を止める

MPEG▶❚❚ボタンを押す。

動画再生中の画面表示

画像サイズ表示
現在再生中の画像番号/
撮影済み枚数
40分
320
2／20
MOV00001
メモリー再生
0:12
プロテクト表示
データファイル名

パソコンで画像を見る

パソコンで画像を見るには、別売りのパソコン接続キットが必要です。
“ メモリースティック ”に記録した画像をパソコンで見ることができます。

画像の保存形式

“ メモリースティック ”に記録した画像は、以下の形式で保存されています。それぞれのファイル形式の対応アプリケーションがパソコンにインストールされていることをご確認ください。
– 静止画：JPEG形式
– 動画/音声：MPEG形式

Active Movie Player（Direct Show）がインストールされていること（動画再生時）。
QuickTime 3.2以降がインストールされていること（動画再生時）。

アプリケーションソフトウェア

アプリケーションソフトのPC動作環境は、CD-ROMに添付されている説明書をご覧ください。

USB接続推奨環境

Windows環境

OS： Microsoft Windows 98/98 Second Edition、Windows Millennium Edition、Windows 2000 Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードされた場合は動作保証は致しません。

CPU： MMX Pentium 200 MHz以上。

USB端子が標準で装備されていることが必要です。

Macintosh環境

Mac OS 8.5.1/8.6/9.0が工場出荷時にインストールされているMacintosh。ただしMac OS 8.6が工場出荷時にインストールされている“ CD-ROMドライブがスロットローディングのiMac ”、“ i.Book ”、“ Power Mac G4 ”はMac OS 9.0にアップデートしてご使用ください。

USB端子が標準で装備されていることが必要です。

ご注意

- Windows環境/Macintosh環境とも、1台のパソコンで2つ以上のUSB接続をする場合、またハブをご使用の場合は動作保証致しません。
- 同時に使われるUSB機器によっては動作致しません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- その他本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文では™、®マークは明記していません。

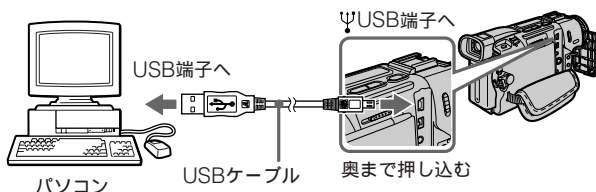
ご注意

“ メモリースティック ”が入っていないと、インストールできません。
必ず本機に“ メモリースティック ”を入れてください。

USBドライバをインストールする

本機をパソコンに接続するには、お手持ちのパソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバは、パソコン接続キットに付属しているCD-ROMに、画像を見るためのアプリケーションソフトとともに収録されています。

Windows 98/98SE、Windows 2000、Windows Meをお使いの場合

1. **パソコンの電源を入れ、パソコンを起動する。**
2. **パソコン接続キット(別売り)に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。**
3. **CD-ROMに入っているアプリケーションソフトの画面が起動したら、「USB Driver Installation for Windows 98/98SE/2000/Me」をクリックする。**
4. **USBドライバのセットアップが始まるので、最後まで完了する。**
5. **パソコン接続キット(別売り)に付属のUSBケーブルで、本機のUSB端子とパソコンのUSB端子を接続する。**

6. **本機に“ メモリースティック ”を入れ、ACパワーアダプターを接続して本機の電源スイッチを「メモリー」にする。**
   本機の液晶画面に「USBモード」と表示され、パソコンからの通信が始まります。パソコンが本機を確認し、Windowsのドライバをインストールします。
7. **2種類のUSBドライバをインストールします。途中で中断せずに、最後までインストールを完了する。**

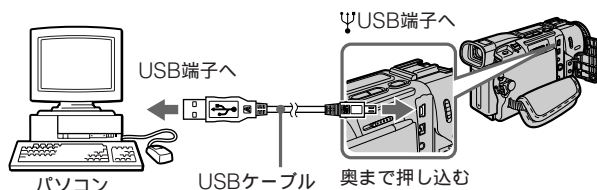
Macintoshをお使いの場合

1. **パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動する。**
2. **パソコン接続キット（別売り）に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。**
3. **CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックし、ウィンドウを開く。**
4. **OSの入っているハードディスクのアイコンをダブルクリックし、ウィンドウを開く。**
5. **手順3で開いたウィンドウから、以下の2つのファイルを、手順4で開いたウィンドウの「システムフォルダ」のアイコンの上に移動する（ドラッグ・アンド・ドロップする）。**
   - Sony Camcorder USB Driver
   - Sony Camcorder USB Shim
6. **「機能拡張フォルダに入れますか？」と表示されたら「OK」を選択する。**
7. **パソコンを再起動する。**

画像を見る

Windows 98をお使いの場合

1. **パソコンの電源を入れ、Windows 98を起動する。**

❷ パソコン接続キット（別売り）に付属のUSBケーブルで本機のUSB端子とパソコンのUSB端子を接続する。

❸ 本機に“ メモリースティック ”を入れ、ACパワーアダプターを接続する。

❹ 本機の電源スイッチを「メモリー」にする。

本機の液晶画面に「USBモード」と表示されます。

❺ Windows 98上で「マイコンピュータ」を開き、新しく認識されたドライブ（例：「リムーバブルディスク（D:)」）をダブルクリックする。

“ メモリースティック ”内のフォルダが表示されます。

❻ 見たい画像ファイルをフォルダの中から選んで、ダブルクリックする。

詳しくは「画像ファイルの保存先とファイル名」（127ページ）をご覧ください。

再生したいファイル	この順でダブルクリックする
静止画	「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル
動画*	「Mssony」フォルダ→「Moml0001」フォルダ→画像ファイル*

* パソコンのハードディスクにコピーしてから再生することをお勧めします。“ メモリースティック ”から直接再生すると、画像/音声がとぎれることがあります。

USBケーブルを抜く/“ メモリースティック ”を取り出す

USBケーブルを抜くまたは、“ メモリースティック ”を取り出すには、以下の操作が必要です。

Windows 2000、Windows Meをお使いの場合

1. **タスクトレイの中の「ハードウェアの取り外し」アイコンより該当するドライブを停止する。**
2. **「安全に取り外すことができる」とメッセージが出てから、USBケーブルを抜く、または“ メモリースティック ”を取り出す。**

Macintoshをお使いの場合

1. **ソフトウェアを閉じる。**
   アクセスランプが点灯していないことを確認する。
2. **“ メモリースティック ”アイコンをごみ箱に捨てる、または「特別」メニューから「取り出し」を選択する。**
3. **“ メモリースティック ”を取りはずす。**

パソコンを使用するときのご注意

“ メモリースティック ”

- パソコンでフォーマットした“ メモリースティック ”は本機での動作は保証致しません。
- Windowsで“ メモリースティック ”の最適化はしないでください。“ メモリースティック ”の寿命を縮めます。
- “ メモリースティック ”内のデータを圧縮しないでください。圧縮されたデータは本機で使用できなくなります。

ソフトウェア

- アプリケーションソフトによっては、静止画ファイルを開くとファイルサイズが大きくなる場合があります。
- レタッチソフト等を使って加工した画像をパソコンから本機に取り込む場合、または本機の画像を直接加工した場合、画像形式が異なるためファイルエラー表示が出たりファイルが開けない場合があります。

パソコンとの通信

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

ソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズをお使いの場合

パソコン接続キット(別売り)に付属のCD-ROMに収録されている画像処理ソフト使用時、ソフトが強制終了されることがあります。また、MPEGデータを再生すると再生時間が極端に短くなることもあります。その際は下記のホームページで最新ドライバー[Sony MPEG Decoder]を入手してご使用ください。

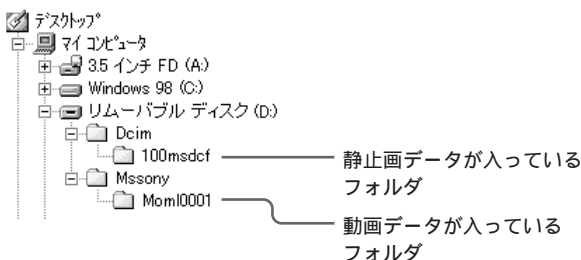
http://www.vaio.sony.co.jp

アップデートプログラムから［Sony MPEG Decoder］を選び、ダウンロードする。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、撮影モードごとにフォルダにまとめられています。

ファイル名の意味は以下の通りです。□□□□には0001から9999までの数字が入ります。

Windows 98で見たときの例
(本機が認識されたドライブはD:)

フォルダ名	ファイル名	意味
100msdcf	DSC0□□□□.JPG	静止画ファイル
Moml0001	MOV0□□□□.MPG	動画ファイル

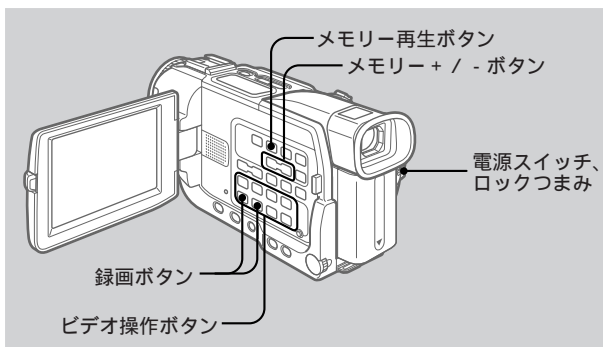
“メモリースティック”で撮った画像をテープにダビングする

あらかじめ“メモリースティック”に記録した静止画やタイトルなどをテープにダビングできます。

ダビング中は以下の操作ができません
- メモリー再生
- メモリーインデックス
- メモリー消去
- メモリー+/−
- メモリーミックス

インデックス画面は
録画できません。

ダビング一時停止中にエディットサーチをすると
メモリー再生は停止します。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは
ダビングできないことがあります。

- 記録用のテープを入れておいてください。
- あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

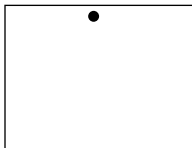
❷ ビデオ操作ボタンを使って、静止画をダビングしたい場所を探し、テープを再生一時停止にする。

❸ ●録画ボタンを2つ同時に押し、録画一時停止にする。

録画中または録画スタンバイ中に画面表示ボタンを押すと
タイムコードなど、テープに関する表示以外に、メモリー再生表示、ファイル名表示も見ることができます。

❹ メモリー再生ボタンを押して、メモリー＋／ーボタンでダビングしたい静止画を選択する。

❺ ❚❚一時停止ボタンを押して、録画を始める。

録画を止めたいところでもう1度❚❚一時停止ボタンを押す。

❻ 他にもダビングする場合は、手順4〜5を繰り返す。

ダビングを中止するときは

■停止ボタンを押す。

“ メモリースティック ”に撮った画像を拡大する – メモリー再生ズーム

“ メモリースティック ”に記録した静止画を拡大して見ることができます。

拡大した静止画は見たい部分を選べ、本機のテープや他のビデオにダビングできます。

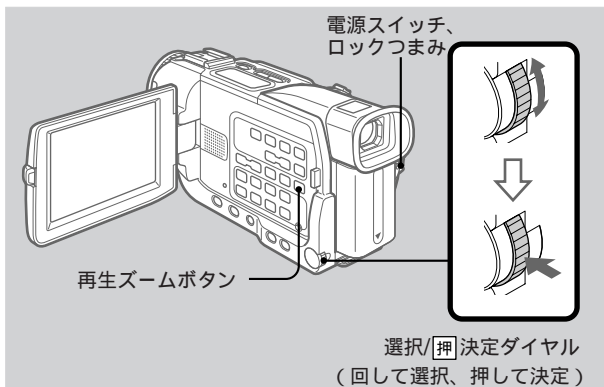
ご注意

再生ズームで拡大した画像を“ メモリースティック ”に記録することはできません。

再生ズーム中は
デジタルエフェクトの設定はできません。

再生ズーム中に以下のボタンを押すと解除されます。
- メニュー
- メモリー再生
- メモリーインデックス
- メモリー+/−

再生ズームを加えた画像は
電源スイッチが「メモリー」のときi.DV入力/出力端子からは出力されません。

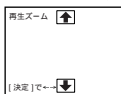
MPEG**ムービー撮影した画像は**
再生ズームはできません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

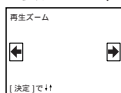
1 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

2 ［メモリー再生中］に
再生ズームボタンを押す。

画像の中心部が拡大され、画像を移動させる方向の ↑↓ ← →が表示される。

3 選択/押 決定ダイヤルを回して、画像を上下に動かし、押して決定する。

↑: 画像が下に移動する。
↓: 画像が上に移動する。

4 選択/押 決定ダイヤルを回して、画像を左右に動かし、押して決定する。

→: 画像が左に移動する。
（ダイヤルを上へ回す。）
←: 画像が上に移動する。
（ダイヤルを下へ回す。）

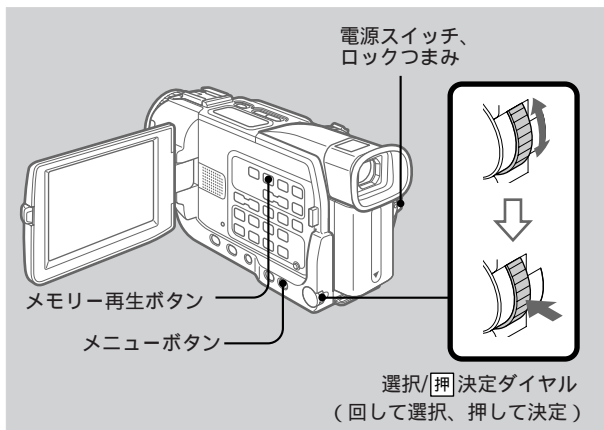
メモリー再生ズームを解除する。

再生ズームボタンを押し、表示を消す。

静止画を順番に自動再生する – スライドショー

画像を順番に自動再生します。
記録された画像のチェックやプレゼンテーションなどに便利です。

テレビで見るときは
あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでください。

設定中に“ メモリースティック ”を入れ換えると
スライドショーは動作しません。“ メモリースティック ”を入れ換えたら、始めから操作し直してください。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

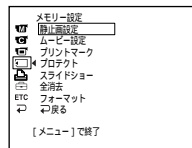
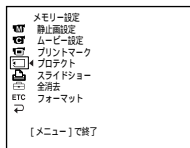
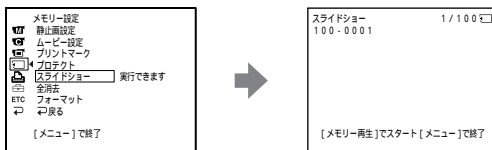
❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

❸ 選択/押 決定ダイヤルを回して、 を選び、押して決定する。

“ メモリースティック ”を使う

次のページへつづく

4 選択/押 決定ダイヤルを回して、「スライドショー」を選び、押して決定する。

5 メモリー再生ボタンを押す。

" メモリースティック "の画像が順番に再生される。

スライドショーを中止する

メニューボタンを押す。

スライドショーを一時停止する

メモリー再生ボタンを押す。

お好みの画像からスライドショーを始める

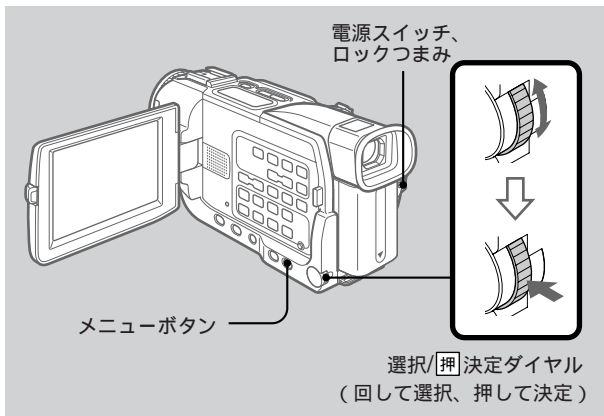
手順2の前にメモリー＋/−ボタンで最初の画像を選んでおく。

大事な画像を残す－プロテクト

大事な画像を誤って消さないために、撮影した画像を選んで誤消去防止（プロテクト）指定ができます。

ご注意

画像にプロテクトがかかっていても“メモリースティック”をフォーマットすると“メモリースティック”の内容はすべて失われます。フォーマットする前に内容を確認してください。

“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっているとプロテクトは実行できません。

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

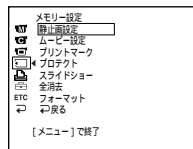
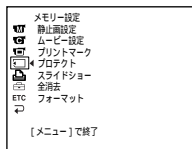
1 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にする。

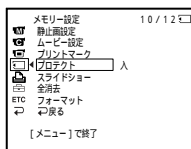
ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

2 プロテクトする画像を再生する。

3 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

4 選択/押 決定ダイヤルを回して、 を選び、押して決定する。

次のページへつづく

❺ 選択/押 決定ダイヤルを回して、「プロテクト」を選び、押して決定する。

❻ 選択/押 決定ダイヤルを回して、「入」を選び、押して決定する。

❼ メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

選択された画像にプロテクトがかかり、ファイル名に「O-π」マークがつきます。

プロテクトを解除する

手順6で「切」を選び、選択/押 決定ダイヤルを押す。

画像を消す – 消去

不要になった画像を消去できます。

撮影したすべての画像を消去したり、画像を選んで消去したりできます。

ご注意

- プロテクトされている画像は消去できません。プロテクトされている画像を消去したいときは、あらかじめプロテクトを解除してください。
- 一度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に内容を確認してください。

“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
消去できません。

不要になった画像を消去する

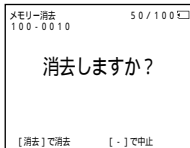
あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ 消去したい画像を再生する。

❸ メモリー消去ボタンを押す。

「消去しますか？」の表示が出る。

❹ もう1度メモリー消去ボタンを押す。

画像が消去される。

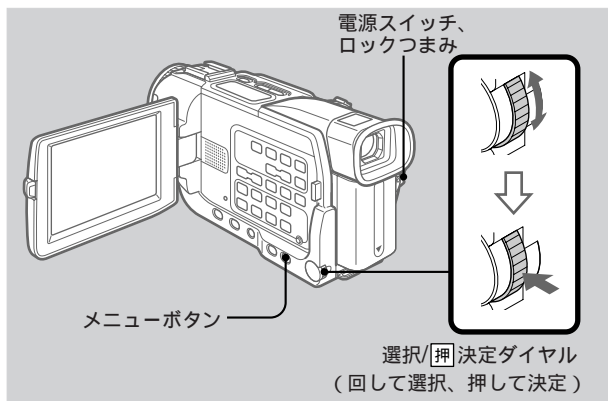
画像の消去を中止する

手順4でメモリー−ボタンを押す。

インデックス表示している画像を消す

メモリー+/−ボタンで▶マークを表示したい画像に移動してから、手順3と4を行ってください。

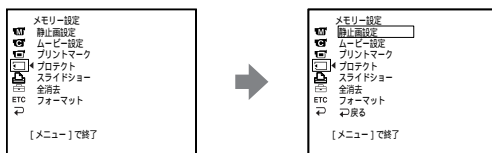
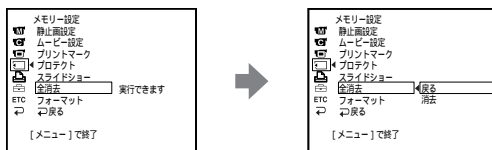
すべての画像を消去する

プロテクトのかかっていない画像ファイルをすべて消去します。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

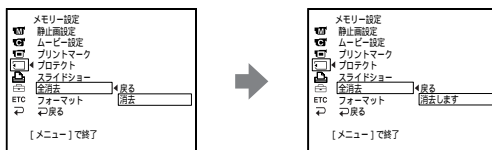
❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

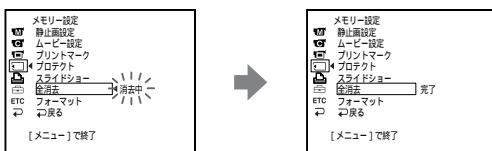
ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

❸ 選択/押 決定ダイヤルを回して、[メモリー設定アイコン]を選び、押して決定する。

❹ 選択/押 決定ダイヤルを回して、「全消去」を選び、押して決定する。

「消去中」と表示されているときは
電源スイッチを切り換えたり、ボタン操作を行わないでください。

❺ 選択/[押]決定ダイヤルを回して、「消去」を選び、押して決定する。

「消去」が「消去します」の表示に変わる。

❻ 選択/[押]決定ダイヤルで「消去します」を選び、押して決定する。

「消去中」と表示され、プロテクトのかかっていないすべての画像が消去されると、「完了」と表示される。

全消去を中止する

手順5で「戻る」を選び、選択/[押]決定ダイヤルを押す。

プリントマークを付ける – プリントマーク

“ メモリースティック ”に撮影した画像の中からプリントしたい画像を直接指定してマークを付けることができます。後でプリントするときに便利です。

本機はプリントしたい画像を選択できるDPOF (Digital Print Order Format) 規格に対応しています。

“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
プリントマークは実行できません。

MPEGムービー撮影した動画に
プリントマークは付けられません。

ファイル名点滅時に
プリントマークは実行できません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

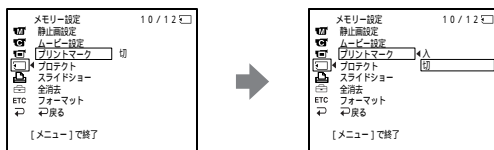
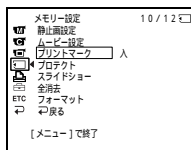
❶ 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ プリントマークを付ける画像を再生する。

❸ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

❹ 選択/押 決定ダイヤルを回して、を選び、押して決定する。

5 選択/[押]決定ダイヤルを回して、「プリントマーク」を選び、押して決定する。

6 選択/[押]決定ダイヤルを回して、「入」を選び、押して決定する。

7 メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

プリントマークを付けた画像のファイル名に「 」マークがつきます。

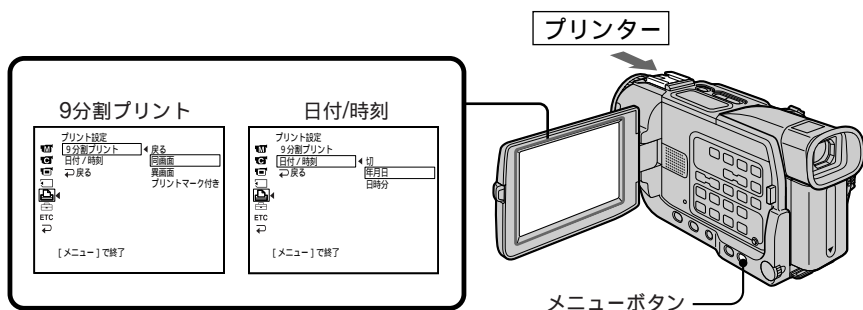
プリントマークを解除する

手順6で「切」を選び、選択/[押]決定ダイヤルを押す。

プリンター（別売り）を使う

別売りのプリンターを使ってプリントペーパーに画像をプリントできます。

詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

静止画をプリントするには、いろいろなプリント方法がありますが、ここでは本機のメニューで[プリント]を選んでプリントする方法を説明します。

マルチ画面連写した画像は
シールプリントできません。

次の画像はプリントできません

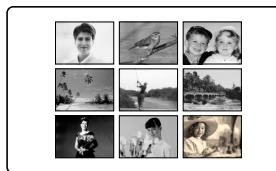
- メモリースティックに記録した動画
- 再生ズームを加えた画像

- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。
- プリンター（別売り）を本機に取り付けておいてください。

“ メモリースティック ”に記録した画像をステッカータイプ／9分割サイズに分割プリントすると9枚のシールプリントができます。

メニューで希望のモードを選んでください。

同画面分割プリント

異画面分割プリント/プリントマーク付き*

*プリントマークを付けた静止画9枚をプリントします。

記録した日時もプリントできます。

メニューで希望のモードを選んでください。

年月日　**日時分**

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

液晶画面やファインダーに「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。150ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート/ストップボタンを押してもテープが走行しない。	●電源スイッチが「カメラ」になっていない。	●「カメラ」にする。	15
	●テープが終わりになっている。	●巻き戻すか、新しいカセットを入れる。	14、25
	●カセットが誤消去防止状態になっている。	●誤消去防止ツマミを元に戻す。または新しいカセットを入れる。	14
	●テープがヘッドドラムに貼りついている（結露）。	●カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	158
電源が途中で切れる。	●撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	●電源スイッチを「切（充電）」にしてから、もう1度「カメラ」にする。	—
	●バッテリーが消耗している。	●充電されたバッテリーを取り付ける。	—
ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度調節する。	17
手ぶれ補正が働かない。	メニューの「手ぶれ補正」が「切」になっている。	メニューで「入」にする。	90
オートフォーカスが働かない。	●手動ピント合わせになっている。	●フォーカスボタンを押し、自動調節にする。	41
	●オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	●手動でピントを合わせて撮影する。	41

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ファインダーの画像が消えている。	液晶画面が開いている。	液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。	16
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。	—	—
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミア現象といい、故障ではありません。	—	—
画面に白点が出ることがある。	スローシャッターやキャンドルモード、SUPER NIGHTSHOTモードのときに出る現象で、故障ではありません。	—	—
液晶画面やファインダーに見慣れぬ画面が現れる。	カセットを入れずに電源を「カメラ」にして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。	カセットを入れるとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできます。	94
画像の色が正しくない。	NIGHTSHOTが「入」になっている。	「切」にする。	19
画面が白すぎて画像が見えない。	•明るいところでNIGHTSHOTを「入」にしている。 •逆光補正が働いている。	•「切」にする。 •「切」にする。	19 19
シャッター音が出ない。	メニューの「お知らせブザー」が「切」になっている。	「お知らせブザー」を「メロディー」または「ノーマル」にする。	95
テレビやコンピューターの画面を撮影すると黒い帯が出る。	—	メニューの「手ぶれ補正」を「切」にする。	90

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ビデオ操作ボタンが働かない。	電源スイッチが「ビデオ」になっていない。	「ビデオ」にする。	23
ビデオ再生ボタンが働かない。	テープが終わりになっている。	テープを巻き戻す。	25
画像に横線が入る。またはぼけたり映らなかったりする。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	158
音声が小さい。または聞こえない。	●音量を最小にしている。 ●メニューの「音声ミックス」が「ST2」側になっている。	●音量を大きくする。 ●「音声ミックス」を調節する。	23 80、91
撮影日を画面に出して日付サーチできない。	●カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 ●メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。 ●テープの始めや途中に無記録部分がある。	●カセットメモリー付きカセットを使う。 ●「入」にする。	53 93 53
タイトルサーチできない。	●カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 ●メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。 ●タイトルが入っていない。 ●テープの始めや途中に無記録部分がある。	●カセットメモリー付きカセットを使う。 ●「入」にする。 ●タイトルを入れる。	51 93 81 51
アフレコした音声が聞こえない。	メニューの「音声ミックス」が「ST1」側になっている。	「音声ミックス」を調節する。	80、91
タイトルが出ない。	メニューの「タイトル表示」が「切」になっている。	「入」にする。	93

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチを「ビデオ」/「カメラ」/「メモリー」にしても動作しない。	•バッテリーが消耗している/消耗が近い/取り付けられていない。 •ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。	•充電されたバッテリーを取り付ける。 •コンセントに差し込む。	8､9 11
エンドサーチが働かない。	•カセットメモリーの付いていないカセットで、撮影後にカセットを取り出した。 •カセットを入れてからエンドサーチボタンを押すまでに、1度も撮影していない。	— —	22 22
エンドサーチが誤動作する。	テープの始めや途中に無記録部分がある。	—	22
バッテリーの消耗が早い。	•周囲の温度が極端に低い。 •充電が不充分。 •バッテリーそのものの寿命。	— •満充電する。 •新しいバッテリーに交換する。	— 9 8
バッテリー残量表示が正しくない。	•温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。 •バッテリーそのものの寿命。 •バッテリーが消耗している。 •残量表示にズレが生じた。	— •新しいバッテリーに交換する。 •充電されたバッテリーを取り付ける。 •満充電する。	— 8 8､9 9
バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。	残量表示にズレが生じた。	満充電すると残量が正しく表示される。	9
カセットが取り出せない。	•電源(バッテリーやACパワーアダプター)がはずれている。 •バッテリーが消耗している。	•電源をきちんと接続する。 •充電されたバッテリーを取り付ける。	8､11 8､9
💧や⏏が点滅し､カセット取出しスイッチ以外働かない。	結露している。	カセットを取り出して､約1時間してからもう1度入れ直す。	158
カセットメモリー付きのカセットを使用しているのにカセットメモリー表示が出ない。	カセットの金メッキ端子が汚れている。または、ゴミが付着している。	金メッキ端子をクリーニングする。	154
テープ残量表示が出ない。	メニューの「テープ残量表示」が「オート」になっている。	常にテープ残量を出したいときは「テープ残量表示」を「入」にする。	93

“ メモリースティック ”操作中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
操作を受け付けない。	●電源スイッチが「メモリー」になっていない。 ●“ メモリースティック ”が入っていない。	●「メモリー」にする。 ●“ メモリースティック ”を入れる。	98 97
撮影ができない。	● すでにメモリー容量いっぱいに撮影している。 ● フォーマットの形式の異なる“ メモリースティック ”を入れた。 ●“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	● 不要な画像を消去してから撮影する。 ● フォーマットするか、別の“ メモリースティック ”を入れる。 ●「LOCK」を解除する。	137 92 、105 96
画像を消去できない。	● プロテクトされている。 ●“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	● プロテクトを解除する。 ●「LOCK」を解除する。	136 96
フォーマットが実行できない。	“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	96
全消去が実行できない。	“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	96
プロテクトが実行できない。	●“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 ● プロテクト操作をしたい画像が表示されていない。	●「LOCK」を解除する。 ●メモリー再生ボタンを押して画像を表示する。	96 107
プリントマークが実行できない。	●“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 ● プリントマーク操作をしたい画像が表示されていない。	●「LOCK」を解除する。 ●メモリー再生ボタンを押して画像を表示する。	96 119
オートフォトコピーが実行できない。	●“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 ● バッテリーが消耗している。	●「LOCK」を解除する。 ● 充電されたバッテリーを取り付ける。またはACパワーアダプター／を使う。	96 8 、9 、11
正しい画像サイズで再生できない。	他機で撮影した画像を再生しようとすると画像サイズが正しく表示されないことがありますが故障ではありません。	—	—

次のページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
タイトルを入れられない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	•カセットメモリー付きカセットを使う。	81
	•カセットのメモリーがいっぱいになっている。	•ほかのタイトルを消去する。	83
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。	14
	•無記録部分にタイトルを入れようとしている。	•録画された部分にタイトルを入れる。	81
カセットに名前を付けられない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	•カセットメモリー付きカセットを使う。	86
	•カセットのメモリーがいっぱいになっている。	•不要なタイトルを消去する。	83
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。	14
デジタルプログラムエディットが働かない。	•録画機側の入力切換ができていない。	•接続を確認して録画機側の入力切換スイッチを設定し直す。	58、59
	•ソニー以外のDV機器と接続している。	•操作を「リモコン」にする。	61
	•無記録部分にプログラム設定しようとしている。	•録画された部分に設定し直す。	67
	•本機と録画機の録画のタイミングが合わない。	•タイミング補正をする。	65
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	•メニューの「リモコン」を「切」にしている。	•「入」にする。	95
	•リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	•障害物を取り除く。	—
	•リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	•⊕極と⊖極を正しく入れる。	165
	•乾電池そのものの寿命。	•新しい乾電池に交換する。	165
外部入力しているのに液晶画面やファインダーに画像が映らない。	メニューの「画面表示」が「ビデオ出力/パネル」になっている。	「パネル」にする。	95

その他

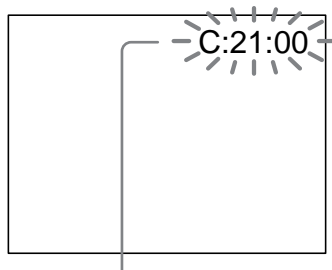
こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
おしらせブザーが5秒間鳴りつづける。	●結露している。	●カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	158
	●本機に異常が発生している。	●カセットを入れ直し、再度操作し直す。	—
電源が入っているのに操作できない	—	バッテリーまたはACパワーアダプターを取りはずし､約1分後再びバッテリーまたはACパワーアダプターを取り付け電源を入れる。それでも操作できないときは、RESETボタンを先のとがったもので押す。（この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。）	11、163
本体に取り付けたバッテリーを充電中､表示窓に何も表示が出ない。	●バッテリーが正しく取り付けられていない。	●正しく取り付ける。	8
本体に取り付けたバッテリーを充電できない。	本機の電源スイッチが「切（充電）」になっていない。	電源スイッチを「切（充電）」にする。	9
本体に取り付けたバッテリーを充電中に表示窓のバッテリーマークが点滅する。	●バッテリーが正しく取り付けられていない。	●正しく取り付ける。	8
	●バッテリーが故障している。	●テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。	—

自己診断表示 – アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、ファインダー、液晶画面または表示窓にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

液晶画面、ファインダーまたは表示窓

自己診断表示
「C:□□:□□」：
お客様自身で正常に戻せる状態
「E:□□:□□」：
テクニカルインフォメーションセンターに相談していただく状態

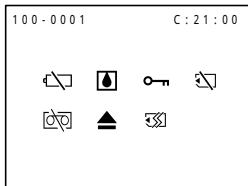
表示	原因	対応の仕方	参照ページ
C:04:□□	“インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。	“インフォリチウム”バッテリーをご使用ください。	155
C:21:□□	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	158
C:22:□□	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	158
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	• カセットを入れ直し、再度操作し直す。 • 電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。	— —
E:61:□□ E:62:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10	—

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面またはファインダーには、次のような表示が出ます。

詳しい説明は、（　）内のページにあります。

警告表示

100−0001 ファイル関連の警告
遅い点滅
- ファイルが壊れている
- 扱えないファイル
- 動画ファイルをメモリーミックスしようとした（114ページ）

C：21：00 自己診断表示（150ページ）

バッテリー残量に関する警告
遅い点滅
- バッテリー残量が少ない
  使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5分から10分でも警告表示が点滅することがあります。

結露の警告*
速い点滅
- テープが結露している
  テープを取り出し、電源をはずしてカセット入れを開けたまま約1時間放置する（158ページ）

“ メモリースティック ”関連の警告*
遅い点滅
- “ メモリースティック ”が入っていない

速い点滅
- 認識できない“ メモリースティック ”が入っている（96ページ）
- 取り込めない画像を記録しようとした（113ページ）

“ メモリースティック ”フォーマット関連の警告
速い点滅
- “ メモリースティック ”が壊れている*（96ページ）
- “ メモリースティック ”が正しくフォーマットされていない*（92ページ）

テープ関連の警告
遅い点滅
- テープ残量が5分を切った
- テープが入っていない*
- テープが誤消去防止状態になっている*（14ページ）

速い点滅
- テープが終わっている*

⏏ テープを取り出す必要がある警告*
遅い点滅
- テープが誤消去防止状態になっている（14ページ）

速い点滅
- 結露している（158ページ）
- テープが終わっている
- 自己診断表示が出ている（150ページ）

画像プロテクトの警告*
遅い点滅
- 画像が消去できないようになっている（135ページ）

フラッシュ（別売り）関連の警告
遅い点滅
- 充電中

速い点滅
- フラッシュ（別売り）の充電異常

* 警告表示／お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

次のページへつづく

お知らせメッセージ

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが出ます。
メッセージにしたがって操作してください。

- バッテリーを取りかえてください（8ページ）
- このバッテリーは古くなりました　取りかえてください（8ページ）
- “インフォリチウム”バッテリーをつかってください（9ページ）
- テープが終わっています*
- カセットを入れてください*
- カセットの誤消去防止ツマミを確認してください*（14ページ）
- メニューで日付　時刻をあわせてください（12ページ）
- ヘッドが汚れています／クリーニングカセットをつかってください（158ページ）
- 結露しています　カセットを取り出してください*（158ページ）
（テープが入っていないとき、メッセージは「結露しています」になります。）
- ダビングプロテクトされています　録画できません*（153ページ）
- 音声モードがちがいます　確認してください*（93ページ）
- 録画モードがちがいます　確認してください*（93ページ）
- テープを確認してください*（78ページ）
- “i. LINK”ケーブルをぬいてください（78ページ）
- カセットメモリー付きカセットに入れかえてください*
- カセットメモリーがいっぱいです*（82ページ）
- メモリースティックを確認してください*（109ページ）
- メモリースティックのメモリーがいっぱいです*（107ページ）
- メモリースティックの誤消去防止ツマミを確認してください*（96ページ）
- ファイルがありません*（119ページ）
- メモリースティックを入れてください*
- メモリースティックに録画できません［音声エラー］*（112ページ）
- メモリースティックエラー*（97ページ）
- メモリースティックフォーマットエラー*（92ページ）
- メモリースティックディレクトリエラー*（119ページ）
- 全消去中です*
- フォーマット中です*
- 静止画ファイルがありません

* 警告表示/お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

ビデオカセットについて

使えるビデオカセット

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。本機には、ミニDVカセットのみ使えます。Mini DVマークのついたカセットをお使いください。*

8、Hi8方式や、VHS、VHSC、SVHS、SVHSC、β、ED Beta、DV、D8方式のビデオカセットは使えません。

* ミニDVカセットには、カセットメモリー付きのものと、カセットメモリーなしのものがあります。カセットメモリー付きカセットにはCM (Cassette Memory) マークが付いています。本機ではカセットメモリー付きのものを推奨しています。

カセットメモリー付きのカセットは、カセット自体にICメモリーを内蔵しています。本機はこのICメモリーを利用して、画像情報（録画日時、タイトルなど）を書き込んだり、呼び出したりします。
カセットメモリー機能は、テープ上に記録された信号を基準にして動作します。テープの始めや途中に1度無記録部分を作ると、信号が不連続になり、タイトルが間違って表示されたり、サーチが誤動作することがあります。無記録部分を作らないために、下記の操作を行ってください。

撮影の途中でテープを出し入れしたり、ビデオモードで再生したり、またはエディットサーチを使った場合には、次の撮影の前にエンドサーチボタンを押し、撮影終了位置に戻す。

無記録部があったり、テープ上の信号が不連続なものは、上記の点に注意して新たにテープの最初から最後まで撮影すれば、カセットメモリー機能を正しくお使いいただけます。
カセットメモリー機能付きデジタルビデオカメラレコーダーで録画したテープの上に、機能なしカメラレコーダーで録画したときも同じ症状が出ることがあります。

著作権保護信号について

再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき記録が制限されることがあります。

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されているカセットは本機で録画することはできません。
このようなカセットを録画しようとすると液晶画面やファインダーに「ダビングプロテクトされています　録画できません」の表示が現れます。

なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

その他

カセットのCM 4K マークについて
この表示は、このカセットで4キロビットまでメモリーができることを示します。なお、本機は16キロビットのカセット（CM 16K マークが本体側面についています）まで対応しています。

これらは商標です。

Mini DV Digital Video Cassette
ミニDVカセットのマークです。

カセットメモリーのマークです。

音声多重記録テープを再生するとき

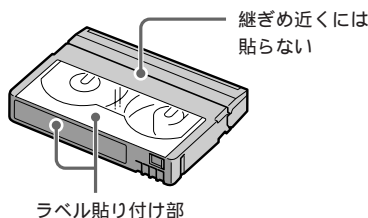
ステレオ音声で二重音声を記録したテープを再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。（91ページ）

メニューの「バイリンガル」の設定	再生される音声	
	ステレオを記録したテープ	二重音声を記録したテープ
「切」にする	ステレオ音声	主音声＋副音声
「メイン」にする	左音声	主音声
「サブ」にする	右音声	副音声

本機では二重音声は記録できません。

カセットについてのご注意

ラベルは指定の位置に

カセットにラベルを貼るときは、指定の位置に正しくお貼りください。故障の原因になります。

カセットの使用後は

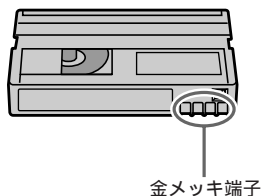
ご使用後は必ずテープを巻き戻してください。（画像や音声が乱れる原因となります）。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

カセットメモリー機能が働かないときは

カセットを入れなおしてください。金メッキ端子にゴミ等が付着して機能が働かないことがあります。

金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、カセットメモリーを使う機能などが正しく働かないことがあります。

カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や付属のACパワーアダプターとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

- 本機をご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃〜30℃の環境で、表示窓に「FULL」が表示される（満充電）まで充電することをおすすめします。これ以外では効率のよい充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACパワーアダプターを本機のDC IN端子から抜くか、バッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの上手な使い方

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、次のことをおすすめします。
  －バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前、本機に取りつける。
  －高容量バッテリー「NP-FM50/FM70/FM90/FM91/QM70/QM91（別売り）」を使用する。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/巻戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FM50/FM70/FM90/FM91/QM70/QM91（別売り）」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影または再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。
  水などに濡らさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安としてお使いください。
- バッテリー残量時間が約5〜10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってから湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、カセットを入れずに電源が切れるまで撮影状態にしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

i.LINK（アイリンク）について

本機のDV端子はi.LINKに準拠したDV入力/出力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ご注意

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常１台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100（最大転送速度　約100Mbps*）
S200（最大転送速度　約200Mbps）
S400（最大転送速度　約400Mbps）

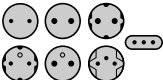
転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
本機のように特に転送速度の記載がされていない機器の最大転送速度は「S100」です。
最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のDV端子付きビデオとつないでダビングする方法については59、74ページをご覧ください。
また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK（DV）対応機器（パーソナルコンピュータVAIOシリーズなど）とも接続してご使用になれます。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を合わせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください
4ピン←→4ピン（DVダビング時）

海外で使う

本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターは、AC100V〜240V・50/60Hz**の広範囲な電源でお使いいただけます。**

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、**電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。**電子式変圧器（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

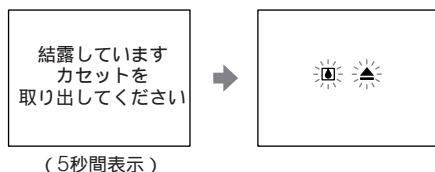
時差補正機能について

海外でお使いになるときはメニューで「ETC時差補正」を選べば、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせることができます。詳しくは95ページをご覧ください。

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

（5秒間表示）

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取り出しスイッチ以外は働きません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

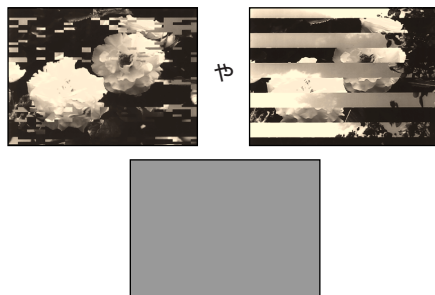
ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットDVM-12CLDを10秒間使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 再生画面に四角いノイズが出る。
- 再生画面の一部が動かない。
- 再生画像が出ない。
- 録画中に「⊗ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。

ビデオヘッドが汚れているときの画像

や

ビデオヘッドがさらに汚れると青一色の画面になります。

このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズのお手入れおよび保管について

- レンズ面に指紋などがついたときや、高温多湿の場所や、海岸など塩の影響を受ける環境で使用したときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場保管してください。

カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的におこなってください。
またビデオカメラレコーダーを良好な状態で長期にわたってご使用いただくためにも、月に一回程度、ビデオカメラレコーダーの電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し4か月近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことはできます。

充電方法

本機を付属のACパワーアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切(充電)」にして24時間以上放置する。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録音方式	回転2ヘッド 12ビット32kHz（ステレオ1、ステレオ2） 16ビット48kHz（ステレオ）
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	Mini DVマークのついたミニDVカセット
テープ速度	SP：約18.81mm/秒 LP：約12.56mm/秒
録画／再生時間	SP：60分（DVM60使用時） LP：90分（DVM60使用時）
早送り、巻き戻し時間	2分30秒（DVM60使用時）
ファインダー	電子ファインダー：カラー
撮像素子	1/4型CCD固体撮像素子 約68万画素（有効画素数：約34万画素）
ズームレンズ	カールツァイス 10倍（光学）、120倍（デジタル） f=3.3〜33mm （35mmカメラ換算では カメラモード時：42〜420mm、 メモリーモード時：42〜420mm） F1.7〜2.2 フィルター径30mm
色温度切り換え	自動追尾／HOLDホールド、 屋内（3200K）、屋外（5800K）
最低被写体照度	11ルクス（F1.7） 0ルクス（NIGHTSHOT時）

入・出力端子

S1映像端子	入力／出力自動切り換え Y出力　1Vp-p 75Ω不平衡 C出力　0.286Vp-p 75Ω
映像／音声端子	AVミニジャック 入力／出力自動切り換え 映像：1 Vp-p　75 Ω不平衡、同期負 音声：327mV（47kΩ負荷時）、出力インピーダンス2.2kΩ 入力インピーダンス47kΩ以上
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック（Ø3.5）
USB端子	mini B
LANC端子	ステレオミニミニジャック（Ø2.5）
マイク入力端子	ステレオミニジャック（Ø3.5）
DV入力/出力端子	i.LINK（IEEE1394．4ピン特殊コネクター）

液晶画面

画面サイズ	8.8cm（3.5型）
総ドット数	123 200ドット 横560×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC端子入力8.4V
消費電力（バッテリー使用時）	2.6W （ファインダー使用時） 3.7W （液晶画面使用時、明るさ標準）
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	–20℃〜+60℃
外形寸法（最大突起部を除く）	74 × 95 × 175 mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約 650 g（本体のみ）
撮影時総質量*	約 740 g * バッテリーパックNP-FM30、テープ(DVM60)、レンズキャップ含む。
付属品	レンズキャップ（1） ワイヤレスリモコン（1） 単3形乾電池（リモコン用）（2） AV接続ケーブル（1） 取扱説明書（1） 安全のために（1） カスタマーご登録のお勧め（1） 保証書兼カスタマーご登録ハガキ（1） カスタマーご登録 CD-ROM（1） " メモリースティック "(4MB)（1） ACパワーアダプター AC-L10（1） 電源コード（1） バッテリーパック NP-FM30（1）

ACパワーアダプターAC-L10

電源	AC100〜240 V、50/60 Hz
消費電力	23W
定格出力	DC8.4 V、1.5 A
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	-20℃〜+60℃
外形寸法（最大突起部をのぞく）	約125 × 39 × 62 mm （幅 × 高さ × 奥行き）
質量	約280 g（本体のみ）

バッテリーパックNP-FM30

最大電圧	DC8.4 V
公称電圧	DC7.2 V
容量	5.0 wh（700 mAh）
最大外形寸法	約38.2 × 20.5 × 55.6 mm （幅 × 高さ × 奥行き）
質量	約70 g
使用温度	0℃〜+40℃
使用電池	Li-ion

" メモリースティック "

メモリーの種類	フラッシュメモリー 4Mバイト　MSA-4A
動作電圧	2.7 V〜3.6 V
消費電流	動作時平均：約45 mA スタンバイ時：約130μA
外形寸法	約50 × 2.8 × 21.5 mm （幅 × 高さ × 奥行き）
本体質量	約4 g

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは
テクニカルインフォメーションセンター（本書の裏面参照）にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

各部の名前

使いかたの説明は、(　)内のページにあります。

本体

メモリー再生ボタン
（119ページ）

MPEG▶❚❚**ボタン**
（122ページ）

メモリー + / – ボタン
（119ページ）

スピーカー

液晶画面OPEN
ボタン（15ページ）

音量 +/– ボタン
（23ページ）

画面表示ボタン
（24ページ）

RESET**ボタン**
（149ページ）

アフレコボタン
（79ページ）

メモリーインデックスボタン
（120ページ）

メモリー消去ボタン
（137ページ）

視度調節つまみ
（17ページ）

メモリースティックスロット

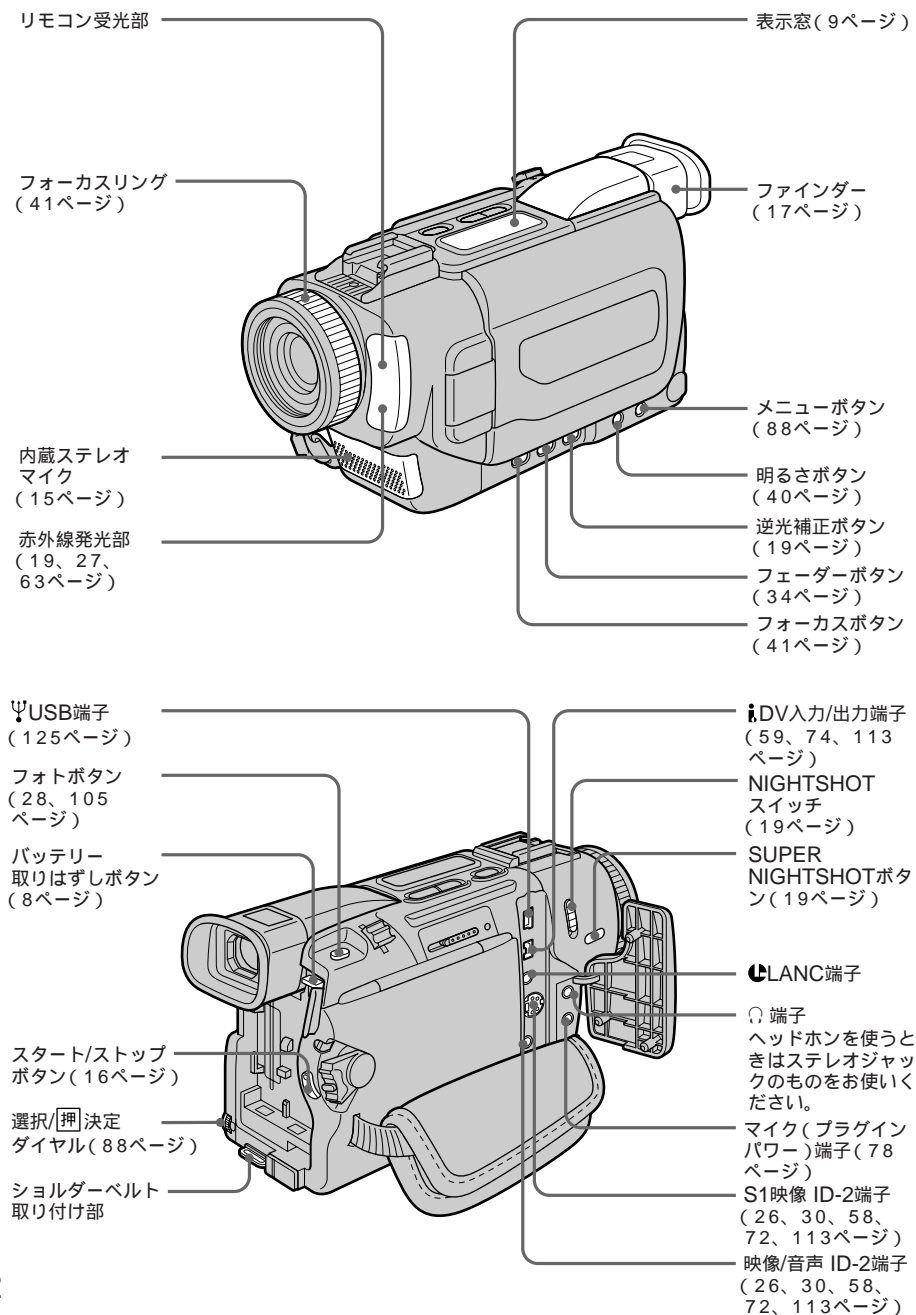
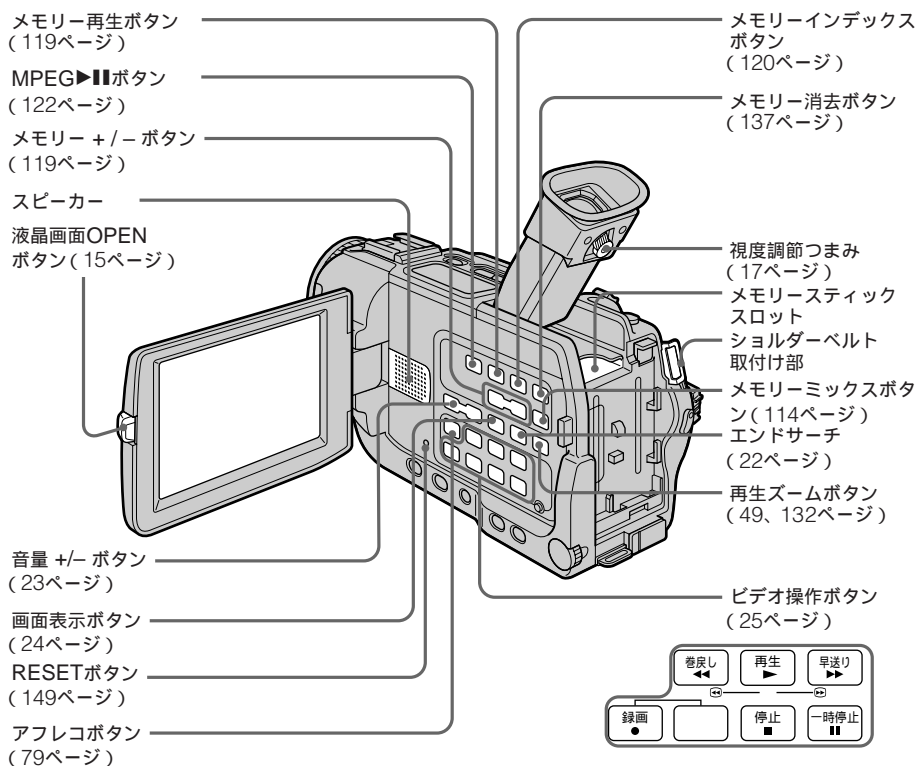
ショルダーベルト取付け部

メモリーミックスボタン（114ページ）

エンドサーチ
（22ページ）

再生ズームボタン
（49、132ページ）

ビデオ操作ボタン
（25ページ）

巻戻し ◀◀
再生 ▶
早送り ▶▶
録画 ●
停止 ■
一時停止 ❚❚

この純正マークは、ソニー（株）のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。

ソニー（株）のビデオ機器をお求めの際は, 純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

マークについて
は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

ヘッドホンを使うと
スピーカーから音は出ません。

別売りの外部マイクを使う場合
マイク(プラグインパワー)端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。

◢メモリー取出しつまみ（97ページ）

ズームレバー（18ページ）

電源スイッチ（15ページ）

グリップベルト

エディットサーチボタン（22ページ）

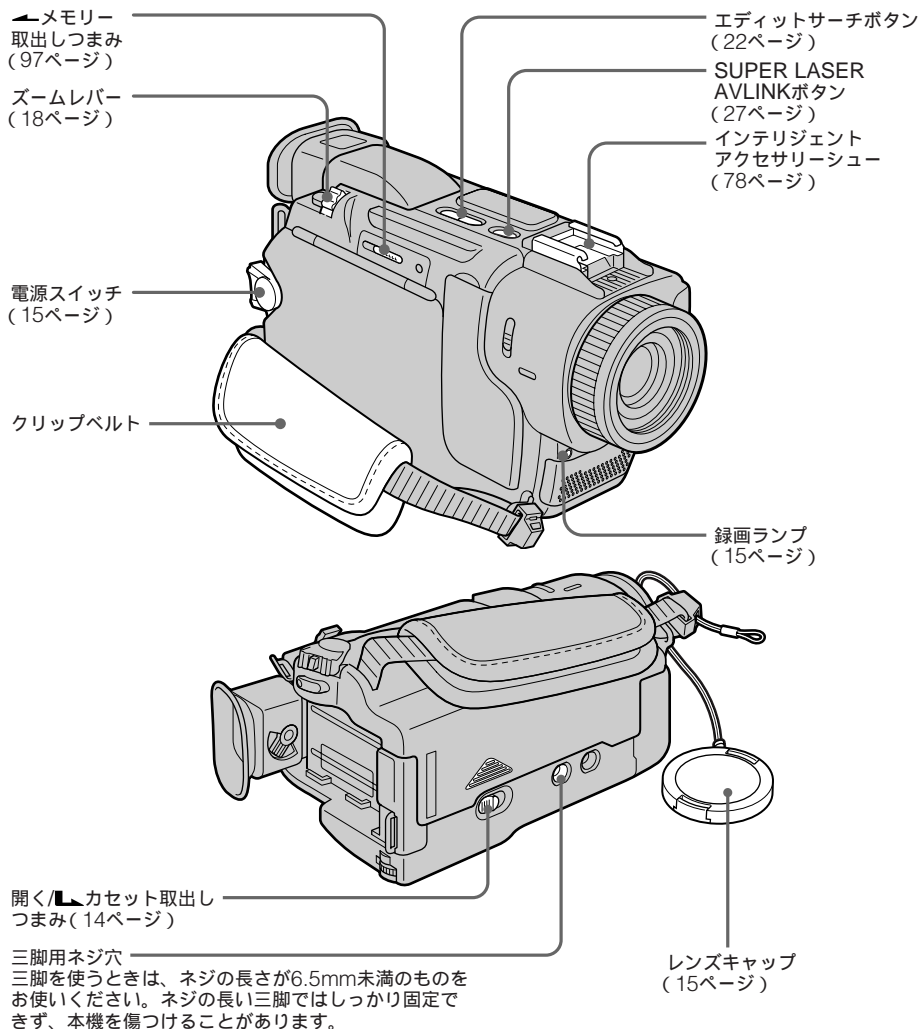
SUPER LASER AVLINK**ボタン**（27ページ）

インテリジェントアクセサリーシュー（78ページ）

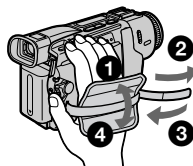
録画ランプ（15ページ）

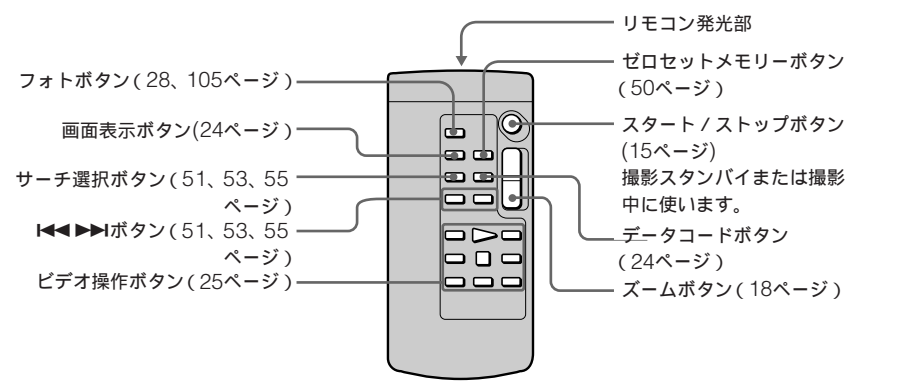
開く/◣カセット取出しつまみ（14ページ）

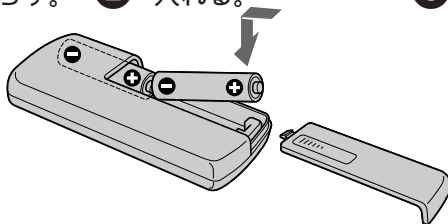
三脚用ネジ穴
三脚を使うときは、ネジの長さが6.5mm未満のものをお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

レンズキャップ（15ページ）

Intelligent Accessory Shoe

インテリジェントアクセサリーシューについて
- 別売りの専用マイク、ビデオライト、プリンターなどをお使いになると、本機から電源を供給できます。
- 本機の電源スイッチに連動して、アクセサリーの電源の入／切ができます。
（お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。）
- 取り付けたアクセサリーがはずれて落ちたりしないように、はずれにくい構造になっています。アクセサリーを取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、取り付けネジを確実に締め付けてください。
- アクセサリーを取りはずすときは、取り付けネジをゆるめ、上から押しながらはずしてください。

グリップベルトのしめ方

グリップベルトはしっかりとしめてください。

ワイヤレスリモコン

電池の入れかた

❶ 押しながらずらす。 ❷ 入れる。 ❸ 元に戻す。

リモコンについて

- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

各部の名前（つづき）

ファインダーと液晶画面の表示

カセットメモリー表示（18、153ページ）

バッテリー残量表示（18ページ）

ズーム表示（18ページ）／**明るさ表示**（40ページ）／**データファイル名表示**（96ページ）

デジタルエフェクト表示（36ページ）／**メモリーミックス表示**（114ページ）／**フェーダー表示**（33ページ）

ワイドTV表示（32ページ）

ピクチャーエフェクト表示（35ページ）

データコード表示（24ページ）

液晶画面明るさ調節表示（17ページ）／**音量調節表示**（23ページ）／**日付表示**（18ページ）／**時刻表示**（18ページ）

プログラムAEモード表示（38ページ）

逆光補正表示（19ページ）

手ぶれ補正「切」表示（90ページ）

手動フォーカス表示（41ページ）

録画モード表示（18ページ）

セルフタイマー表示（21、108ページ）

撮影スタンバイ／撮影中表示（15、16ページ）／**テープ走行表示**（25ページ）／**画像サイズ表示**（100ページ）／**画質モード表示**（98ページ）

NIGHTSHOT（19ページ）/SUPER NIGHTSHOT表示（20ページ）

警告表示（151ページ）

テープカウンター表示（50ページ）／**タイムコード表示**（24ページ）／**自己診断表示**（150ページ）／**フォト撮影表示**（28ページ）／**ファイル数表示**（120ページ）

テープ残量表示（24ページ）／**メモリー再生表示**（120ページ）

ゼロセットメモリー表示（50ページ）

エンドサーチ表示（22ページ）

A/V→DV表示（71ページ）/DV入力表示（74ページ）

音声モード表示（93ページ）

メモリーミックスファイル名表示（114ページ）メモリーミックス使用時に表示されます。／**時刻表示**（18ページ）

フラッシュ充電完了表示
別売りのビデオフラッシュ使用時に表示

連写モード表示（106ページ）

表示窓の表示

満充電表示（9ページ）

バッテリー残量時間表示（9ページ）／**テープカウンター表示**（50ページ）／**メモリーカウンター表示**／**タイムコード表示**（18ページ）／**自己診断表示**（150ページ）

バッテリー残量表示（9ページ）

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

検索する

カスタマー登録のご案内

ソニーではハンディカムをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマー登録」をお勧めしています。
詳しくは同梱の「カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■ カスタマー登録および登録内容の変更はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/di-regi/

電話のおかけ間違いにご注意ください。

カスタマー登録に関する問い合わせは
ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク
電話：　03-3584-6651
受付時間：月～金曜日　午前10時～午後6時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

■ デジタルイメージングカスタマーサポート
デジタルハンディカムとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。
http://www.sony.co.jp/support-di/

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■ テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。
電話：　0564-62-4979
受付時間：　月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

D-Imaging World (デジタルイメージングワールド)
ハンディカムやデジタルスチルカメラを楽しく使っていただくためのホームページです。
http://www.sony.co.jp/di-world/

Sony online　http://www.world.sony.com/
「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

ソニー株式会社
〒141-0001
東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ　●ナビダイヤル：0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）　●携帯電話・PHSでのご利用は：03-5448-3311
●Fax：0466-31-2595
受付時間：　月～金 9:00～20:00、 土・日・祝日 9:00～17:00

3 0 6 7 4 2 5 0 2
Printed in Japan